

**平成 23 年度
金沢区民意識調査結果報告書**



平成 23 年 12 月
横浜市金沢区役所

目 次

【調査の概要】	2
【回答者の属性】	3
【調査結果】	7
I お住まいの地域や日常生活について	7
II 行政サービスについて	55
III 防災・防犯について	70
IV 福祉・保健について	84
V ヨコハマ3R夢(スリム)プランについて	88
VI 地域活動について	89
VII 区政への意見・提案	93
【調査票】	95

【調査の概要】

対象	: 区内在住 20 歳以上男女（外国人登録者含む）
対象数	: 3,000 人
抽出方法	: 住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出
調査方法	: 郵送（調査票郵送配布、郵送回収）
調査期間	: 平成 23 年 7 月 6 日（水）～7 月 22 日（金）
回答方式	: 無記名、選択式（一部記入式）
有効回収数	: 1,906 人
回収率	: 63.5%

※集計結果の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベット N は、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100% を超える場合がある。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100% にならない場合がある。

※数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数（N=1,906）を基本としている。

※クロス集計表の見方

グレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第 1 位の項目についてはグレーで塗りつぶしている。

※比較資料出典

「平成 22 年度横浜市民意識調査」横浜市（平成 23 年 3 月）

市内在住 20 歳以上 回収数 2,335

「平成 23 年度横浜市民意識調査」横浜市（平成 23 年 9 月、速報）

市内在住 20 歳以上 回収数 2,163

「少子・高齢化社会における大都市コミュニティの暮らしやすさに関する調査研究」

横浜市、財団法人地方自治研究機構（平成 23 年 3 月）

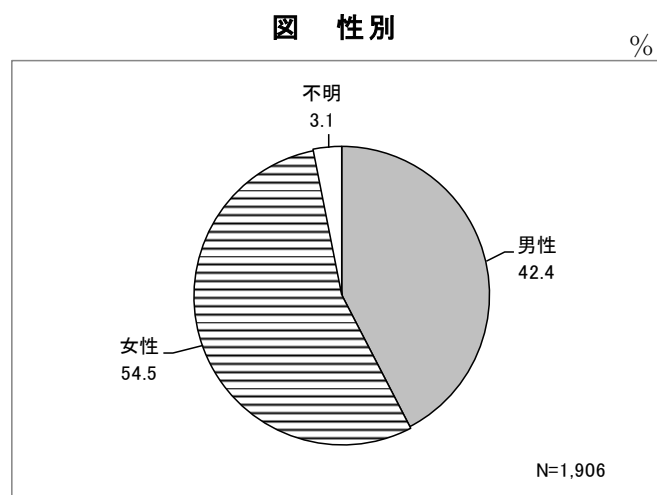
本文中では「暮らしやすさ調査」と表記

市内在住 20 歳以上 回収数 2,548

【回答者の属性】

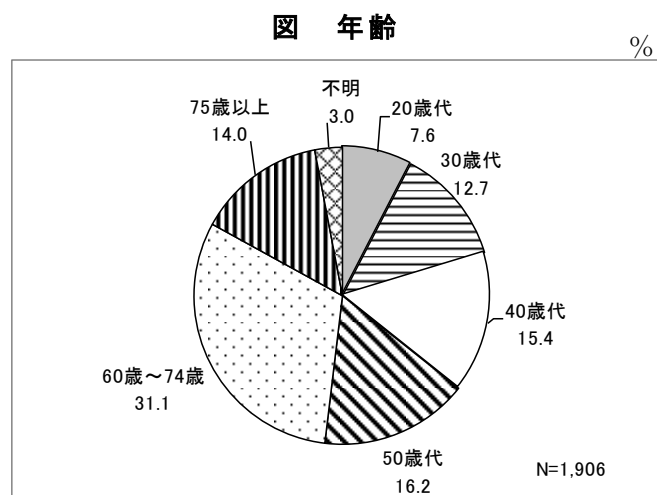
性別

- ・男性が 42.4%、女性が 54.5%である。



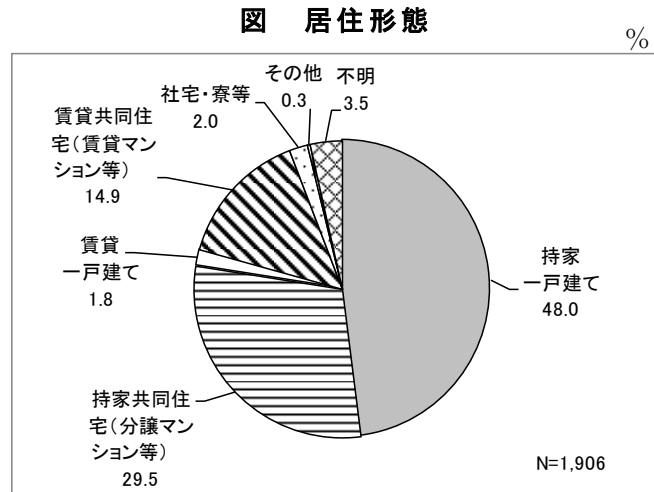
年齢

- ・回答者は 60 歳～74 歳が 31.1%と最も多く、次いで 50 歳代(16.2%)、40 歳代(15.4%)、75 歳以上 (14.0%)となっている。



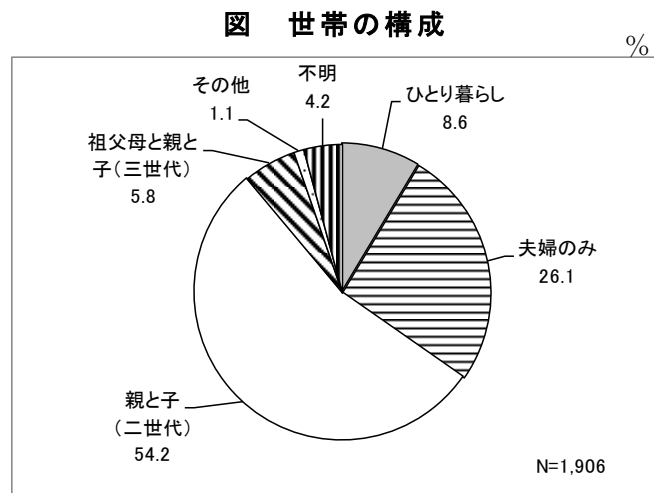
居住形態

- ・「持家一戸建て」が最も多く 48.0%と、半数弱に達する。次いで「持家共同住宅(分譲マンション等)」が 29.5%、「賃貸共同住宅(賃貸マンション等)」が 14.9%となっている。「持家一戸建て」「持家共同住宅(分譲マンション等)」を合わせると 77.5%と全体の4分の3以上を占め、回答者の持家率は高いといえる。



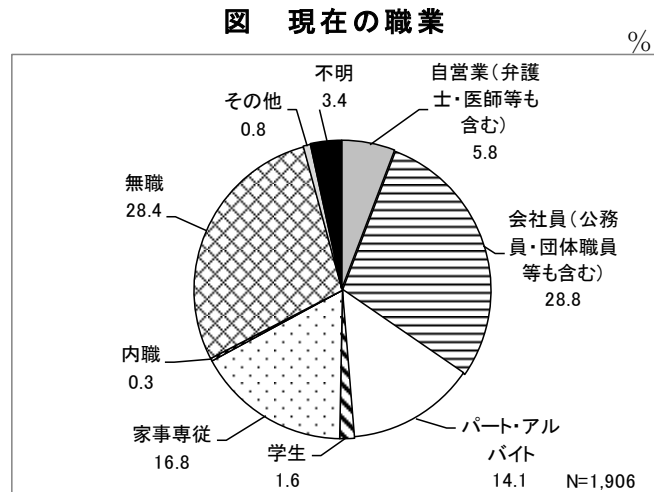
世帯の構成

- ・「親と子(二世帯)」が 54.2%と最も多く、過半数を占める。次いで「夫婦のみ」が 26.1%である。以下「ひとり暮らし」が 8.6%、「祖父母と親と子(三世帯)」が 5.8%となっている。



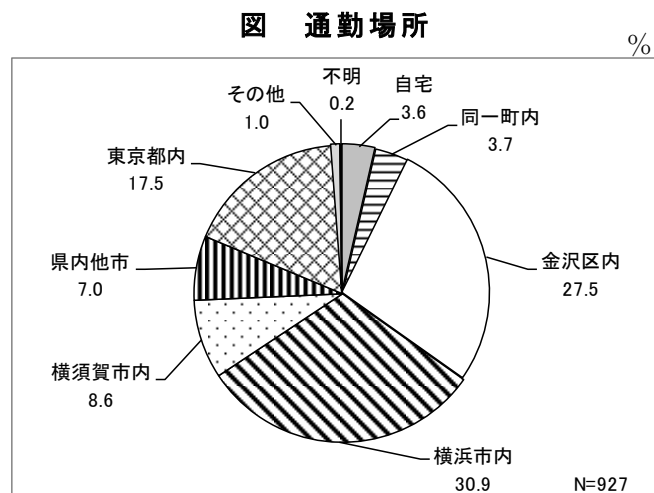
現在の職業

・「会社員(公務員・団体職員等も含む)」が 28.8%で最も多く、次いで「無職」が 28.4%とわずかな差で続く。以下「家事専従」が 16.8%、「パート・アルバイト」が 14.1%などとなっている。



通勤場所

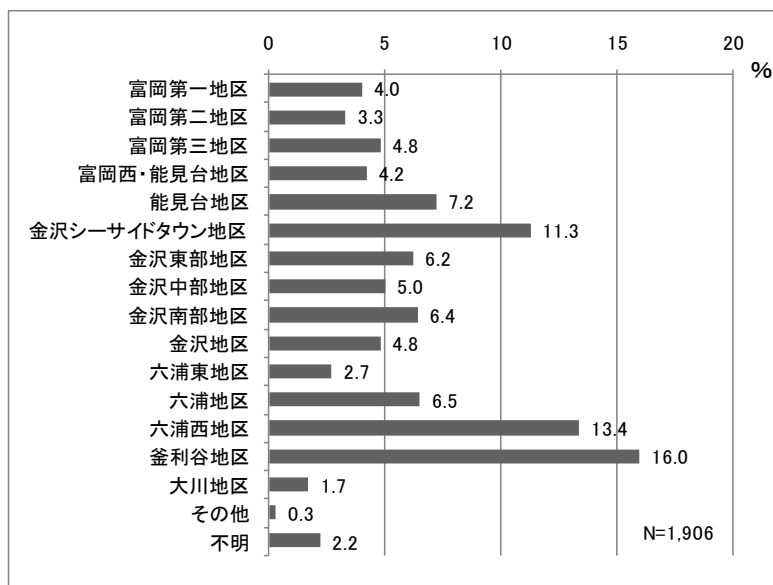
・「自宅」「同一町内」を含めた「金沢区内」が 34.8%で最も多く、次いで金沢区以外の「横浜市内」が 30.9%、「東京都内」が 17.5%、「横須賀市内」が 8.6%となっている。



居住地区

- ・割合が高い順に、「釜利谷地区」(16.0%)、「六浦西地区」(13.4%)、「富岡第一・第二・第三地区」(12.1%)、「金沢シーサイドタウン地区」(11.3%)となっている。

図 居住地区



居住地区	該当町丁目
富岡第一地区	富岡西一丁目・二丁目、富岡東一丁目
富岡第二地区	富岡東三丁目～六丁目
富岡第三地区	富岡西三丁目～五丁目、富岡西七丁目
富岡西・能見台地区	富岡西六丁目、能見台通、能見台東
能見台地区	能見台一丁目～六丁目
金沢シーサイドタウン地区	富岡東二丁目、並木一丁目～三丁目
金沢東部地区	長浜、長浜一丁目・二丁目、西柴一丁目～四丁目、堀口
金沢中部地区	片吹、泥亀一丁目、谷津町
金沢南部地区	金沢町、柴町、寺前一丁目・二丁目
金沢地区	乙舳町、洲崎町、泥亀二丁目、野島町、平潟町、町屋町
六浦東地区	六浦東一丁目～三丁目
六浦地区	瀬戸、六浦一丁目～三丁目、柳町
六浦西地区	朝比奈町、大道一丁目・二丁目、高舟台一丁目・二丁目、東朝比奈一丁目～三丁目、六浦町、六浦四丁目・五丁目、六浦南一丁目～五丁目
釜利谷地区	釜利谷西一丁目～六丁目、釜利谷東一丁目～八丁目、釜利谷南一丁目～四丁目
大川地区	大川
その他	海の公園、釜利谷町、幸浦一丁目・二丁目、昭和町、白帆、鳥浜町、能見台森、八景島、福浦一丁目～三丁目、みず木町

※居住地区は地区連合自治会町内会エリアをもとにまとめています。

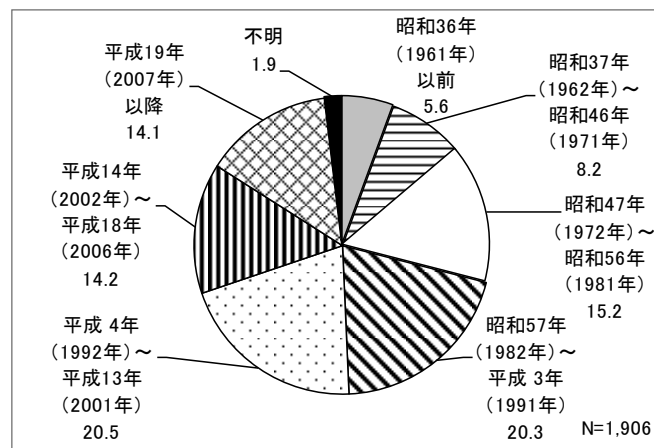
【調査結果】

I お住まいの地域や日常生活について

問1 あなたは、今のお住まいの場所にいつごろから住んでいらっしゃいますか。

- ・「平成4年（1992年）～平成13年（2001年）」が20.5%、「昭和57年（1982年）～平成3年（1991年）」が20.3%でほぼ並び、それぞれ2割程度である。
- ・平成3年（1991年）以前からお住まいの方（21年以上居住）が49.3%で、5割近くを占める。平成4年（1992年）～平成18年（2006年）にお住まいになった方（6～20年居住）が34.7%、平成19年（2007年）以降にお住まいになった方（最近5年間に居住）が14.1%である。

図 居住年数 %



■ 居住形態別 居住年数

- ・「持家一戸建て」では「昭和47年（1972年）～昭和56年（1981年）」、「持家共同住宅（分譲マンション等）」では「平成4年（1992年）～平成13年（2001年）」、「賃貸一戸建て」「賃貸共同住宅（賃貸マンション等）」「社宅・寮等」では「平成19年（2007年）以降」の居住が最も多くなっており、持家より賃貸、一戸建てより共同住宅で居住年数が浅い傾向である。

表 居住形態別 居住年数

	合計 (件)	問1 現在のお住まいに住み始めた年 (%)							
		昭和36年 (1961年) 以前	昭和37年 (1962年) ～昭和46年 (1971年)	昭和47年 (1972年) ～昭和56年 (1981年)	昭和57年 (1982年) ～平成3年 (1991年)	平成4年 (1992年) ～平成13年 (2001年)	平成14年 (2002年) ～平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年) 以降	不明
全体	1906	5.6	8.2	15.2	20.3	20.5	14.2	14.1	1.9
F3 居住形態									
持家一戸建て	914	9.2	13.6	22.2	20.0	16.3	8.5	7.5	2.6
持家共同住宅（分譲マンション等）	563	1.1	2.0	8.7	27.2	31.6	19.9	8.3	1.2
賃貸一戸建て	35	5.7	17.1	8.6	8.6	11.4	14.3	31.4	2.9
賃貸共同住宅（賃貸マンション等）	284	1.4	1.4	7.0	14.1	16.9	20.4	37.7	1.1
社宅・寮等	39	0.0	0.0	2.6	5.1	12.8	12.8	66.7	0.0
その他	6	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
不明	65	12.3	15.4	21.5	9.2	9.2	18.5	12.3	1.5

■ 居住地区別 居住年数

- ・特徴的な傾向として、大川地区（以下、地区を省略）では7割以上が「平成14年（2002年）～平成18年（2006年）」からの居住となっている。また、金沢シーサイドタウン、金沢中部では「昭和57年（1982年）～平成3年（1991年）」、金沢では「平成19年（2007年）以降」で3割を超えている。
- ・能見台では「昭和57年（1982年）～平成13年（2001年）」、金沢シーサイドタウンでは「昭和47年（1972年）～平成3年（1991年）」にかけて居住した人が多かったとみられ、それぞれ5割以上となっている。

表 居住地区別 居住年数

		合計 (件)	問1 現在のお住まいに住み始めた年							不明
			昭和36年 (1961年) 以前	昭和37年 (1962年) ～昭和46年 (1971年)	昭和47年 (1972年) ～昭和56年 (1981年)	昭和57年 (1982年) ～平成3年 (1991年)	平成4年 (1992年) ～平成13年 (2001年)	平成14年 (2002年) ～平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年) 以降	
全体		1906	5.6	8.2	15.2	20.3	20.5	14.2	14.1	1.9
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	2.6	9.2	13.2	10.5	25.0	18.4	18.4	2.6
	富岡第二地区	63	7.9	17.5	9.5	23.8	15.9	12.7	12.7	0.0
	富岡第三地区	91	8.8	8.8	14.3	24.2	22.0	12.1	8.8	1.1
	富岡西・能見台地区	80	1.3	3.8	11.3	10.0	28.8	25.0	18.8	1.3
	能見台地区	137	1.5	1.5	0.7	27.7	29.9	24.1	13.1	1.5
	金沢シーサイドタウン地区	215	0.5	0.0	17.7	32.6	22.8	12.1	12.1	2.3
	金沢東部地区	119	1.7	9.2	22.7	17.6	20.2	15.1	11.8	1.7
	金沢中部地区	96	10.4	10.4	6.3	31.3	18.8	8.3	12.5	2.1
	金沢南部地区	122	6.6	10.7	9.8	15.6	28.7	11.5	13.9	3.3
	金沢地区	92	10.9	7.6	12.0	12.0	15.2	10.9	30.4	1.1
	六浦東地区	51	11.8	7.8	13.7	11.8	29.4	11.8	11.8	2.0
	六浦地区	123	4.9	12.2	20.3	20.3	13.8	11.4	17.1	0.0
	六浦西地区	256	9.0	10.5	19.1	18.0	20.3	8.6	12.1	2.3
	釜利谷地区	305	5.6	9.8	22.3	20.3	15.7	11.1	13.8	1.3
	大川地区	33	0.0	9.1	3.0	0.0	3.0	72.7	12.1	0.0
その他	6	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	
不明	41	12.2	12.2	17.1	9.8	12.2	22.0	7.3	7.3	

問2 あなたが、今のお住まいの場所を選ばれた理由は何ですか。(複数回答)

- ・「住宅地そのものの環境」が 35.4% で最も多い。次いで「家から最寄駅までの交通の便」(28.7%)、「自然環境」(27.9%) を 3 割弱の人が、「最寄駅から通勤・通学先までの交通の便」(21.7%)、「家庭の事情」(20.4%) を 2 割程度の人が挙げている。
- ・「その他」に記述があったのは 221 件で、計 225 の意見が挙げられた。最も多かったのは「実家、親戚が近い」の 38 件、以下「結婚」(37 件)、「同居」(24 件)、「社宅、寮、官舎」(23 件)、「仕事の都合、転勤」(12 件)、「土地・物件の価格」(11 件)、「通勤、通学」(10 件) などとなっている。

図 今の居住地を選んだ理由

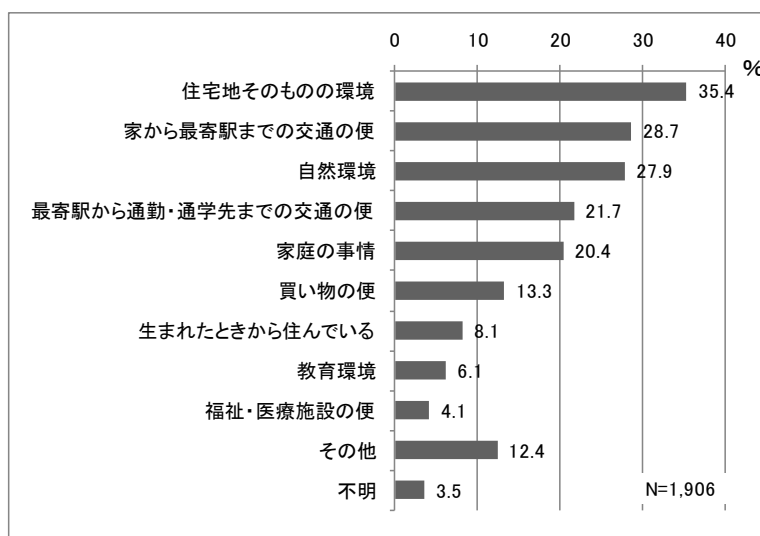


表 「その他」意見内容

内容	件数	内容	件数
実家、親戚が近い	38	本家の指示	1
結婚	37	配偶者の意思	1
同居	24	都会と田舎のバランス	1
社宅、寮、官舎	23	治安がよい	1
仕事の都合、転勤	12	祖母の家	1
土地・物件の価格	11	銭湯が近い	1
通勤、通学	10	震災	1
住み慣れている	9	地盤	1
市営住宅・公団住宅当選	8	坂や階段がない	1
会社の分譲地、マンション	7	子どもの学区	1
相続	6	子育て環境	1
親が土地を購入、親が決めた	4	公団住宅がある	1
家賃、間取り	3	高速道路建設による集団移転	1
土地を所有	2	工業団地移転	1
知人のすすめ	2	景色がよい	1
立ち退き	2	区内ならどこでも	1
震災、疎開	2	区画整理	1
交通の便	2	金沢区が好き	1
親の土地	2	駅まで徒歩圏内	1
		売地があった	1
		海の近く	1
		合計	225

■ 年齢別 今の居住地を選んだ理由

- ・20歳代のみ「家庭の事情」が最も多い。30歳代以上では「住宅地そのものの環境」が最も多く、年齢が上がるにつれ数値も高くなっている。なお、20歳代では「生まれたときから住んでいる」の数値が他世代に比べて高く、これは年齢層が低いほど数値が高くなっている。
- ・また、ひとり暮らしの高齢者に絞ってみると、60歳～74歳では「住宅地そのものの環境」に並んで「家から最寄駅までの交通の便」も最も多くなっている。

表 年齢別 今の居住地を選んだ理由

		問2 今、お住まいの場所を選んだ理由 (%)											
		合計 (件)	家から最寄駅までの交通の便	最寄駅から通勤・通学先までの交通の便	自然環境	教育環境	住宅地そのものの環境	買い物の便	福祉・医療施設の便	生まれたときから住んでいる	家庭の事情	その他	不明
全体		1906	28.7	21.7	27.9	6.1	35.4	13.3	4.1	8.1	20.4	12.4	3.5
F2 年齢	20歳代	145	19.3	13.8	9.7	3.4	9.7	6.9	0.7	33.8	36.6	11.0	2.1
	30歳代	243	27.2	25.1	19.8	7.8	28.4	10.3	2.9	12.3	23.5	15.6	2.9
	40歳代	294	28.9	27.2	25.2	6.1	29.9	16.3	2.4	7.8	21.8	16.0	1.4
	50歳代	308	33.8	22.7	30.2	8.1	41.6	13.0	1.9	3.2	18.2	13.3	3.2
	60歳～74歳	592	30.2	21.1	31.9	5.1	40.2	14.9	5.4	4.7	17.9	10.1	5.6
	75歳以上	266	28.6	18.0	35.0	5.3	44.7	14.7	8.6	2.3	16.5	11.3	3.4
	不明	58	15.5	17.2	36.2	8.6	31.0	6.9	3.4	13.8	13.8	8.6	0.0
F2高年齢×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	30.9	12.7	20.0	1.8	30.9	20.0	5.5	5.5	20.0	12.7	9.1
	75歳以上-ひとり暮らし	46	32.6	17.4	23.9	2.2	34.8	17.4	13.0	2.2	21.7	13.0	2.2

■ 居住地区別 今の居住地を選んだ理由

- ・富岡第二、富岡西・能見台、金沢中部、六浦東、六浦、六浦西では「家から最寄駅までの交通の便」、富岡第二、金沢南部では「自然環境」、富岡第一、富岡第三、能見台、金沢シーサイドタウン、金沢東部、釜利谷、大川では「住宅地そのものの環境」、金沢では「家庭の事情」が最も多くなっている。
- ・このほか、金沢中部では「最寄駅から通勤・通学先までの交通の便」、富岡西・能見台、金沢中部では「買い物の便」、六浦東では「福祉・医療施設の便」で、他地域に比べて数値が高くなっている。

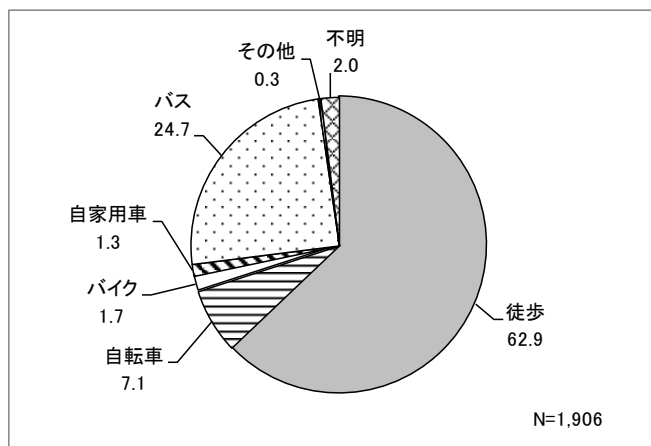
表 居住地区別 今の居住地を選んだ理由

		問2 今、お住まいの場所を選んだ理由 (%)											
		合計 (件)	家から最寄駅までの交通の便	最寄駅から通勤・通学先までの交通の便	自然環境	教育環境	住宅地そのものの環境	買い物の便	福祉・医療施設の便	生まれたときから住んでいる	家庭の事情	その他	不明
全体		1906	28.7	21.7	27.9	6.1	35.4	13.3	4.1	8.1	20.4	12.4	3.5
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	18.4	26.3	15.8	13.2	30.3	6.6	0.0	5.3	25.0	14.5	2.6
	富岡第二地区	63	34.9	20.6	34.9	3.2	33.3	14.3	1.6	9.5	17.5	11.1	3.2
	富岡第三地区	91	36.3	22.0	27.5	8.8	37.4	5.5	2.2	7.7	18.7	16.5	2.2
	富岡西・能見台地区	80	61.3	28.8	23.8	5.0	46.3	31.3	3.8	2.5	20.0	10.0	2.5
	能見台地区	137	19.0	12.4	46.7	9.5	70.8	16.1	4.4	2.2	18.2	6.6	2.2
	金沢シーサイドタウン地区	215	25.6	25.6	30.2	7.4	37.2	19.5	2.8	5.6	15.8	12.1	4.7
	金沢東部地区	119	41.2	25.2	32.8	8.4	47.9	16.8	1.7	5.9	14.3	6.7	1.7
	金沢中部地区	96	47.9	37.5	16.7	8.3	25.0	29.2	10.4	10.4	14.6	10.4	9.4
	金沢南部地区	122	28.7	23.8	30.3	4.9	27.0	12.3	9.8	10.7	21.3	9.0	0.8
	金沢地区	92	22.8	18.5	22.8	2.2	18.5	16.3	7.6	10.9	25.0	17.4	2.2
	六浦東地区	51	37.3	17.6	13.7	5.9	15.7	13.7	15.7	9.8	17.6	25.5	3.9
	六浦地区	123	34.1	23.6	23.6	1.6	30.9	12.2	7.3	8.9	23.6	17.1	1.6
	六浦西地区	256	29.3	19.9	21.1	3.9	28.1	3.9	1.2	11.7	28.5	10.2	3.9
	釜利谷地区	305	17.0	16.7	32.5	5.6	33.4	9.8	2.0	10.5	18.7	13.4	3.9
	大川地区	33	12.1	24.2	42.4	6.1	54.5	6.1	0.0	0.0	33.3	9.1	0.0
	その他	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7
不明	41	12.2	14.6	22.0	7.3	29.3	9.8	7.3	4.9	14.6	22.0	9.8	

問3-1 あなたがお住まいの場所から最寄駅までの交通機関は何ですか。

・「徒歩」が62.9%で6割を超えて最も多い。次いで「バス」が24.7%である。

図 最寄駅までの交通機関 %



■ 居住地区別 最寄駅までの交通機関

・能見台、釜利谷、大川では「バス」が最も多く、特に大川では9割がバスとしている。それ以外の地区については「徒歩」が最も多く、富岡西・能見台、金沢中部では9割以上となっている。

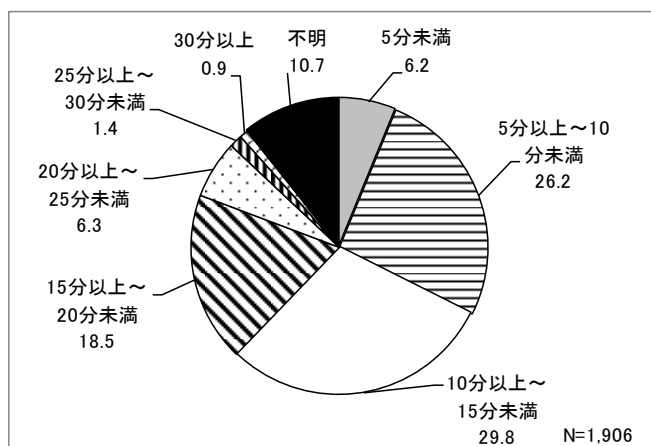
表 居住地区別 最寄駅までの交通機関

	合計 (件)	問3-1 お住まいの場所から最寄駅までの交通機関 (%)						
		徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	その他	不明
全体	1906	62.9	7.1	1.7	1.3	24.7	0.3	2.0
F7-1 居住地区								
富岡第一地区	76	61.8	9.2	2.6	1.3	23.7	0.0	1.3
富岡第二地区	63	87.3	1.6	0.0	0.0	9.5	0.0	1.6
富岡第三地区	91	79.1	1.1	0.0	0.0	16.5	0.0	3.3
富岡西・能見台地区	80	92.5	1.3	1.3	0.0	5.0	0.0	0.0
能見台地区	137	26.3	3.6	0.7	3.6	64.2	0.0	1.5
金沢シーサイドタウン地区	215	81.4	12.1	1.4	0.5	0.5	0.0	4.2
金沢東部地区	119	83.2	2.5	0.0	0.8	13.4	0.0	0.0
金沢中部地区	96	93.8	1.0	0.0	0.0	2.1	0.0	3.1
金沢南部地区	122	63.9	8.2	0.0	0.0	26.2	0.0	1.6
金沢地区	92	77.2	14.1	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3
六浦東地区	51	68.6	5.9	7.8	3.9	11.8	0.0	2.0
六浦地区	123	62.6	11.4	1.6	0.8	18.7	1.6	3.3
六浦西地区	256	63.3	3.1	1.2	1.6	29.7	0.0	1.2
釜利谷地区	305	32.1	13.1	5.2	2.6	44.6	1.0	1.3
大川地区	33	6.1	3.0	0.0	0.0	90.9	0.0	0.0
その他	6	50.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
不明	41	61.0	2.4	0.0	2.4	26.8	0.0	7.3

問3-2 お住まいの場所から最寄駅までは何分くらいかかりますか。

- ・最も多いのは「10分以上～15分未満」の29.8%で、全体の約3割を占める。次いで「5分以上～10分未満」が26.2%、「15分以上～20分未満」が18.5%と続く。
- ・「5分未満」「5分以上～10分未満」「10分以上～15分未満」を合わせると62.2%となり、15分未満が6割を超えている。

図 最寄駅までの所要時間 %



■ 年齢別 最寄駅までの所要時間

- ・50歳代では「5分以上～10分未満」が最も多く、それ以外の世代では「10分以上～15分未満」が最も多くなっている。
- ・また、ひとり暮らしの高齢者では、60歳～74歳では「5分以上～10分未満」、75歳以上では「10分以上～15分未満」が最も多くなっている。

表 年齢別 最寄駅までの所要時間

		合計 (件)	問3-2 お住まいの場所から最寄駅までの時間 (%)							不明
			5分未満	5分以上～10分未満	10分以上～15分未満	15分以上～20分未満	20分以上～25分未満	25分以上～30分未満	30分以上	
全体		1906	6.2	26.2	29.8	18.5	6.3	1.4	0.9	10.7
F2 年齢	20歳代	145	8.3	20.7	35.2	17.2	5.5	2.1	0.7	10.3
	30歳代	243	6.2	24.3	33.3	18.5	7.0	0.8	0.8	9.1
	40歳代	294	5.8	27.6	30.3	19.4	6.5	1.0	0.7	8.8
	50歳代	308	5.2	36.0	27.3	17.5	3.6	1.0	0.3	9.1
	60歳～74歳	592	7.3	26.2	30.1	16.9	7.4	0.8	0.2	11.1
	75歳以上	266	4.5	21.4	26.7	19.5	6.8	2.3	3.8	15.0
	不明	58	5.2	12.1	24.1	32.8	5.2	6.9	0.0	13.8
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	7.3	27.3	20.0	16.4	5.5	1.8	0.0	21.8
	75歳以上-ひとり暮らし	46	8.7	19.6	37.0	8.7	8.7	0.0	4.3	13.0

■ 居住地区別 最寄駅までの所要時間

- ・富岡第一では「15分以上～20分未満」が最も多く、「20分以上～25分未満」も他地区に比べて高い数値となっている。
- ・富岡第二、富岡第三、富岡西・能見台、金沢シーサイドタウン、金沢中部では「5分以上～10分未満」が最も多い。
- ・それ以外の地区では「10分以上～15分未満」が最も多くなっている。

表 居住地区別 最寄駅までの所要時間

		合計 (件)	問3-2 お住まいの場所から最寄駅までの時間 (%)							
			5分未満	5分以上～ 10分未満	10分以上 ～15分未 満	15分以上 ～20分未 満	20分以上 ～25分未 満	25分以上 ～30分未 満	30分以上	不明
全体		1906	6.2	26.2	29.8	18.5	6.3	1.4	0.9	10.7
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	2.6	13.2	19.7	23.7	19.7	0.0	3.9	17.1
	富岡第二地区	63	7.9	39.7	19.0	17.5	3.2	0.0	0.0	12.7
	富岡第三地区	91	7.7	30.8	14.3	27.5	8.8	0.0	0.0	11.0
	富岡西・能見台地区	80	3.8	47.5	32.5	5.0	1.3	0.0	0.0	10.0
	能見台地区	137	0.7	22.6	37.2	21.9	6.6	2.9	1.5	6.6
	金沢シーサイドタウン地区	215	19.1	35.3	13.5	15.3	4.2	0.0	0.5	12.1
	金沢東部地区	119	7.6	22.7	33.6	20.2	6.7	3.4	0.0	5.9
	金沢中部地区	96	6.3	40.6	32.3	6.3	0.0	0.0	1.0	13.5
	金沢南部地区	122	4.9	28.7	33.6	18.0	3.3	0.8	0.0	10.7
	金沢地区	92	5.4	25.0	33.7	14.1	4.3	2.2	0.0	15.2
	六浦東地区	51	7.8	25.5	29.4	19.6	5.9	0.0	0.0	11.8
	六浦地区	123	4.9	25.2	32.5	18.7	4.9	0.8	0.0	13.0
	六浦西地区	256	7.4	27.0	30.9	19.9	7.4	0.4	1.6	5.5
	釜利谷地区	305	0.7	14.1	36.1	22.6	8.9	3.6	2.0	12.1
	大川地区	33	0.0	9.1	66.7	15.2	3.0	6.1	0.0	0.0
	その他	6	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
不明	41	4.9	19.5	29.3	19.5	4.9	0.0	0.0	22.0	

問4 あなたは、今のお住まいの場所の「住みごち」をどうお感じになりますか。

- ・「まあ住みよい」が 52.0%で約 5 割、次いで「住みよい」が 38.0%で約 4 割となっており、これらを合わせると全体の 9 割が住みごちはよいと感じている。
- ・過去の区民意識調査と比較すると、平成 21 年度調査では「住みよい」38.4%、「まあ住みよい」52.8%、平成 19 年度調査では「住みよい」40.0%、「まあ住みよい」52.8%、平成 17 年度調査では「住みよい」39.9%、「まあ住みよい」 51.3%となっており、例年「住みよい」が 4 割程度、「まあ住みよい」が 5 割程度で、ほぼ横ばいで推移している。

図 住みごちについて %

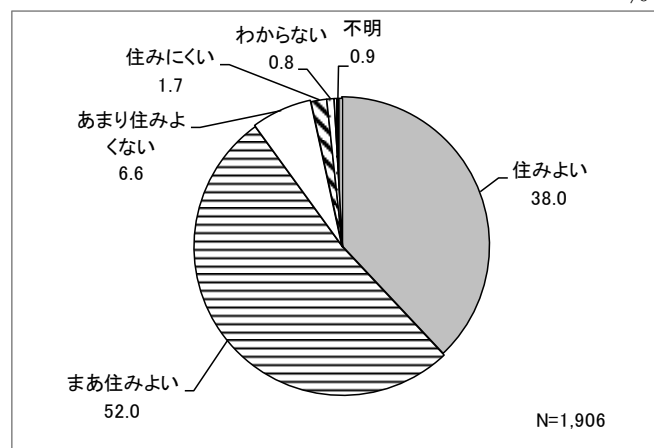


表 過去の調査との比較

	今回調査	H21調査	H19調査	H17調査
住みよい	38.0	38.4	40.0	39.9
まあ住みよい	52.0	52.8	52.8	51.3
あまり住みよくない	6.6	5.4	4.5	5.7
住みにくい	1.7	1.0	0.9	1.0
わからない	0.8	1.0	1.1	1.0
無回答	0.9	1.4	0.7	1.1

■ 年齢別 住みごちについて

- ・いずれの年代も「まあ住みよい」が最も多くなっている。また、若年層に比べて高齢者層で「住みよい」の数値が高い傾向にある。

表 年齢別 住みごちについて

		合計 (件)	問4 今のお住まいの場所の「住みごち」					(%)	
			住みよい	まあ住みよい	あまり住みよくない	住みにくい	わからない	不明	
全体		1906	38.0	52.0	6.6	1.7	0.8	0.9	
F2 年齢	20歳代	145	34.5	52.4	9.0	2.8	0.7	0.7	
	30歳代	243	33.3	57.2	5.3	1.6	1.6	0.8	
	40歳代	294	38.8	48.3	10.5	1.7	0.3	0.3	
	50歳代	308	34.7	57.1	5.5	0.6	1.0	1.0	
	60歳～74歳	592	40.7	48.6	6.8	2.4	0.3	1.2	
	75歳以上	266	40.2	54.1	3.0	0.8	0.8	1.1	
	不明	58	41.4	46.6	5.2	3.4	3.4	0.0	
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	32.7	43.6	14.5	7.3	0.0	1.8	
	75歳以上-ひとり暮らし	46	32.6	56.5	4.3	4.3	2.2	0.0	

■ 居住地区別 住みごちについて

- ・富岡第二、富岡西・能見台、能見台、金沢中部では「住みよい」、それ以外は「まあ住みよい」が最も多くなっている。

表 居住地区別 住みごちについて

		合計 (件)	問4 今のお住まいの場所の「住みごち」					(%)	
			住みよい	まあ住みよい	あまり住みよくない	住みにくい	わからない	不明	
全体		1906	38.0	52.0	6.6	1.7	0.8	0.9	
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	23.7	56.6	13.2	3.9	1.3	1.3	
	富岡第二地区	63	47.6	39.7	7.9	3.2	1.6	0.0	
	富岡第三地区	91	41.8	49.5	8.8	0.0	0.0	0.0	
	富岡西・能見台地区	80	56.3	38.8	3.8	1.3	0.0	0.0	
	能見台地区	137	48.9	46.0	2.9	0.7	0.0	1.5	
	金沢シーサイドタウン地区	215	41.9	51.6	3.3	0.9	0.9	1.4	
	金沢東部地区	119	36.1	56.3	6.7	0.8	0.0	0.0	
	金沢中部地区	96	47.9	44.8	5.2	1.0	0.0	1.0	
	金沢南部地区	122	37.7	51.6	4.9	3.3	1.6	0.8	
	金沢地区	92	34.8	53.3	9.8	1.1	1.1	0.0	
	六浦東地区	51	31.4	49.0	11.8	5.9	0.0	2.0	
	六浦地区	123	34.1	56.9	5.7	2.4	0.0	0.8	
	六浦西地区	256	27.0	60.9	7.4	1.6	2.0	1.2	
	釜利谷地区	305	37.7	51.1	7.2	2.0	1.0	1.0	
	大川地区	33	30.3	63.6	6.1	0.0	0.0	0.0	
	その他	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
不明	41	39.0	51.2	4.9	2.4	0.0	2.4		

問5 (問4で1～4のいずれかをお答えの方に) そのように回答された理由は何ですか。
(複数回答)

- ・“住みよい”(「住みよい」と「まあ住みよい」の合計)と感じている人について理由を見てみると、最も多いのは「住宅地そのものの環境」の53.0%、次いで「自然環境」(49.2%)、「家から最寄駅までの交通の便」(47.2%)、「買物の便」(36.8%)の順である。
- ・一方、“住みにくい”(「住みにくい」と「あまり住みよくない」の合計)と感じている人について理由を見てみると、最も多いのは「家から最寄駅までの交通の便」の44.3%であるが、これは「住みよい理由」としても3位に入っている。以下「買物の便」(43.7%)、「住宅地そのものの環境」(34.8%)などの順である。
- ・“住みよい”と“住みにくい”での数値の差を見てみると、“住みよい”では“住みにくい”に比べて「自然環境」を挙げた人がはるかに多く、42.9ポイント上回っている。また、「住宅地そのものの環境」でも“住みよい”が18.2ポイント高くなっている。一方、“住みにくい”を挙げた人が“住みよい”を挙げた人を上回っているのは、「買物の便」「福祉・医療施設の便」の2項目である。
- ・「その他」に記述があったのは44件で、計49の意見が挙げられた。それぞれ最も多かったのは、「住みよい」では「近所付き合いがある、長く住んでいる」(4件)、「まあ住みよい」では「近所付き合いがある、長く住んでいる」(3件)、「あまり住みよくない」では「騒音」(6件)、「住みにくい」では「道路・歩道が狭い、整備されていない」(3件)となっている。

図 住みごこちの理由

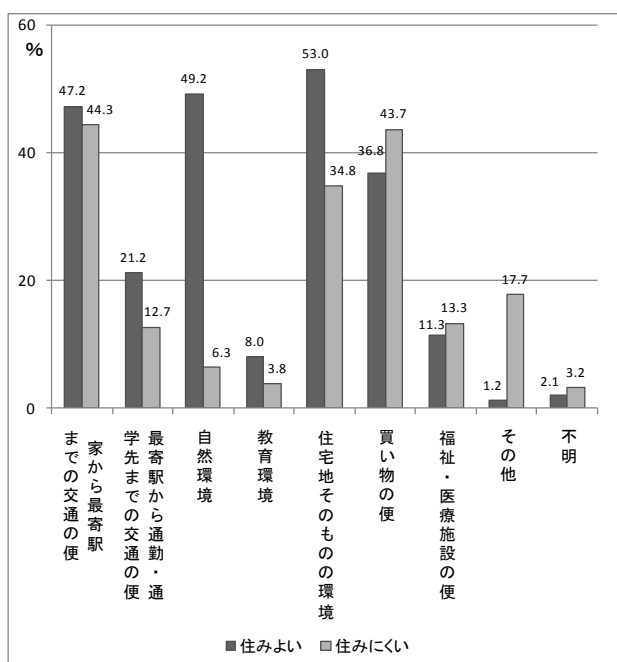


表 「その他」意見内容

分類	件数	内容	件数
住みよい	10	近所付き合いがある、長く住んでいる	4
		住環境がよい	2
		公共施設が充実	1
		交通の便がよい	1
		娯楽施設が多い	1
		商売をしているため	1
まあ住みよい	7	近所付き合いがある、長く住んでいる	3
		地盤が固い	1
		坂が多い	1
		騒音	1
あまり住みよくない	24	習い事、レジャーの環境がよい	1
		騒音	6
		近所との関係がよくない	3
		坂が多い	2
		若い世帯が少ない	1
		路上駐車、自転車のマナー	1
		虫が多い	1
		物価が高い	1
		排気ガス	1
		道路・歩道が狭い、整備されていない	1
		動物の糞害	1
		津波の不安	1
		大気汚染	1
		都会でも田舎でもないところ	1
		住環境がよくない	1
公園や街が汚い	1		
京浜東北線が不便	1		
住みにくい	8	道路・歩道が狭い、整備されていない	3
		坂が多い	2
		近所付き合いが面倒	1
		交番が遠い	1
		近所付き合いがない	1
合計			49

■ 居住地区別 住みごこちの理由

・「住みよい」と感じる理由についてそれぞれ最も多かった項目は、富岡西・能見台、金沢中部では「家から最寄駅までの交通の便」、富岡第二、金沢南部では「自然環境」、富岡第一、富岡第三、能見台、金沢東部、六浦西、釜利谷、大川では「住宅地そのものの環境」、金沢シーサイドタウンでは「買い物の便」である。

表 居住地区別 住みごこちの理由

(%)

		合計 (件)	問5 「住みごこち」をそのように感じている理由								
			家から最寄駅までの交通の便	最寄駅から通学先までの交通の便	自然環境	教育環境	住宅地そのものの環境	買い物の便	福祉・医療施設の便	その他	不明
富岡第一地区	全体	76	36.8	21.1	36.8	13.2	47.4	26.3	9.2	3.9	3.9
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	18	38.9	27.8	50.0	11.1	61.1	38.9	11.1	5.6	0.0
		43	32.6	25.6	41.9	18.6	46.5	14.0	7.0	2.3	2.3
		10	60.0	0.0	0.0	0.0	50.0	60.0	20.0	0.0	0.0
		3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
		1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
富岡第二地区	全体	63	52.4	17.5	42.9	1.6	38.1	38.1	4.8	1.6	4.8
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	30	60.0	20.0	66.7	3.3	43.3	50.0	6.7	0.0	0.0
		25	56.0	16.0	28.0	0.0	28.0	36.0	4.0	4.0	4.0
		5	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0
		2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
富岡第三地区	全体	91	58.2	27.5	39.6	14.3	58.2	29.7	9.9	2.2	1.1
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	38	63.2	39.5	57.9	21.1	73.7	26.3	7.9	0.0	2.6
		45	51.1	17.8	28.9	11.1	51.1	26.7	13.3	0.0	0.0
		8	75.0	25.0	12.5	0.0	25.0	62.5	0.0	25.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
富岡西・能見台地区	全体	80	71.3	25.0	38.8	7.5	63.8	56.3	8.8	0.0	0.0
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	45	80.0	35.6	55.6	8.9	75.6	66.7	6.7	0.0	0.0
		31	67.7	12.9	19.4	6.5	41.9	45.2	12.9	0.0	0.0
		3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0
		1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
能見台地区	全体	137	25.5	11.7	62.0	13.1	77.4	37.2	11.7	0.7	3.6
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	67	26.9	7.5	73.1	11.9	86.6	52.2	16.4	0.0	1.5
		63	22.2	12.7	55.6	12.7	73.0	20.6	6.3	1.6	3.2
		4	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
		1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金沢シーサイドタウン地区	全体	215	47.0	20.0	47.0	6.5	51.6	59.1	10.7	1.9	2.8
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	90	55.6	20.0	61.1	14.4	62.2	67.8	12.2	0.0	0.0
		111	41.4	20.7	40.5	0.9	46.8	56.8	8.1	0.0	0.9
		7	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6	57.1	0.0
		2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
		2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
金沢東部地区	全体	119	46.2	18.5	49.6	4.2	55.5	37.0	4.2	2.5	1.7
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	43	48.8	25.6	58.1	2.3	69.8	30.2	4.7	0.0	0.0
		67	44.8	14.9	49.3	6.0	52.2	41.8	3.0	0.0	1.5
		8	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	37.5	12.5
		1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金沢中部地区	全体	96	70.8	25.0	29.2	9.4	39.6	57.3	19.8	2.1	3.1
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	46	87.0	26.1	39.1	13.0	43.5	65.2	23.9	2.2	0.0
		43	65.1	27.9	23.3	7.0	32.6	53.5	16.3	2.3	4.7
		5	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0
		1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金沢南部地区	全体	122	44.3	28.7	52.5	6.6	35.2	38.5	17.2	4.9	4.9
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	46	47.8	26.1	73.9	10.9	50.0	41.3	21.7	4.3	4.3
		63	47.6	34.9	46.0	4.8	27.0	36.5	14.3	1.6	1.6
		6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	33.3	0.0
		4	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0
		2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
金沢地区	全体	92	46.7	16.3	48.9	12.0	38.0	42.4	18.5	4.3	3.3
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	32	53.1	15.6	68.8	25.0	43.8	43.8	18.8	9.4	6.3
		49	46.9	16.3	46.9	6.1	34.7	42.9	22.4	0.0	0.0
		9	33.3	22.2	0.0	0.0	33.3	44.4	0.0	11.1	0.0
		1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
六浦東地区	全体	51	52.9	29.4	31.4	13.7	31.4	29.4	33.3	3.9	5.9
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	16	56.3	50.0	62.5	18.8	50.0	25.0	37.5	0.0	0.0
		25	60.0	28.0	20.0	16.0	24.0	32.0	36.0	4.0	4.0
		6	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0
		3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
六浦地区	全体	123	54.5	29.3	43.9	4.1	48.8	35.0	13.8	2.4	3.3
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	42	54.8	31.0	71.4	4.8	57.1	38.1	16.7	0.0	2.4
		70	54.3	28.6	32.9	1.4	44.3	30.0	10.0	0.0	1.4
		7	42.9	14.3	0.0	14.3	57.1	42.9	14.3	28.6	14.3
		3	100.0	66.7	33.3	33.3	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
六浦西地区	全体	256	45.3	17.6	41.0	3.1	48.8	22.7	7.8	3.5	5.9
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	69	53.6	24.6	53.6	1.7	56.5	30.4	5.8	2.9	1.4
		156	44.2	17.3	42.9	8.3	51.9	16.0	9.0	1.3	3.8
		19	42.1	5.3	5.3	0.0	26.3	47.4	5.3	15.8	0.0
		4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	50.0	0.0
		5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
釜利谷地区	全体	305	37.0	15.4	46.9	7.5	51.5	28.9	8.5	2.3	4.9
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	115	34.8	12.2	59.1	11.3	62.6	29.6	12.2	1.7	1.7
		156	36.5	19.2	47.4	5.1	48.7	28.2	5.8	0.6	4.5
		22	54.5	4.5	0.0	9.1	31.8	13.6	9.1	0.0	0.0
		6	66.7	33.3	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	33.3	0.0
		3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
大川地区	全体	33	33.3	15.2	48.5	6.1	78.8	12.1	9.1	0.0	0.0
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	10	20.0	10.0	50.0	10.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		21	38.1	19.0	52.4	4.8	71.4	14.3	9.5	0.0	0.0
		2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	全体	6	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
		2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	全体	41	41.5	22.0	34.1	9.8	39.0	26.8	9.8	4.9	7.3
	問4 今のお住まいの場所の「住みごこち」	16	37.5	12.5	50.0	12.5	56.3	25.0	12.5	6.3	0.0
		21	42.9	28.6	28.6	9.5	33.3	23.8	9.5	0.0	4.8
		2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
		1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 全体の合計値には回答が「不明」のものを含んでいる。

■ 住みごちの理由「家から最寄駅までの交通の便」と最寄駅までの所要時間の関係

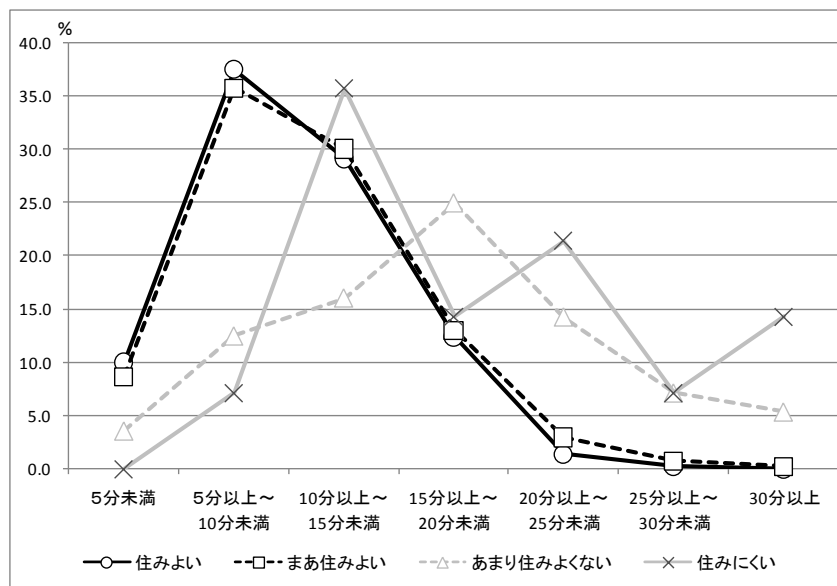
- ・住みごちの理由として「1 家から最寄駅までの交通の便」と回答した人について、住まいと最寄駅までの時間を住みごち別に見てみると、「住みよい」「まあ住みよい」と感じている人では所要時間が「5分以上～10分未満」が最も多く、「15分以上～20分未満」を超えると数値が激減する。

表 住みごちの理由「家から最寄駅までの交通の便」と最寄駅までの所要時間の関係

「住みごち」の理由に「家から最寄駅まで交通の便」を回答した人について

		合計 (件)	問3-2 お住まいの場所から最寄駅までの時間 (%)							不明
			5分未満	5分以上～ 10分未満	10分以上～ 15分未満	15分以上～ 20分未満	20分以上～ 25分未満	25分以上～ 30分未満	30分以上	
問4 今のお住 まいの場所の 「住みごち」	全体	880	8.8	34.5	28.9	13.5	3.3	1.0	0.7	9.3
	住みよい	371	10.0	37.5	29.1	12.4	1.3	0.3	0.0	9.4
	まあ住みよい	439	8.7	35.8	30.1	13.0	3.0	0.7	0.2	8.7
	あまり住みよくない	56	3.6	12.5	16.1	25.0	14.3	7.1	5.4	16.1
	住みにくい	14	0.0	7.1	35.7	14.3	21.4	7.1	14.3	0.0
	わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図 住みごちの理由「家から最寄駅までの交通の便」と最寄駅までの所要時間の関係



問6 あなたは、これからも今のお住まいの場所に住み続けるお気持ちですか。

- ・「たぶん住み続ける」が最も多く 40.7%、「住み続ける」が 34.1%でこれに続く。これらを合わせる 74.8%となり、全体の 4分の3が今後も住み続けるとしている。「たぶん移転する」(7.3%)、「移転する」(3.9%)を合わせた移転意向は 11.2%である。
- ・選択肢の語句がやや異なっているが、平成 19 年度調査では「ずっと住み続けたい」(47.9%)、「当分は住み続けたい」(40.4%)を合わせて定住意向は 9割近くに達している。「できればよそへ移りたい」(3.5%)、「よそへ移りたい」(1.2%)を合わせた移転意向は 4.7%に留まっている。
- ・平成 23 年度横浜市民意識調査では、「住み続ける」(35.8%)、「たぶん住み続ける」(31.2%)を合わせると、定住意向は 67.0%である。また「暮らしやすさ調査」でも、「住み続ける」(41.7%)、「たぶん住み続ける」(28.7%)を合わせると 70.4%となっている。今回調査と比較すると、定住意向では今回調査の方がやや数値が高くなっている。

図 今後の居留意向

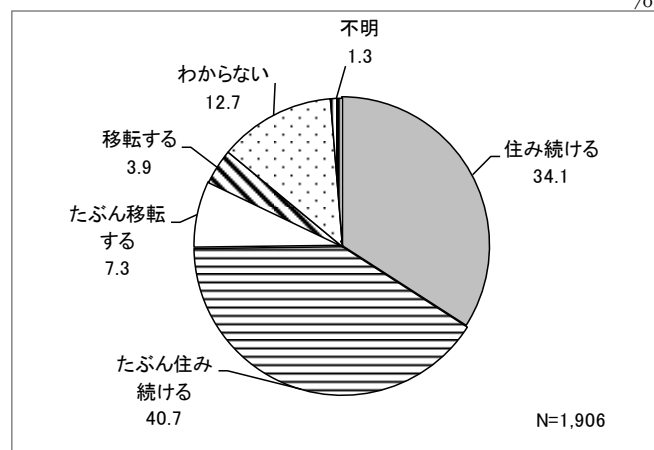


表 平成 19 年度調査との比較

今回調査		H19調査 (%)	
住み続ける	34.1	ずっと住み続けたい	47.9
たぶん住み続ける	40.7	当分は住み続けたい	40.4
たぶん移転する	7.3	できればよそへ移りたい	3.5
移転する	3.9	よそへ移りたい	1.2
わからない	12.7	特に考えていない	6.4
無回答	1.3	無回答	0.6

図 平成 23 年度横浜市民意識調査 「今後の居留意向」

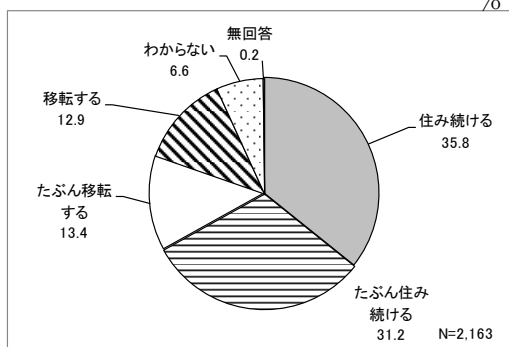
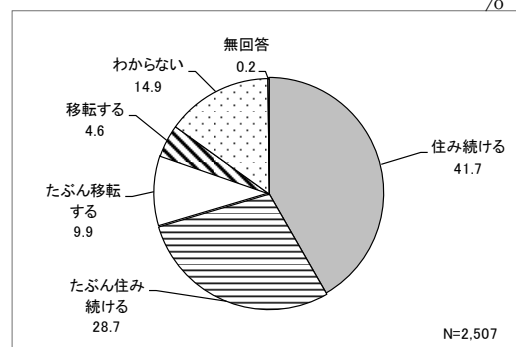


図 暮らしやすさ調査 「今後の居留意向」



■ 年齢別 今後の居住意向

- ・60歳以上の高齢者層は「住み続ける」、50歳代以下は「たぶん住み続ける」が最も多い。20歳代では「たぶん移転する」「わからない」の数値が他世代に比べて高い。

表 年齢別 今後の居住意向

		合計 (件)	問6 今後も現在の住まいに住み続ける気持ち (%)					不明
			住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	
全体		1906	34.1	40.7	7.3	3.9	12.7	1.3
F2 年齢	20歳代	145	6.2	30.3	24.1	11.0	27.6	0.7
	30歳代	243	23.0	41.2	11.1	9.1	12.8	2.9
	40歳代	294	22.1	46.9	10.9	4.1	16.0	0.0
	50歳代	308	27.6	47.7	3.6	4.2	15.6	1.3
	60歳～74歳	592	44.3	39.2	4.2	1.7	9.3	1.4
	75歳以上	266	55.3	35.3	2.6	0.0	4.9	1.9
	不明	58	43.1	34.5	5.2	1.7	13.8	1.7
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	32.7	34.5	10.9	3.6	14.5	3.6
	75歳以上-ひとり暮らし	46	45.7	45.7	4.3	0.0	2.2	2.2

■ 居住形態別 今後の居住意向

- ・「持家一戸建て」では「住み続ける」、「持家共同住宅（分譲マンション等）」「賃貸共同住宅（賃貸マンション等）」では「たぶん住み続ける」、「社宅・寮等」では「移転する」、「賃貸一戸建て」は「わからない」が最も多い。賃貸住宅と社宅では「たぶん移転する」の数値が高い。

表 居住形態別 今後の居住意向

		合計 (件)	問6 今後も現在の住まいに住み続ける気持ち (%)					不明
			住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	
全体		1906	34.1	40.7	7.3	3.9	12.7	1.3
F3 居住形態	持家一戸建て	914	42.7	40.4	5.0	1.2	8.9	1.9
	持家共同住宅（分譲マンション等）	563	33.0	48.0	3.7	1.6	13.0	0.7
	賃貸一戸建て	35	17.1	22.9	20.0	11.4	28.6	0.0
	賃貸共同住宅（賃貸マンション等）	284	13.0	33.8	19.0	12.7	20.8	0.7
	社宅・寮等	39	5.1	23.1	17.9	30.8	20.5	2.6
	その他	6	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
	不明	65	40.0	32.3	6.2	1.5	16.9	3.1

■ 住みごころ別 今後の居住意向

- ・「住みよい・まあ住みよい」では「たぶん住み続ける」が最も多く、次いで「住み続ける」となっている。「あまり住みよくない」では「たぶん住み続ける」が最も多く、「たぶん移転する」「わからない」の数値も高い。「住みにくい」では「たぶん移転する」が最も多くなっている。

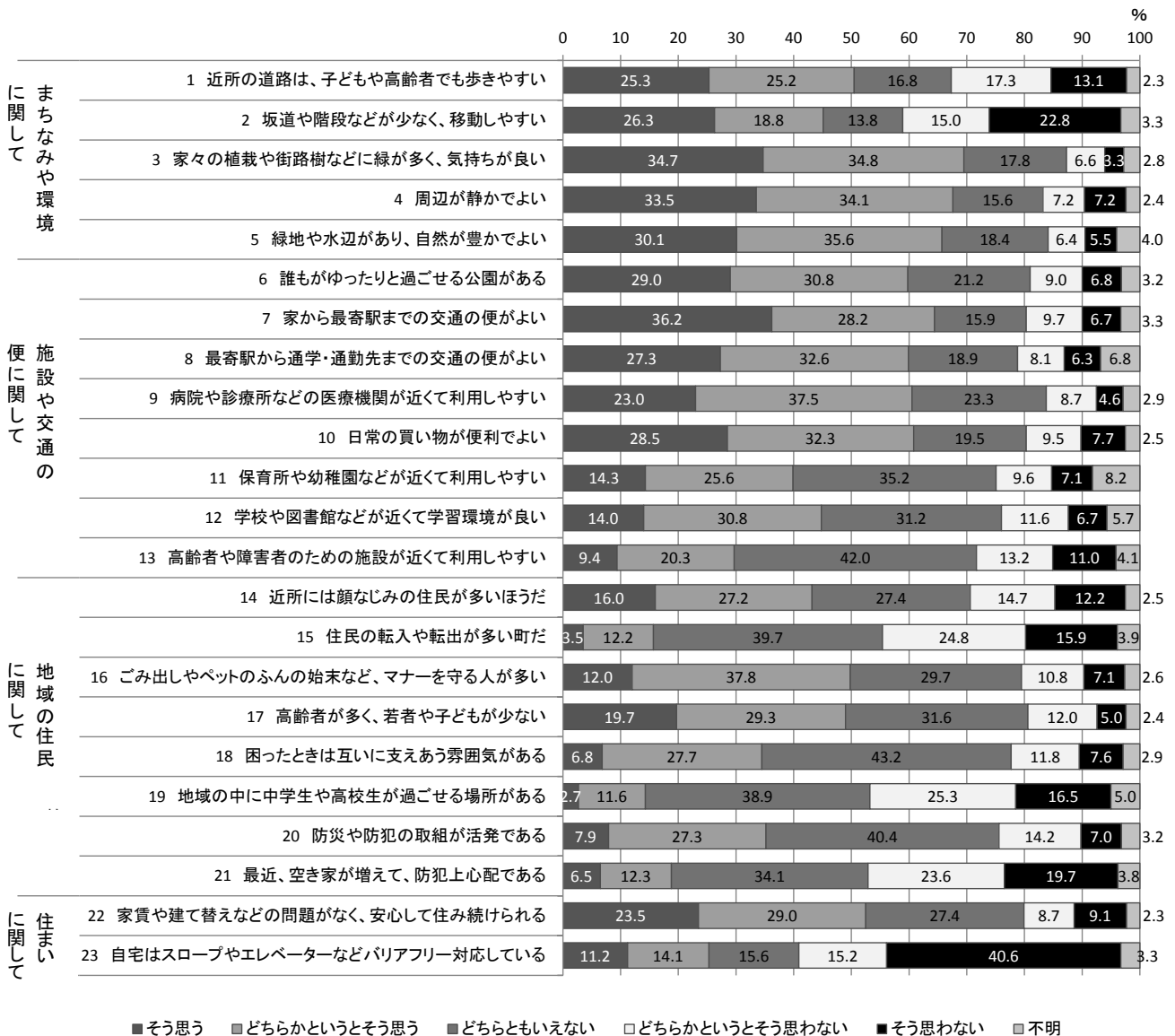
表 住みごころ別 今後の居住意向

		合計 (件)	問6 今後も現在の住まいに住み続ける気持ち (%)					不明
			住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	
全体		1906	34.1	40.7	7.3	3.9	12.7	1.3
問4 今のお住まいの場所の「住みごころ」(統合)	住みよい・まあ住みよい	1716	37.4	42.4	5.6	3.2	11.3	0.1
	あまり住みよくない	125	4.8	31.2	24.0	11.2	28.0	0.8
	住みにくい	33	3.0	21.2	36.4	12.1	24.2	3.0

問7 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさについて伺います。次の1~23の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「5 そう思わない」までの中から1つを選び、○印をつけてください。

- ・「1 そう思う」の占める割合が他の選択肢に比べて多いのは、「近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい」「坂道や階段などが少なく、移動しやすい」「家から最寄駅までの交通の便がよい」の3項目のみである。
- ・「5 そう思わない」の占める割合が他の選択肢に比べて多いのは「自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している」のみである。

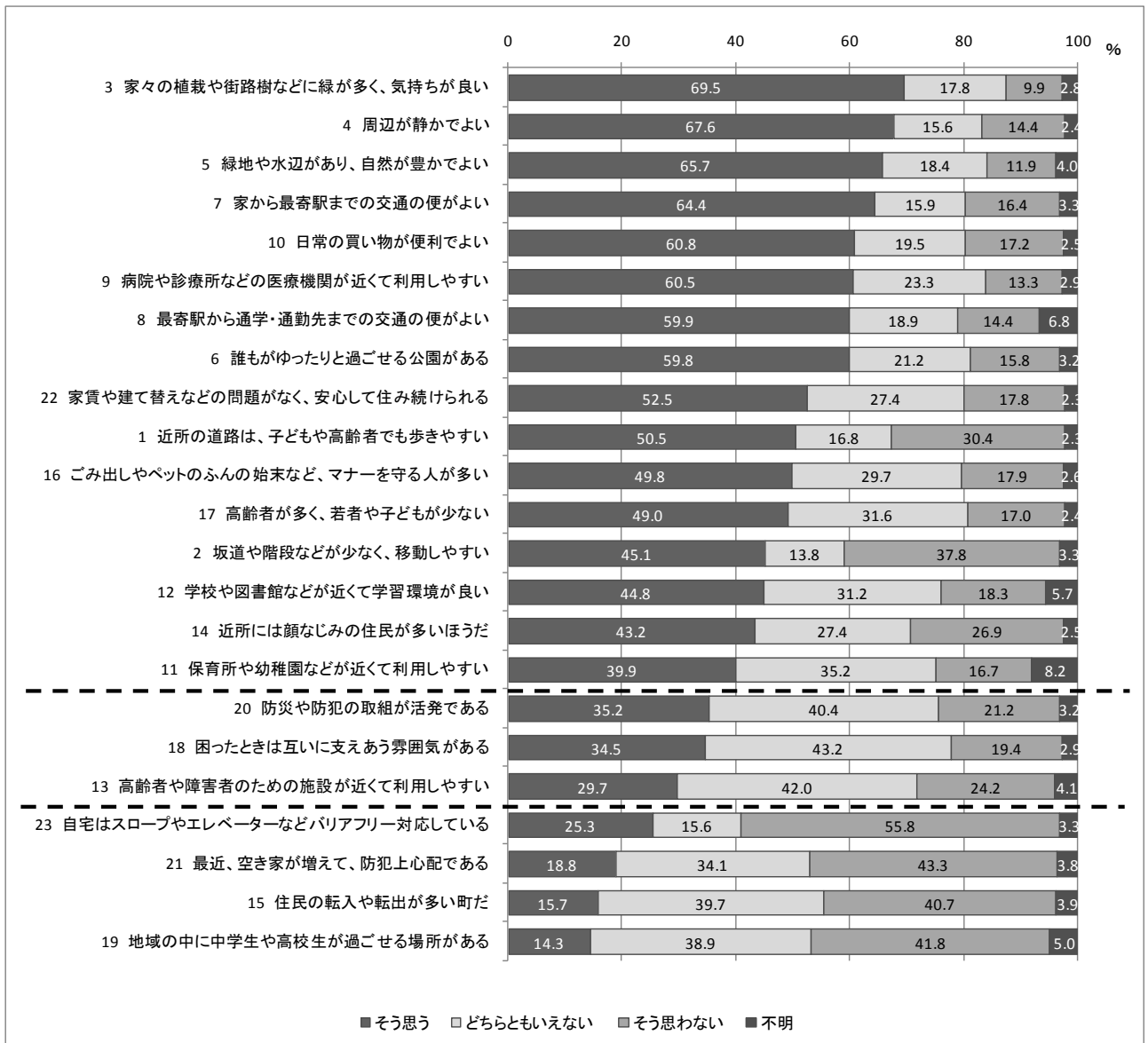
図 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ



「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて“そう思う”（肯定感）、
「そう思わない」「どちらかというと思わない」を合わせて“そう思わない”（否定感）として、各項目についての暮らしやすさを分析すると以下のとおりである。

- ・ **肯定感**の割合が高い順にみると、**肯定感**の率が最も高いのは「家々の植栽や街路樹などに緑が多く、気持ちが良い」の 69.5%で、次いで「周辺が静かでよい」（67.6%）、「緑地や水辺があり、自然が豊かでよい」（65.7%）と「まちなみや環境」に関する項目が続く。以下「家から最寄駅までの交通の便がよい」（64.4%）、「日常の買い物が便利でよい」（60.8%）、「病院や診療所などの医療機関が近くて利用しやすい」（60.5%）と「施設や交通の便」に関する項目も評価が高くなっている。
- ・ **否定感**の割合が高いのは「自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している」（55.8%）、「最近、空き家が増えて、防犯上心配である」（43.3%）、「住民の転入や転出が多い町だ」（40.7%）、「地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある」（41.8%）となっている。

図 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ（肯定感の割合が高い順）



注) 「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて“そう思う”（肯定感）、「そう思わない」「どちらかというと思わない」を合わせて“そう思わない”（否定感）として集計

参考 「暮らしやすさ調査」との比較

今回調査と暮らしやすさ調査の値を比較するため、次頁に表を作成した。

<まちなみや環境に関して>

- ・大きな相違点がみられた項目としては、暮らしやすさ調査では**否定感**が多くなって
いる「近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい」「坂道や階段などが少なく、
移動しやすい」の2項目について、今回調査では**肯定感**の方が多くなっている。
- ・今回調査の肯定感の数値がすべての項目で暮らしやすさ調査を上回り、その差は9.6
～17.4ポイントと、高い評価となっている。

<施設や交通の便に関して>

- ・「保育所や幼稚園などが近くて利用しやすい」は、今回調査では**肯定感**が高いの
に対し、暮らしやすさ調査では「どちらとも言えない」が最も多くなっている。「高
齢者や障害者のための施設が近くて利用しやすい」は、暮らしやすさ調査では「ど
ちらとも言えない」に次いで**否定感**の方が多くなっているが、今回調査では「ど
ちらとも言えない」に次いで**肯定感**の方が多くなっている。
- ・今回調査の**肯定感**の数値を見ると、いずれも暮らしやすさ調査より高くなっている
が、前段の<まちなみや環境に関して>ほどポイントの差に大きな開きはない。

<地域の住民に関して>

- ・**肯定感**の数値を見ると、「高齢者が多く、若者や子どもが少ない」「困ったときは互
いに支えあう雰囲気がある」では暮らしやすさ調査に比べて今回調査の方が10ポ
イント前後高くなっている。

<住まいに関して>

- ・「自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している」については、暮ら
しやすさ調査では「住まいが快適である（広さ、段差やエレベーターなどの設備）」
と、若干異なるニュアンスの項目となっており、今回調査では**否定感**が高いのに対
し、暮らしやすさ調査では**肯定感**の方が多くなっている。

表 「暮らしやすさ調査」との比較

(%)

		うか そう という と そう 思 う 思 ら	い ど ち ら と も い え な	う ち そ う 思 わ な い と そ ど	不 明
ま ち な み や 環 境 に 関 し て	1 近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい	50.5	16.8	30.4	2.3
		36.4	18.5	44.0	1.0
	2 坂道や階段などが少なく、移動しやすい	45.1	13.8	37.8	3.3
		31.9	14.7	52.1	1.3
	3 家々の植栽や街路樹などに緑が多く、気持ちが良い	69.5	17.8	9.9	2.8
施 設 や 交 通 の 便 に 関 し て	4 周辺が静かでよい	56.0	23.1	19.7	1.3
		67.6	15.6	14.4	2.4
	5 緑地や水辺があり、自然が豊かでよい	58.0	15.7	24.9	1.4
		65.7	18.4	11.9	4.0
	6 誰もがゆったりと過ごせる公園がある	48.3	22.5	27.7	1.5
		59.8	21.2	15.8	3.2
	7 家から最寄駅までの交通の便がよい 交通の便がよく、通勤・通学が楽である	51.5	20.5	26.6	1.2
		64.4	15.9	16.4	3.3
	8 最寄駅から通学・通勤先までの交通の便がよい (「暮らしやすさ調査」では該当項目なし)	60.5	16.3	22.0	1.2
		59.9	18.9	14.4	6.8
地 域 の 住 民 に 関 し て	9 病院や診療所などの医療機関が近くて利用しやすい	60.5	23.3	13.3	2.9
		55.2	24.3	19.2	1.3
	10 日常の買い物が便利でよい	60.8	19.5	17.2	2.5
		59.8	16.8	22.7	0.8
	11 保育所や幼稚園などが近くて利用しやすい	39.9	35.2	16.7	8.2
		31.4	42.1	21.1	5.5
	12 学校や図書館などが近くて学習環境が良い	44.8	31.2	18.3	5.7
		38.0	30.6	28.5	2.9
住 ま い に 関 し て	13 高齢者や障害者のための施設が近くて利用しやすい	29.7	42.0	24.2	4.1
		20.1	43.7	33.9	2.4
	14 近所には顔なじみの住民が多いほうだ	43.2	27.4	26.9	2.5
		41.1	24.5	33.6	0.9
	15 住民の転入や転出が多い町だ	15.7	39.7	40.7	3.9
		19.2	40.2	38.2	2.4
	16 ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーを守る人が多い	49.8	29.7	17.9	2.6
		42.9	30.2	25.4	1.4
	17 高齢者が多く、若者や子どもが少ない	49.0	31.6	17.0	2.4
		38.6	34.3	25.7	1.4
住 ま い に 関 し て	18 困ったときは互いに支えあう雰囲気がある	34.5	43.2	19.4	2.9
		24.6	43.4	30.6	1.5
	19 地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある	14.3	38.9	41.8	5.0
		11.4	35.8	49.2	3.6
	20 防災や防犯の取組が活発である	35.2	40.4	21.2	3.2
		30.8	40.6	27.0	1.6
	21 最近、空き家が増えて、防犯上心配である (「暮らしやすさ調査」では該当項目なし)	18.8	34.1	43.3	3.8
住 ま い に 関 し て	22 家賃や建て替えなどの問題がなく、安心して住み続けられる	52.5	27.4	17.8	2.3
		50.5	28.4	19.7	1.4
	23 自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している 住まいが快適である(広さ、段差やエレベーターなどの設備)	25.3	15.6	55.8	3.3
	51.5	25.8	21.1	1.6	

上段:今回調査
下段:暮らしやすさ調査

■ 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせて「肯定感」とし、居住形態・居住地区別に上位3位を示した。

1 近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい

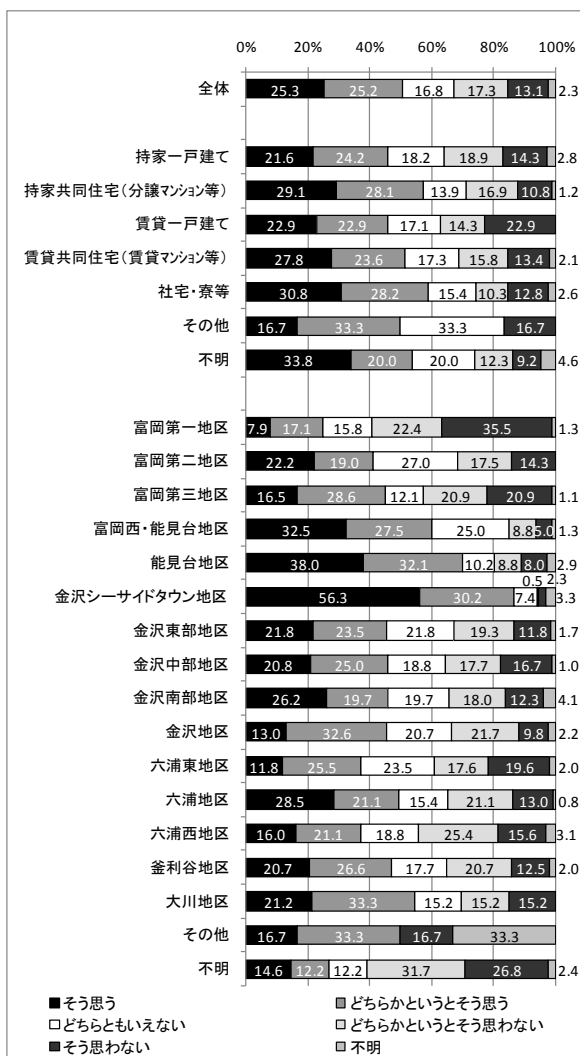
- ・居住形態では、社宅・寮等、次いで持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順となっており、集合住宅で肯定感が高い。
- ・居住地区では、金沢シーサイドタウンの肯定感の数値が特に高く、次いで能見台、富岡西・能見台の順となっている。

2 坂道や階段などが少なく、移動しやすい

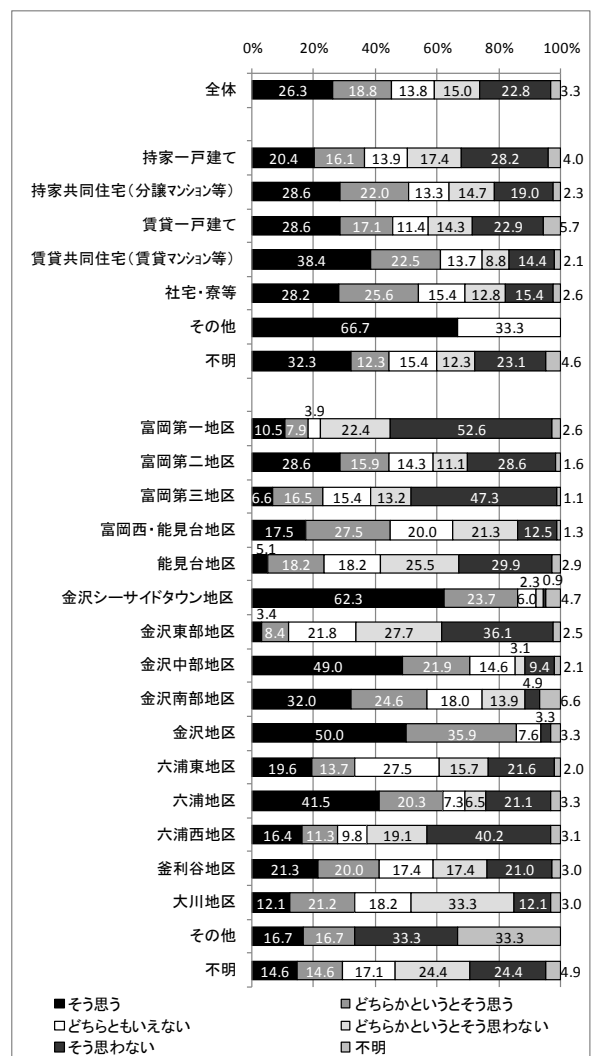
- ・居住形態では、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、社宅・寮等、持家共同住宅（分譲マンション等）の順となっており、集合住宅で肯定感が高い。
- ・居住地区では、金沢シーサイドタウン、金沢の肯定感の数値が特に高く、次いで金沢中部の順となっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

1 近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい



2 坂道や階段などが少なく、移動しやすい



3 家々の植栽や街路樹などに緑が多く、気持ちが良い

- ・居住形態では、社宅・寮等の肯定感の数値が特に高い。次いで持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順となっており、集合住宅で肯定感が高い。
- ・居住地区では、能見台、金沢シーサイドタウンの肯定感が同率で非常に高い数値となっている。次いで大川である。

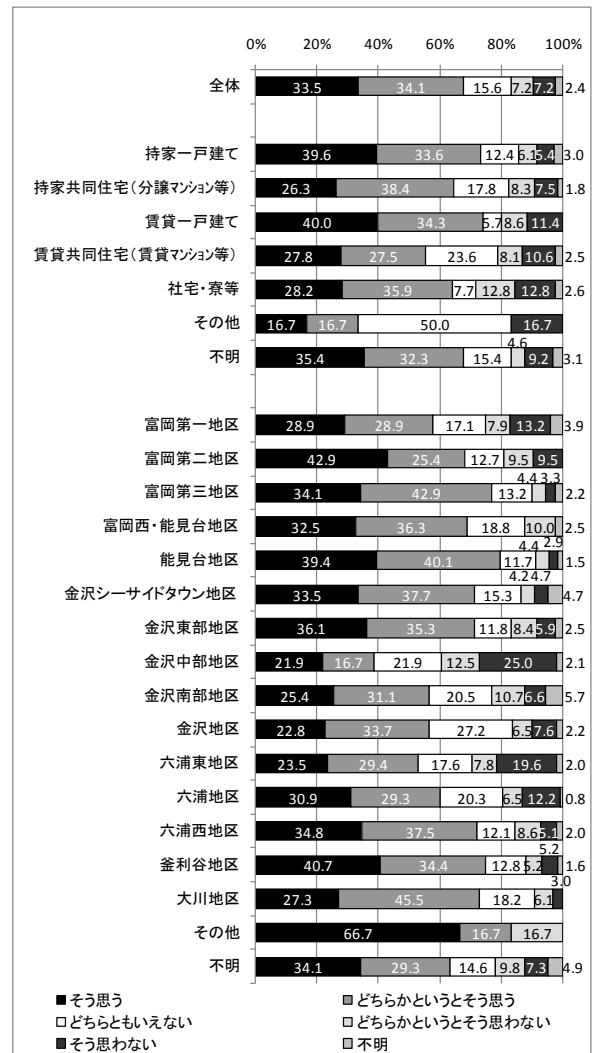
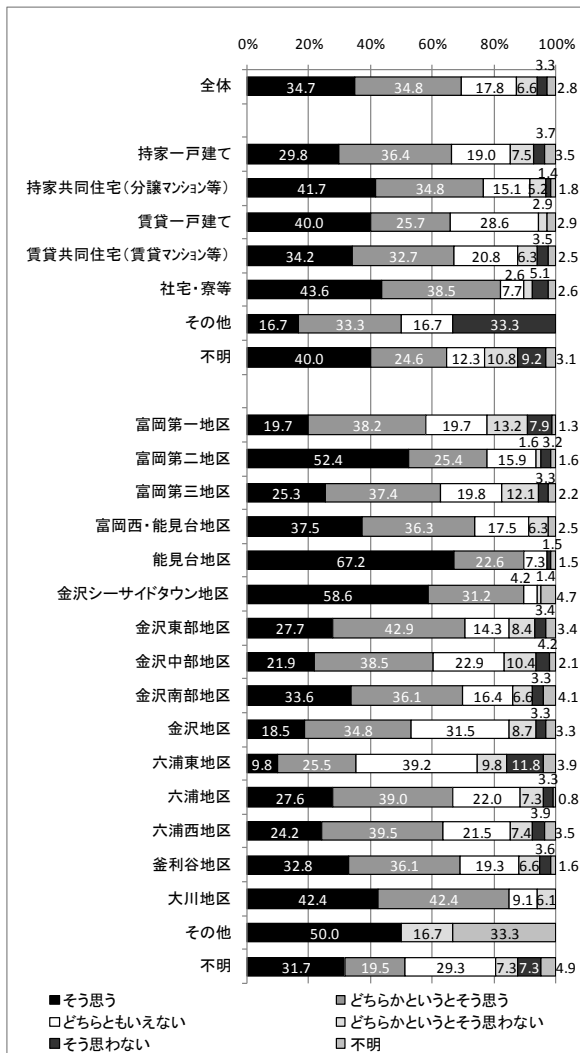
4 周辺が静かでよい

- ・居住形態では、賃貸一戸建て、持家一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）の順となっており、一戸建てでの肯定感が高い。
- ・居住地区では、肯定感が高いのは能見台、富岡第三、釜利谷の順である。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

3 家々の植栽や街路樹などに緑が多く、気持ちが良い

4 周辺が静かでよい



5 緑地や水辺があり、自然が豊かでよい

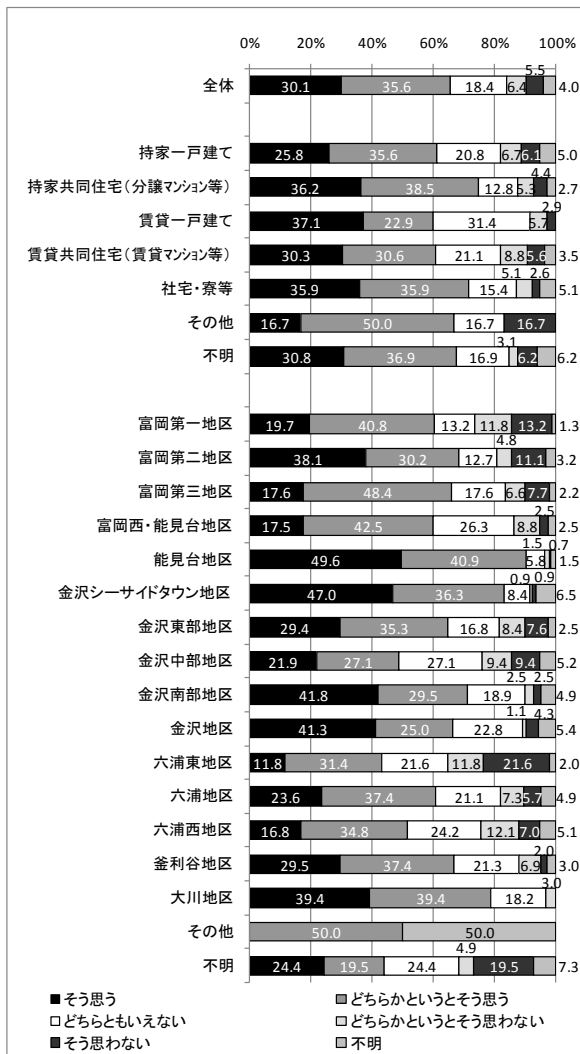
- ・居住形態では、持家共同住宅（分譲マンション等）、社宅・寮等、持家一戸建ての順で肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、能見台の肯定感が特に高い数値となっている。次いで金沢シーサイドタウン、大川の順である。

6 誰もがゆったりと過ごせる公園がある

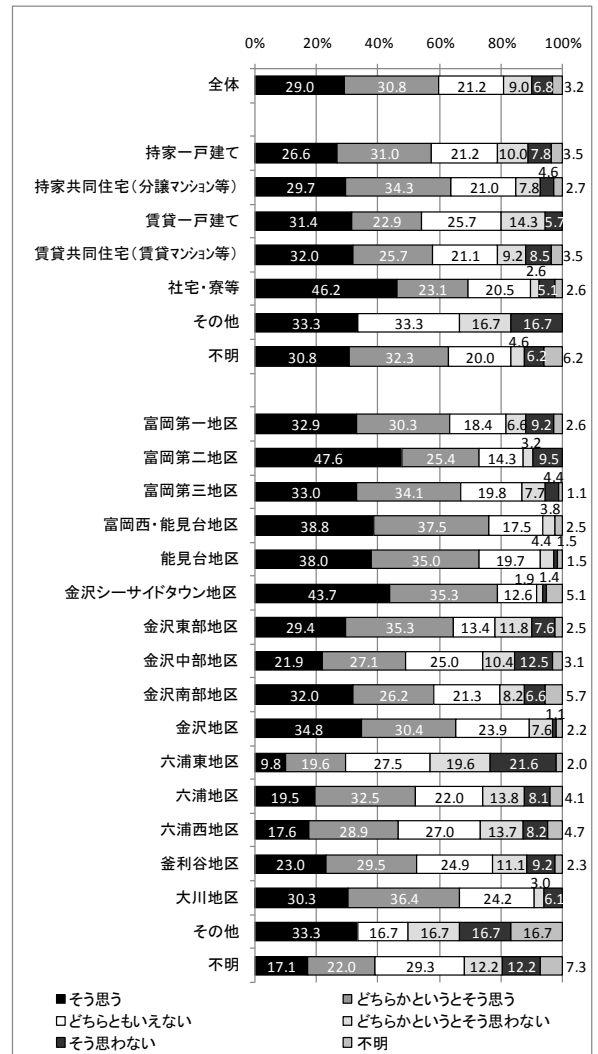
- ・居住形態では、社宅・寮等、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順となっており、集合住宅で肯定感が高い。
- ・居住地区では、金沢シーサイドタウン、富岡西・能見台、富岡第二の順で肯定感が高くなっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

5 緑地や水辺があり、自然が豊かでよい



6 誰もがゆったりと過ごせる公園がある



7 家から最寄駅までの交通の便がよい

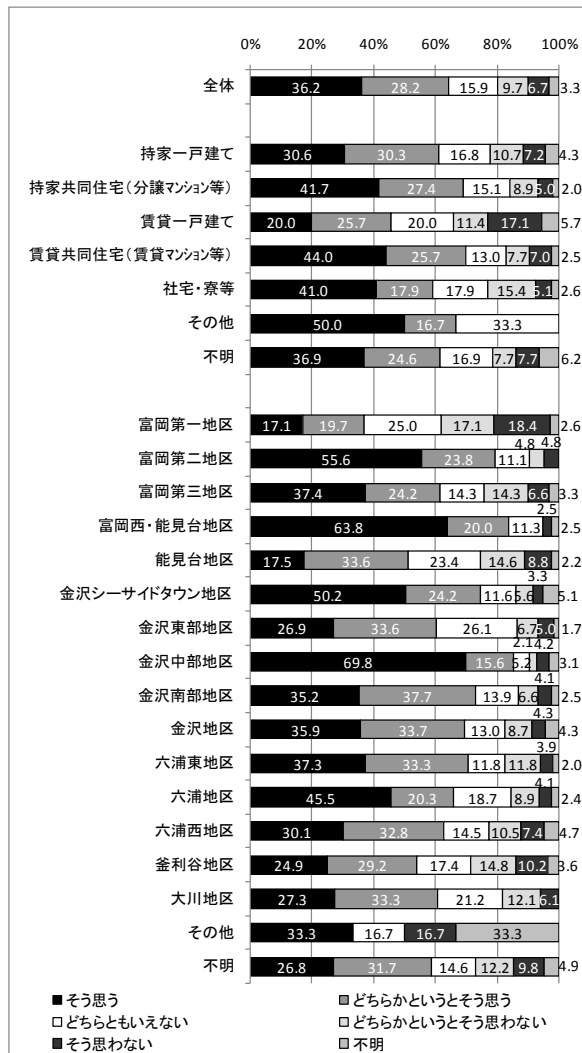
- ・居住形態では、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、持家共同住宅（分譲マンション等）の肯定感の値がほぼ並び、次いで持家一戸建ての順である。
- ・居住地区では、金沢中部、富岡西・能見台、富岡第二の順で肯定感が高くなっている。

8 最寄駅から通学・通勤先までの交通の便がよい

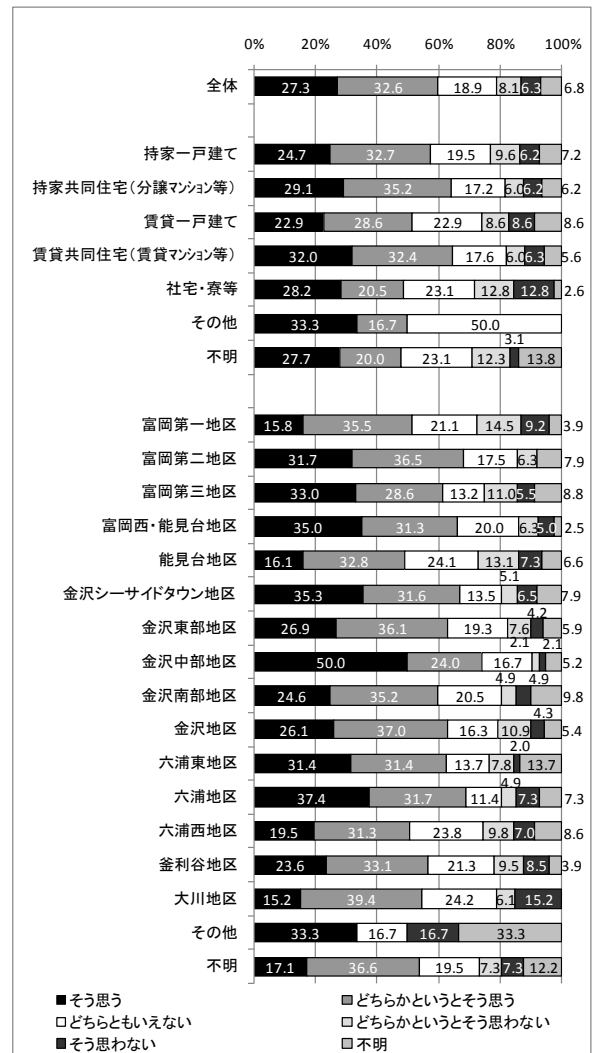
- ・居住形態では、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、持家共同住宅（分譲マンション等）の肯定感の値がほぼ並び、次いで持家一戸建ての順である。
- ・居住地区では、金沢中部で肯定感が高い数値となっており、次いで六浦、富岡第二の順である。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

7 家から最寄駅までの交通の便がよい



8 最寄駅から通学・通勤先までの交通の便がよい



9 病院や診療所などの医療機関が近くて利用しやすい

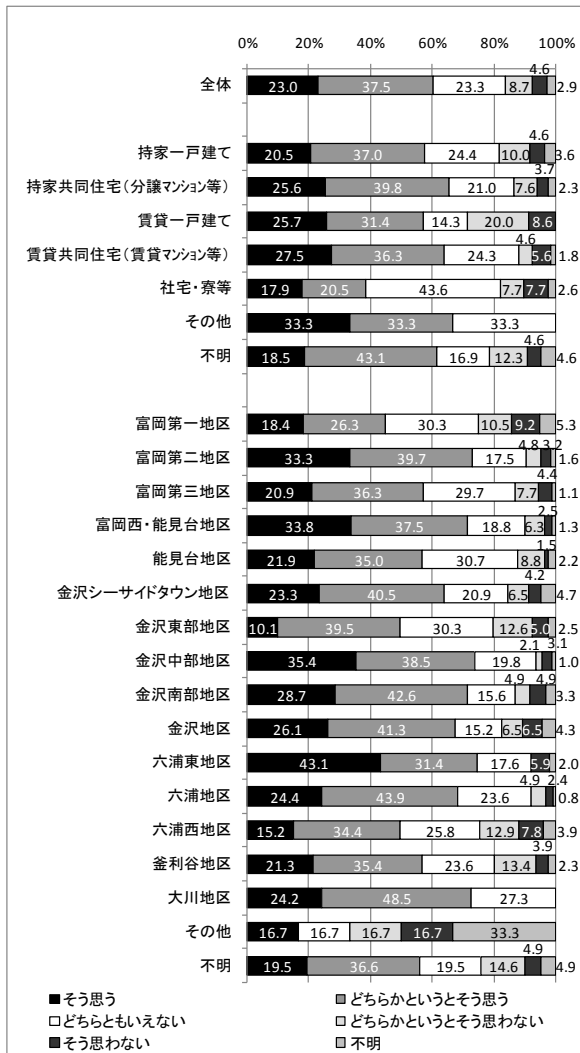
- ・居住形態では、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、持家一戸建ての順で肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、六浦東、金沢中部、富岡第二の順で肯定感が高くなっている。

10 日常の買い物が便利でよい

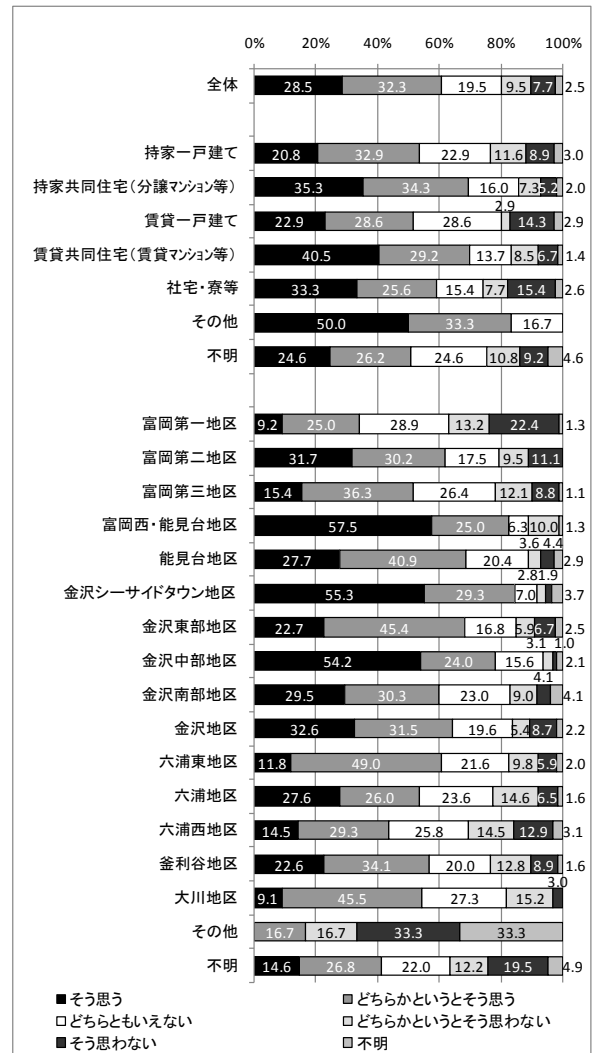
- ・居住形態では、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、持家共同住宅（分譲マンション等）の肯定感の値がほぼ並び、次いで社宅・寮等の順となっており、集合住宅で肯定感が高い。
- ・居住地区では、金沢シーサイドタウンで肯定感の数値が高く、小差で富岡西・能見台、次いで金沢中部の順である。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

9 病院や診療所などの医療機関が近くて利用しやすい



10 日常の買い物が便利でよい



11 保育所や幼稚園などが近くて利用しやすい

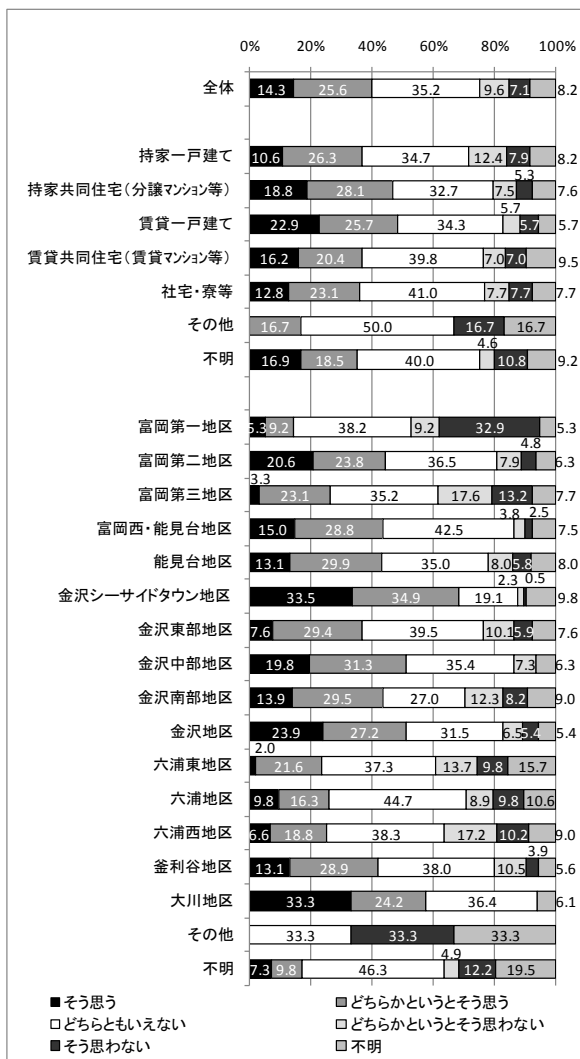
- ・居住形態では、賃貸一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）、持家一戸建ての順で肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、金沢シーサイドタウン、金沢、大川の順で肯定感が高くなっている。

12 学校や図書館などが近くて学習環境が良い

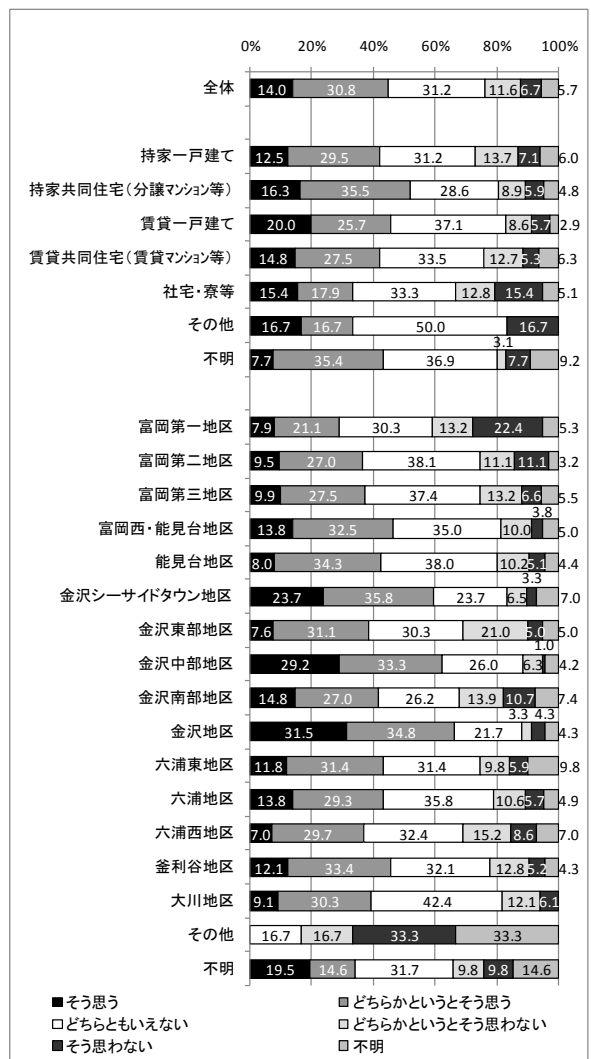
- ・居住形態では、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸一戸建て、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順で肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、金沢、金沢中部、金沢シーサイドタウンの順で肯定感が高くなっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

11 保育所や幼稚園などが近くて利用しやすい



12 学校や図書館などが近くて学習環境が良い



13 高齢者や障害者のための施設が近くて利用しやすい

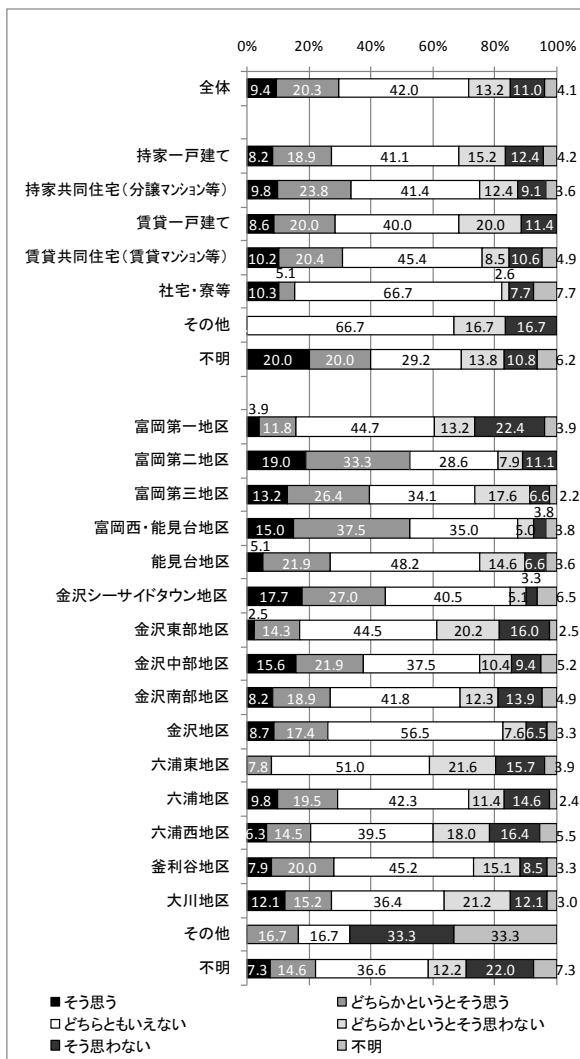
- ・居住形態では、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、賃貸一戸建ての順で肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、富岡西・能見台、富岡第二で肯定感の値がほぼ並び、次いで金沢シーサイドタウンの順となっている。

14 近所には顔なじみの住民が多いほうだ

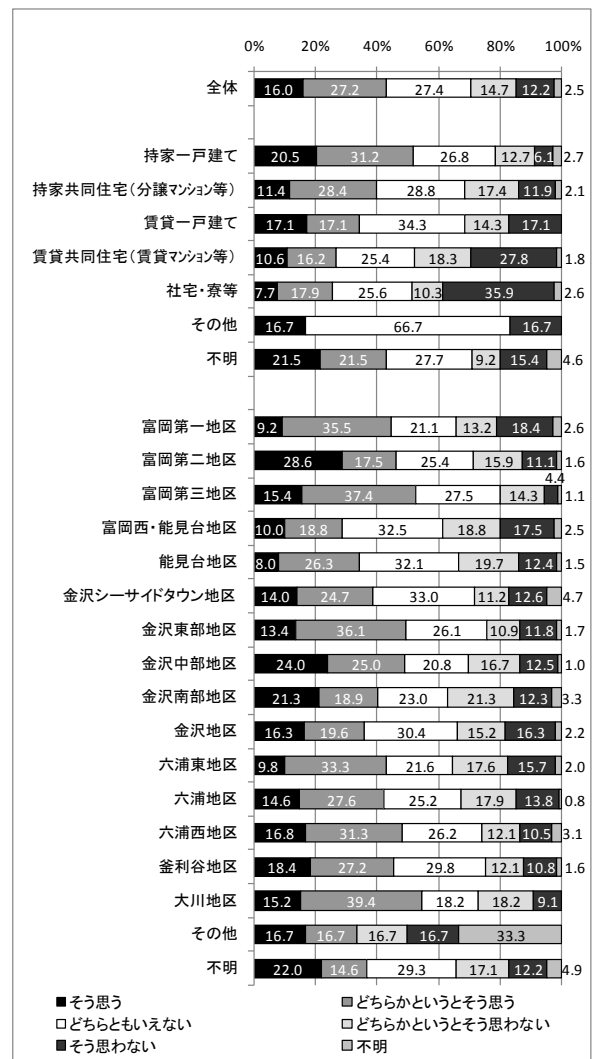
- ・居住形態では、持家一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸一戸建ての順となっており、持家で肯定感が高い。
- ・居住地区では、大川、富岡第三、金沢東部の順で肯定感が高くなっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

13 高齢者や障害者のための施設が近くて利用しやすい



14 近所には顔なじみの住民が多いほうだ



15 住民の転入や転出が多い町だ

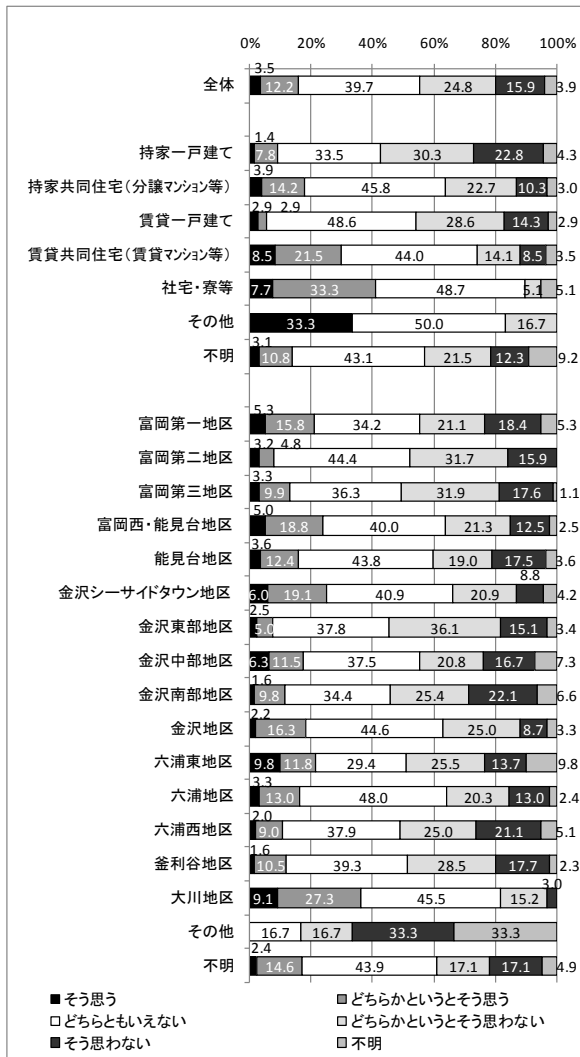
- ・居住形態では、社宅・寮等の肯定感の数値が他に比べて高く、次いで賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、持家共同住宅（分譲マンション等）の順となっており、集合住宅で肯定感が高い傾向にある。
- ・居住地区では、大川、金沢シーサイドタウン、富岡西・能見台の順で肯定感が高くなっている。

16 ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーを守る人が多い

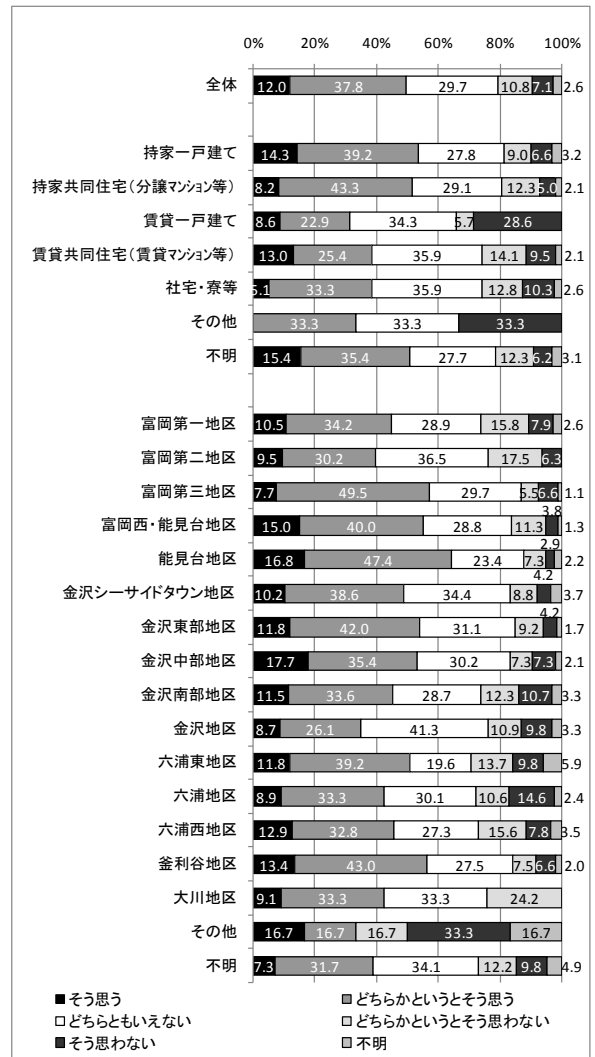
- ・居住形態では、持家一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）、社宅・寮等の順となっており、持家や社宅といった顔が見えやすい関係での肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、能見台、富岡第三、釜利谷の順で肯定感が高くなっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

15 住民の転入や転出が多い町だ



16 ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーを守る人が多い



17 高齢者が多く、若者や子どもが少ない

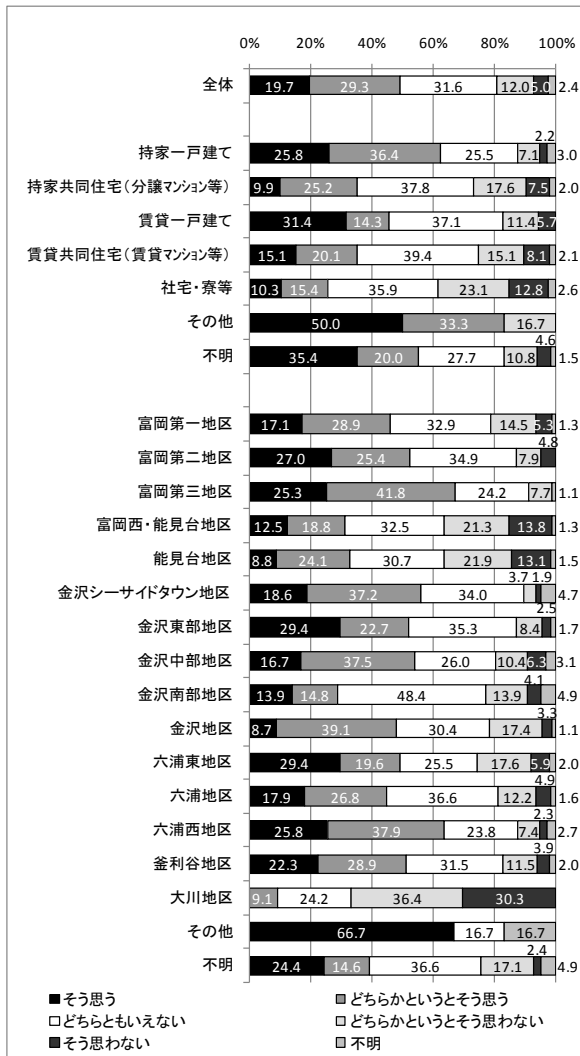
- ・居住形態では、持家一戸建て、賃貸一戸建て、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順となっており、一戸建てでの肯定感の数値が高い傾向である。
- ・居住地区では、富岡第三、六浦西、金沢シーサイドタウンの順で肯定感が高くなっている。

18 困ったときは互いに支えあう雰囲気がある

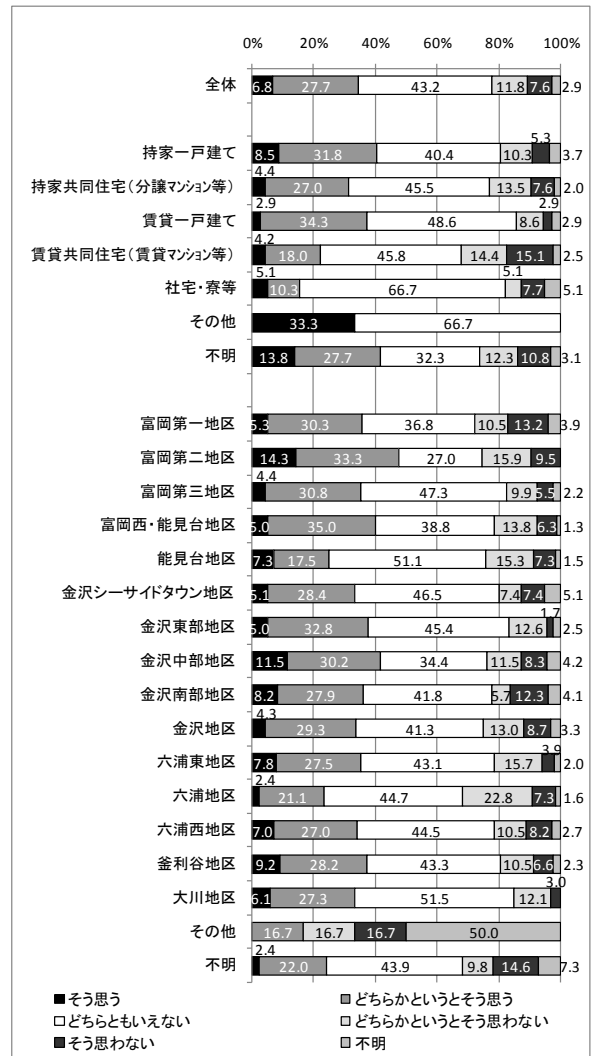
- ・居住形態では、持家一戸建て、賃貸一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）となっており、一戸建て、持家での肯定感が高い。
- ・居住地区では、富岡第二、金沢中部、富岡西・能見台の順で肯定感が高くなっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

17 高齢者が多く、若者や子どもが少ない



18 困ったときは互いに支えあう雰囲気がある



19 地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある

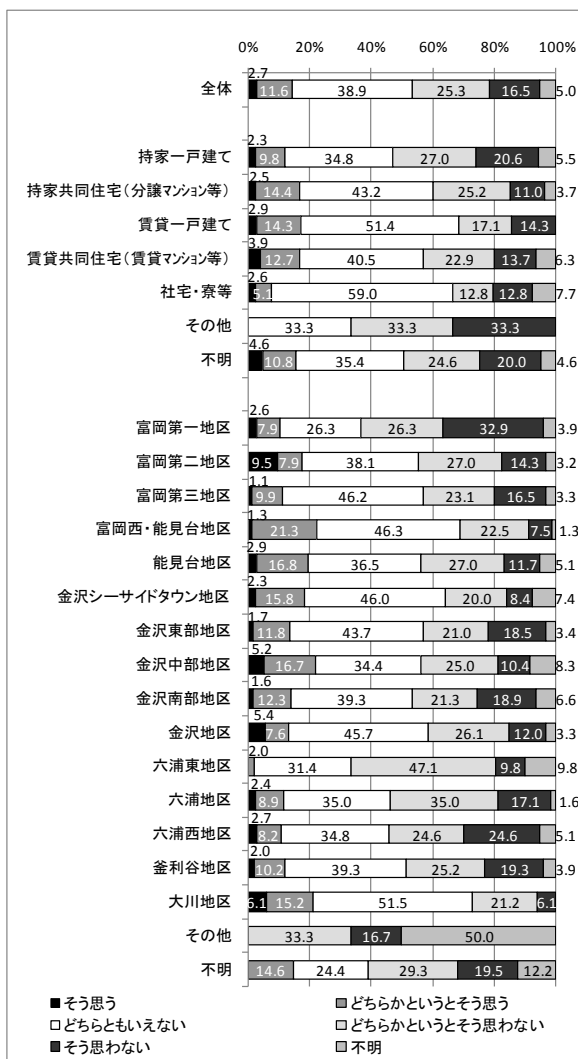
- ・居住形態では、賃貸一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順で肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、富岡西・能見台、金沢中部、大川の順で肯定感が高くなっている。

20 防災や防犯の取組が活発である

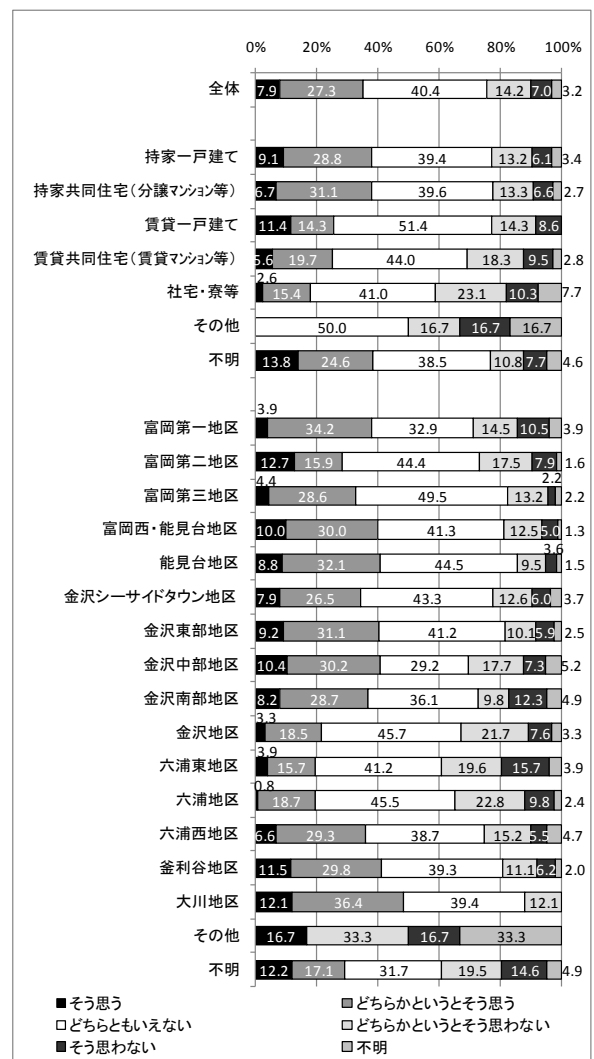
- ・居住形態では、持家一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸一戸建ての順となっており、持家、一戸建てで肯定感が高い傾向にある。
- ・居住地区では、大川、釜利谷、能見台の順で肯定感が高くなっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

19 地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある



20 防災や防犯の取組が活発である



21 最近、空き家が増えて、防犯上心配である

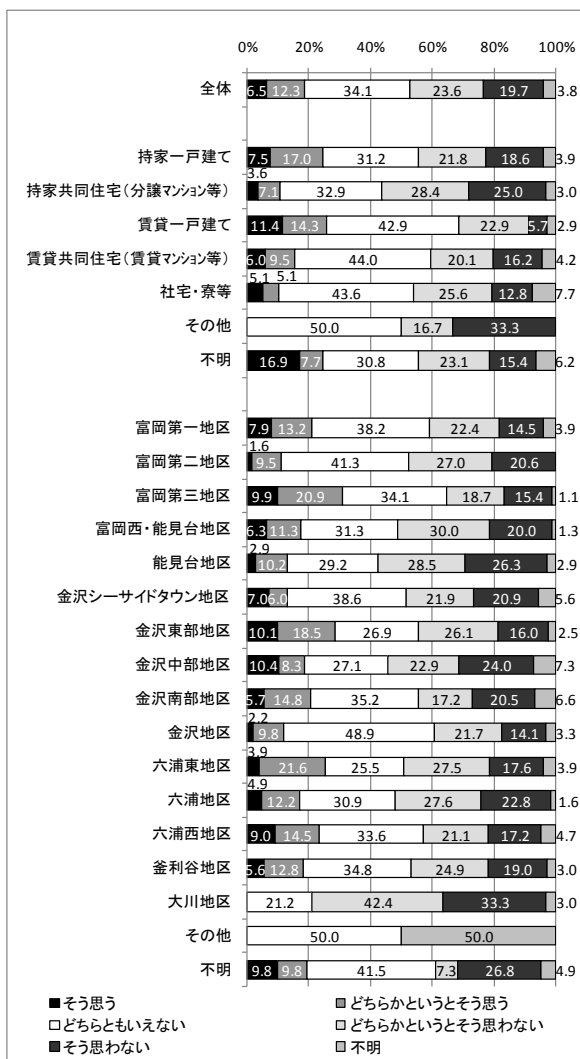
- ・居住形態では、賃貸一戸建て、持家一戸建て、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順で、一戸建てでの肯定感が高い傾向にある。
- ・居住地区では、富岡第三、金沢東部、六浦東の順で肯定感が高くなっている。

22 家賃や建て替えなどの問題がなく、安心して住み続けられる

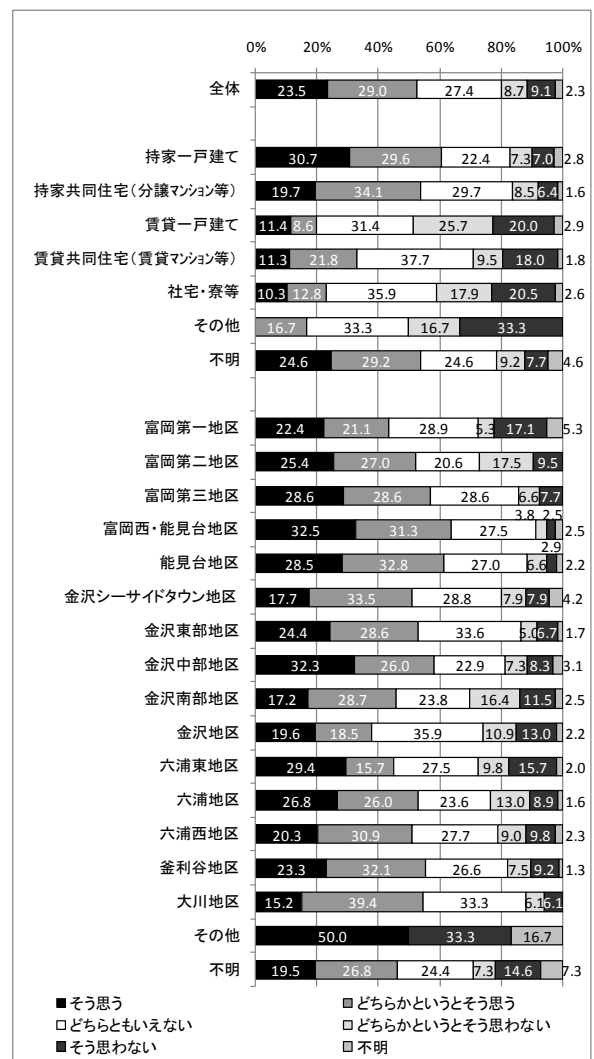
- ・居住形態では、持家一戸建て、持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）の順で、持家での肯定感が圧倒的に高い。
- ・居住地区では、富岡西・能見台、能見台、金沢中部の順で肯定感が高くなっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

21 最近、空き家が増えて、防犯上心配である



22 家賃や建て替えなどの問題がなく、安心して住み続けられる

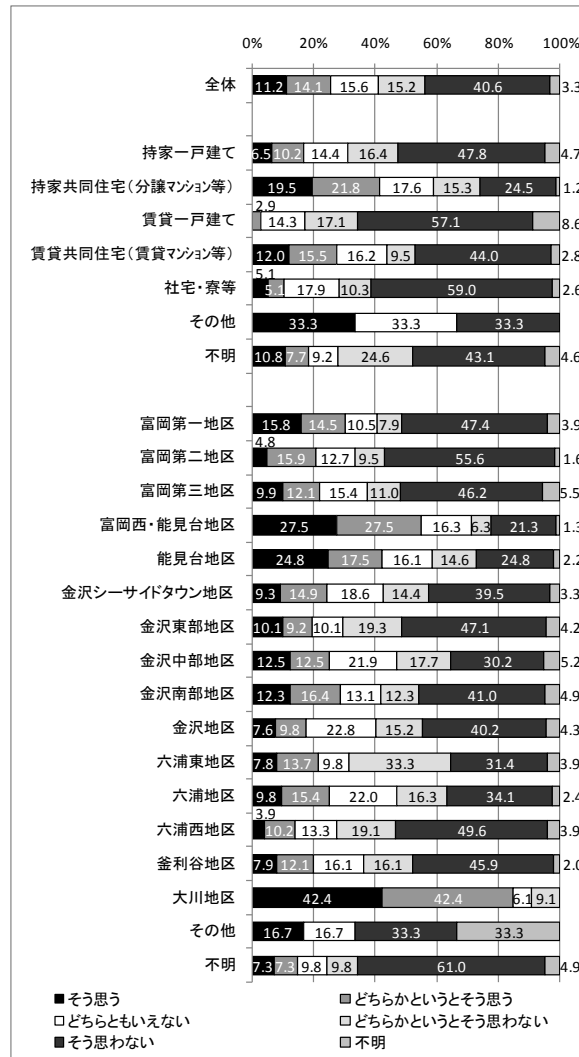


23 自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している

- ・居住形態では、持家共同住宅（分譲マンション等）の肯定感が抜きんでて高く、ついで賃貸共同住宅（賃貸マンション等）、持家一戸建ての順で、マンションでの肯定感が高くなっている。
- ・居住地区では、大川の肯定感が突出している。次いで富岡西・能見台、能見台の順となっている。

図 居住形態・居住地区別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

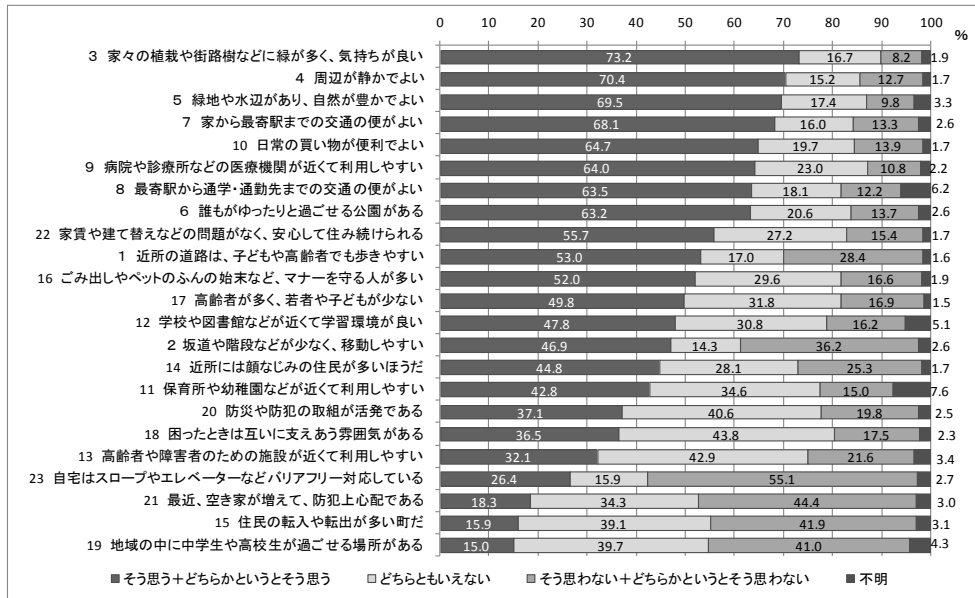
23 自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している



■ 住みごち別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

・問4で「住みよい」「まあ住みよい」と回答した人について、問7の地域の暮らしやすさの回答をみたところ、肯定感は下図のようになった。緑などの自然環境、交通の便が上位項目にきている。医療機関以外の施設の利便性は大きく影響しない。

図 住みごち別 暮らしやすさ「住みよい」「まあ住みよい」



・問4で「あまり住みよくない」「住みにくい」と回答した人について、問7の地域の暮らしやすさの回答をみたところ、否定感の下図のようになった。自宅や周辺の歩きやすさ、中高生の過ごせる場所や高齢者施設、買い物等の利便性が上位項目にきている。

図 住みごち別 暮らしやすさ「あまり住みよくない」「住みにくい」

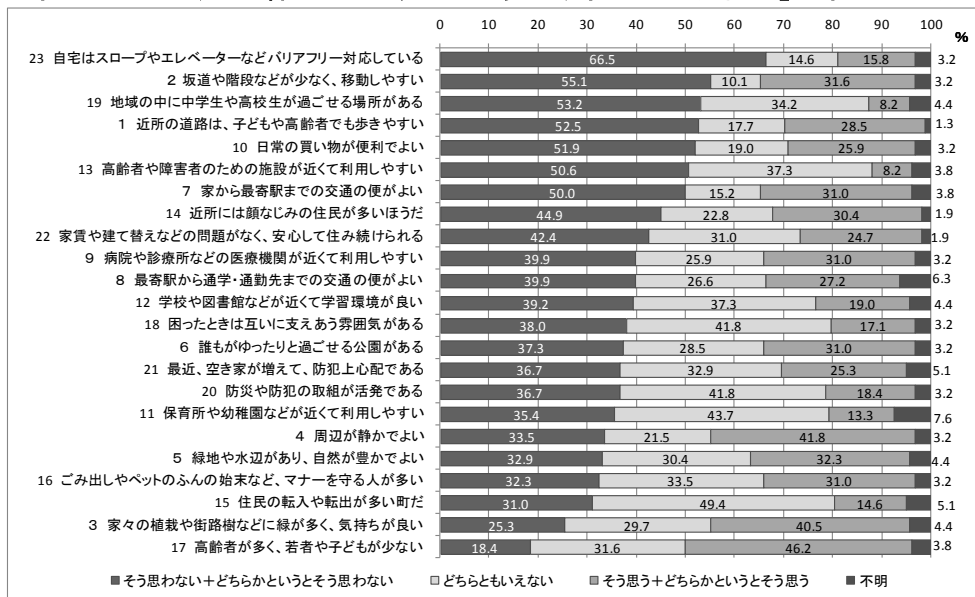


表 住みごころ別 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさ

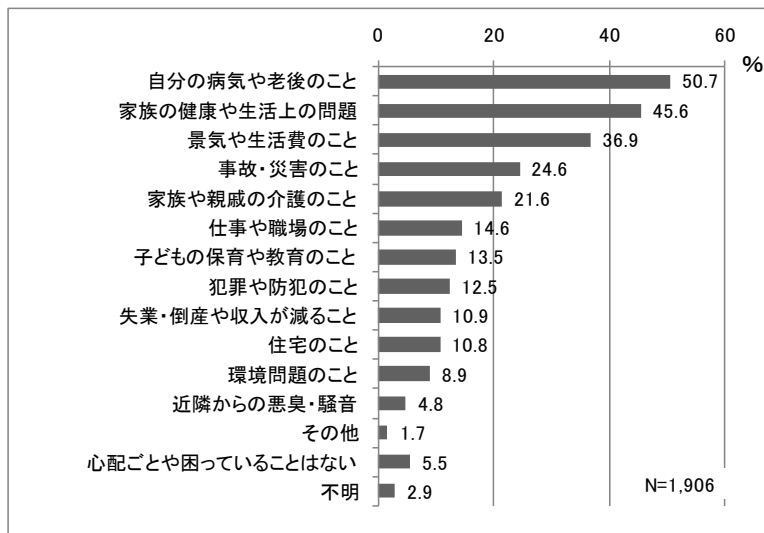
(%)

		合計 (件)						不明
			そう思う	どちらか という そう思う	どちらと もいえ ない	どちらか という そう思 わない	そう思わ ない	
1 近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい	住みよい・まあ住みよい	1716	26.9	26.0	17.0	17.0	11.4	1.6
	あまり住みよくない・住みにくい	158	12.0	16.5	17.7	21.5	31.0	1.3
2 坂道や階段などが少なく、移動しやすい	住みよい・まあ住みよい	1716	27.6	19.3	14.3	14.9	21.4	2.6
	あまり住みよくない・住みにくい	158	17.1	14.6	10.1	14.6	40.5	3.2
3 家々の植栽や街路樹などに緑が多く、気持ちが良い	住みよい・まあ住みよい	1716	37.1	36.1	16.7	5.5	2.6	1.9
	あまり住みよくない・住みにくい	158	14.6	25.9	29.7	17.7	7.6	4.4
4 周辺が静かでよい	住みよい・まあ住みよい	1716	35.1	35.3	15.2	7.1	5.6	1.7
	あまり住みよくない・住みにくい	158	20.9	20.9	21.5	8.9	24.7	3.2
5 緑地や水辺があり、自然が豊かでよい	住みよい・まあ住みよい	1716	32.0	37.5	17.4	5.2	4.6	3.3
	あまり住みよくない・住みにくい	158	14.6	17.7	30.4	19.0	13.9	4.4
6 誰もがゆったりと過ごせる公園がある	住みよい・まあ住みよい	1716	31.2	31.9	20.6	8.2	5.5	2.6
	あまり住みよくない・住みにくい	158	9.5	21.5	28.5	17.1	20.3	3.2
7 家から最寄駅までの交通の便が良い	住みよい・まあ住みよい	1716	38.3	29.8	16.0	8.4	4.8	2.6
	あまり住みよくない・住みにくい	158	18.4	12.7	15.2	22.8	27.2	3.8
8 最寄駅から通学・通勤先までの交通の便が良い	住みよい・まあ住みよい	1716	29.3	34.3	18.1	7.2	5.0	6.2
	あまり住みよくない・住みにくい	158	10.1	17.1	26.6	18.4	21.5	6.3
9 病院や診療所などの医療機関が近くて利用しやすい	住みよい・まあ住みよい	1716	24.5	39.5	23.0	8.0	2.8	2.2
	あまり住みよくない・住みにくい	158	10.1	20.9	25.9	15.8	24.1	3.2
10 日常の買い物が便利でよい	住みよい・まあ住みよい	1716	30.8	33.9	19.7	8.7	5.2	1.7
	あまり住みよくない・住みにくい	158	8.2	17.7	19.0	17.7	34.2	3.2
11 保育所や幼稚園などが近くて利用しやすい	住みよい・まあ住みよい	1716	15.6	27.2	34.6	9.1	5.9	7.6
	あまり住みよくない・住みにくい	158	2.5	10.8	43.7	15.8	19.6	7.6
12 学校や図書館などが近くて学習環境が良い	住みよい・まあ住みよい	1716	15.1	32.8	30.8	10.8	5.4	5.1
	あまり住みよくない・住みにくい	158	4.4	14.6	37.3	17.7	21.5	4.4
13 高齢者や障害者のための施設が近くて利用しやすい	住みよい・まあ住みよい	1716	10.3	21.9	42.9	12.6	9.0	3.4
	あまり住みよくない・住みにくい	158	1.9	6.3	37.3	17.7	32.9	3.8
14 近所には顔なじみの住民が多いほうだ	住みよい・まあ住みよい	1716	16.6	28.3	28.1	14.8	10.5	1.7
	あまり住みよくない・住みにくい	158	10.8	19.6	22.8	14.6	30.4	1.9
15 住民の転入や転出が多い町だ	住みよい・まあ住みよい	1716	3.5	12.4	39.1	26.2	15.7	3.1
	あまり住みよくない・住みにくい	158	4.4	10.1	49.4	13.3	17.7	5.1
16 ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーを守る人が多い	住みよい・まあ住みよい	1716	12.6	39.4	29.6	10.4	6.2	1.9
	あまり住みよくない・住みにくい	158	7.6	23.4	33.5	15.2	17.1	3.2
17 高齢者が多く、若者や子どもが少ない	住みよい・まあ住みよい	1716	19.4	30.4	31.8	11.9	5.0	1.5
	あまり住みよくない・住みにくい	158	25.3	20.9	31.6	13.3	5.1	3.8
18 困ったときは互いに支えあう雰囲気がある	住みよい・まあ住みよい	1716	7.2	29.3	43.8	11.3	6.2	2.3
	あまり住みよくない・住みにくい	158	2.5	14.6	41.8	15.8	22.2	3.2
19 地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある	住みよい・まあ住みよい	1716	2.9	12.1	39.7	25.8	15.2	4.3
	あまり住みよくない・住みにくい	158	0.6	7.6	34.2	24.1	29.1	4.4
20 防災や防犯の取組が活発である	住みよい・まあ住みよい	1716	8.2	28.9	40.6	13.8	6.1	2.5
	あまり住みよくない・住みにくい	158	5.1	13.3	41.8	19.6	17.1	3.2
21 最近、空き家が増えて、防犯上心配である	住みよい・まあ住みよい	1716	6.1	12.2	34.3	24.2	20.2	3.0
	あまり住みよくない・住みにくい	158	11.4	13.9	32.9	19.6	17.1	5.1
22 家賃や建て替えなどの問題がなく、安心して住み続けられる	住みよい・まあ住みよい	1716	25.1	30.7	27.2	7.8	7.6	1.7
	あまり住みよくない・住みにくい	158	10.1	14.6	31.0	17.1	25.3	1.9
23 自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している	住みよい・まあ住みよい	1716	11.7	14.7	15.9	15.9	39.2	2.7
	あまり住みよくない・住みにくい	158	7.0	8.9	14.6	10.1	56.3	3.2

問 8 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。上位3つを選んでください。

- ・第1位～第3位の回答の全体の結果では、「自分の病気や老後のこと」が50.7%で最も多く、以下「家族の健康や生活上の問題」(45.6%)、「景気や生活費のこと」(36.9%)が困りごとの上位3項目である。

図 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること（総合）



- ・順位別の結果は、次表のとおりである。

表 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること（順位別）

第1位		第2位		第3位	
No.	カテゴリー名	No.	カテゴリー名	No.	カテゴリー名
1	自分の病気や老後のこと	1	家族の健康や生活上の問題	1	景気や生活費のこと
2	家族の健康や生活上の問題	2	景気や生活費のこと	2	事故・災害のこと
3	景気や生活費のこと	3	自分の病気や老後のこと	3	家族の健康や生活上の問題
4	家族や親戚の介護のこと	4	家族や親戚の介護のこと	4	自分の病気や老後のこと
5	仕事や職場のこと	5	事故・災害のこと	5	犯罪や防犯のこと
6	事故・災害のこと	6	子どもの保育や教育のこと	6	住宅のこと
7	子どもの保育や教育のこと	7	仕事や職場のこと	7	家族や親戚の介護のこと
8	失業・倒産や収入が減ること	8	失業・倒産や収入が減ること	8	仕事や職場のこと
9	住宅のこと	9	犯罪や防犯のこと	9	環境問題のこと
10	環境問題のこと	10	環境問題のこと	10	子どもの保育や教育のこと
11	犯罪や防犯のこと	11	住宅のこと	11	失業・倒産や収入が減ること
12	近隣からの悪臭・騒音	12	近隣からの悪臭・騒音	12	近隣からの悪臭・騒音
13	その他	13	その他	13	その他
14	心配ごとや困っていることはない	14	心配ごとや困っていることはない	14	心配ごとや困っていることはない
	不明		不明		不明
	全体(N=1906)		全体(N=1801)		全体(N=1801)

■ 年齢別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること（総合）

- ・20歳代、30歳代では「景気や生活費のこと」、40歳代では「家族の健康や生活上の問題」、50歳代より上の世代では「自分の病気や老後のこと」が最も多くなっている。また、20歳代で「仕事や職場のこと」、子育ての中心世代である30歳代と40歳代では「子どもの保育や教育のこと」、親世代が高齢化してくる50歳代では「家族や親戚の介護のこと」の数値が他世代に比べて高く、自分に直接関わりのある項目では数値が高くなっている。
- ・ひとり暮らしの高齢者では、「自分の病気や老後のこと」が最も多く、非常に高い数値となっている。また、「事故、災害のこと」の数値が高い傾向にあるほか、60歳～74歳では「景気や生活費のこと」の数値も高い。

表 年齢別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること

	合計 (件)	問8 生活のことで心配ごとや困っていること (%)														
		ご自分の病気や老後のこと	家族の健康や生活上の問題	減失業・倒産や収入が	仕事や職場のこと	景気や生活費のこと	の子どもの保育や教育のこと	ご家族や親戚の介護のこと	音近隣からの悪臭・騒	環境問題のこと	事故・災害のこと	犯罪や防犯のこと	住宅のこと	その他	心配ごとではない	不明
全体	1906	50.7	45.6	10.9	14.6	36.9	13.5	21.6	4.8	8.9	24.6	12.5	10.8	1.7	5.5	2.9
F2 年齢																
20歳代	145	15.9	40.0	13.1	43.4	47.6	11.7	17.2	4.1	9.7	26.9	16.6	6.9	2.8	7.6	1.4
30歳代	243	19.3	41.2	15.6	24.3	45.3	39.5	15.2	6.6	9.1	24.7	9.1	12.8	2.5	5.3	0.8
40歳代	294	30.3	42.2	16.0	21.1	37.4	38.4	23.5	6.8	5.8	19.4	12.9	13.3	1.4	5.1	0.7
50歳代	308	55.2	42.5	13.6	15.3	39.0	7.5	33.8	3.6	5.2	24.7	7.5	10.1	1.9	3.9	3.2
60歳～74歳	592	70.4	52.7	8.6	6.4	33.6	0.5	22.0	4.2	11.1	24.5	12.7	10.8	1.4	5.6	2.9
75歳以上	266	73.7	48.9	2.6	2.6	26.3	0.8	13.5	4.1	10.2	27.8	16.9	9.0	1.9	5.6	6.8
不明	58	43.1	25.9	6.9	5.2	43.1	6.9	19.0	5.2	12.1	31.0	19.0	12.1	0.0	10.3	6.9
F2高年齢×F4ひとり暮らし																
60歳～74歳-ひとり暮らし	55	83.6	29.1	5.5	14.5	49.1	0.0	7.3	5.5	9.1	34.5	14.5	18.2	1.8	1.8	0.0
75歳以上-ひとり暮らし	46	87.0	30.4	2.2	0.0	26.1	0.0	4.3	6.5	6.5	34.8	15.2	17.4	0.0	6.5	6.5

■ 家族形態別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること（総合）

- ・ひとり暮らし、夫婦のみ、その他では「自分の病気や老後のこと」、親と子（二世代）、祖父母と親と子（三世代）では「家族の健康や生活上の問題」が最も多い。また、祖父母と親と子（三世代）では「家族や親戚の介護のこと」の数値が高くなっている。

表 家族形態別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること

	合計 (件)	問8 生活のことで心配ごとや困っていること (%)														
		ご自分の病気や老後のこと	家族の健康や生活上の問題	減失業・倒産や収入が	仕事や職場のこと	景気や生活費のこと	の子どもの保育や教育のこと	ご家族や親戚の介護のこと	音近隣からの悪臭・騒	環境問題のこと	事故・災害のこと	犯罪や防犯のこと	住宅のこと	その他	心配ごとではない	不明
全体	1906	50.7	45.6	10.9	14.6	36.9	13.5	21.6	4.8	8.9	24.6	12.5	10.8	1.7	5.5	2.9
F4 家族形態																
ひとり暮らし	164	70.1	32.3	12.2	20.1	42.1	0.0	9.8	6.7	7.3	29.9	10.4	16.5	0.6	4.3	1.8
夫婦のみ	498	60.8	49.4	7.2	9.4	30.1	3.2	20.9	5.0	12.4	27.5	15.5	11.2	1.6	5.4	3.8
親と子（二世代）	1033	44.0	46.1	12.9	16.6	38.6	20.4	21.7	4.4	7.3	23.1	11.0	10.3	2.1	6.0	2.2
祖父母と親と子（三世代）	111	36.9	48.6	9.9	13.5	35.1	18.0	44.1	6.3	5.4	17.1	15.3	5.4	1.8	3.6	5.4
その他	21	71.4	66.7	4.8	23.8	57.1	9.5	33.3	0.0	14.3	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0
不明	79	48.1	34.2	8.9	10.1	43.0	11.4	15.2	5.1	13.9	30.4	15.2	11.4	0.0	6.3	5.1

問 9 あなたが日常生活を送っているなかで、行政に特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。上位3つを選んでください。

- ・第1位～第3位の回答の全体の結果では、割合が多い順に「防災・災害対策」(52.8%)、「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」(50.4%)、「防犯対策」(33.1%)である。
- ・平成21年度調査では第3位であった「防災・災害対策」が、今年度調査では第1位となっている。

図 行政に特に力を入れてほしいと思う施策（総合）

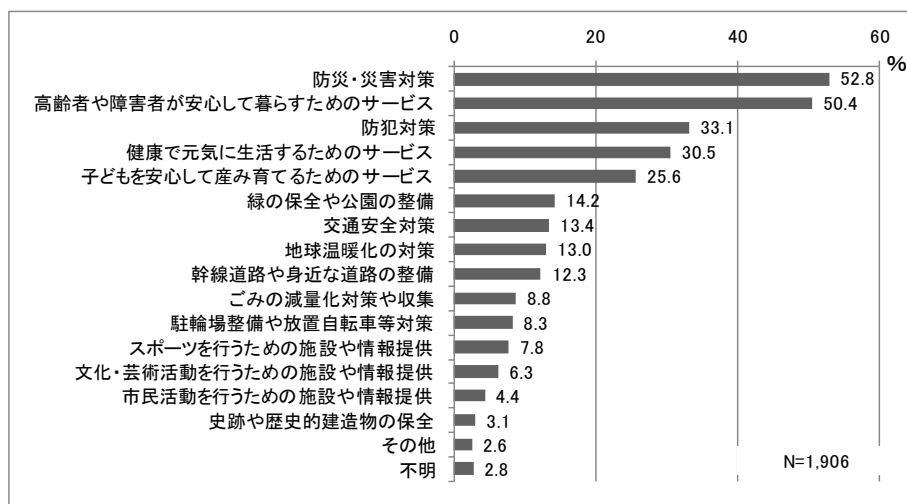
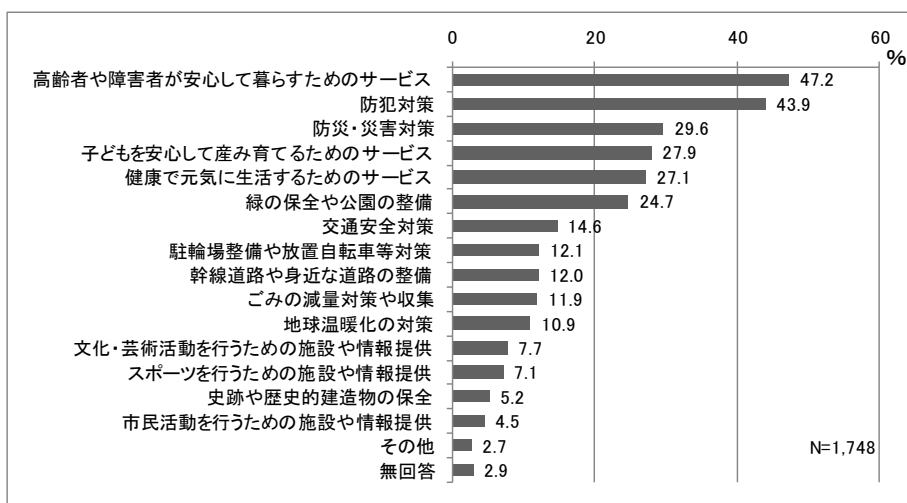


表 平成21年度調査との比較

今回調査 (%)		H21調査 (%)	
防災・災害対策	52.8	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	47.2
高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	50.4	防犯対策	43.9
防犯対策	33.1	防災・災害対策	29.6
健康で元気に生活するためのサービス	30.5	子どもを安心して産み育てるためのサービス	27.9
子どもを安心して産み育てるためのサービス	25.6	健康で元気に生活するためのサービス	27.1

参考 平成21年度調査結果



・順位別の結果は、次表のとおりである。

表 行政に特に力を入れてほしいと思う施策（順位別）

第1位		第2位		第3位				
No.	カテゴリ名	%	No.	カテゴリ名	%	No.	カテゴリ名	%
1	防災・災害対策	28.9	1	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	18.2	1	健康で元気に生活するためのサービス	13.8
2	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	21.0	2	防犯対策	15.0	2	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	11.1
3	子どもを安心して産み育てるためのサービス	11.0	3	防災・災害対策	14.3	3	防災・災害対策	9.6
4	防犯対策	10.3	4	健康で元気に生活するためのサービス	10.8	4	地球温暖化の対策	8.3
5	健康で元気に生活するためのサービス	6.0	5	子どもを安心して産み育てるためのサービス	8.3	5	防犯対策	7.8
6	幹線道路や身近な道路の整備	4.3	6	緑の保全や公園の整備	5.3	6	緑の保全や公園の整備	6.4
7	交通安全対策	3.0	7	交通安全対策	4.9	7	子どもを安心して産み育てるためのサービス	6.3
8	緑の保全や公園の整備	2.5	8	幹線道路や身近な道路の整備	4.0	8	交通安全対策	5.5
9	駐輪場整備や放置自転車等対策	2.3	9	ごみの減量化対策や収集	2.9	9	ごみの減量化対策や収集	4.8
10	地球温暖化の対策	1.9	10	駐輪場整備や放置自転車等対策	2.8	10	幹線道路や身近な道路の整備	4.0
11	ごみの減量化対策や収集	1.1	11	地球温暖化の対策	2.8	11	スポーツを行うための施設や情報提供	4.0
12	スポーツを行うための施設や情報提供	1.0	12	スポーツを行うための施設や情報提供	2.7	12	文化・芸術活動を行うための施設や情報提供	4.0
13	文化・芸術活動を行うための施設や情報提供	0.9	13	市民活動を行うための施設や情報提供	1.5	13	駐輪場整備や放置自転車等対策	3.3
14	史跡や歴史的建造物の保全	0.8	14	文化・芸術活動を行うための施設や情報提供	1.4	14	市民活動を行うための施設や情報提供	2.6
15	市民活動を行うための施設や情報提供	0.4	15	史跡や歴史的建造物の保全	0.7	15	史跡や歴史的建造物の保全	1.6
16	その他	1.7	16	その他	0.4	16	その他	0.5
	不明	2.9		不明	4.0		不明	6.4
	全体	100.0		全体	100.0		全体	100.0

■ **年齢別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策（総合）**

- ・20歳代と40歳代、50歳代で「防災・災害対策」、30歳代では「子どもを安心して産み育てるためのサービス」、60歳代以上の世代では「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」が最も多くなっている。また、20歳代でも「子どもを安心して産み育てるためのサービス」の数値が他世代に比べて高いほか、40歳代では「防犯対策」の数値が高くなっている。
- ・ひとり暮らしの高齢者では、「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」が最も多く、数値も高くなっている。

表 年齢別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策（総合）

	合計 (件)	問9 日常生活を送るなかで、行政に力を入れてほしい施策 (%)																	
		防災・災害対策	防犯対策	交通安全対策	幹線道路や身近な道路の整備	駐輪場整備や放置自転車等対策	緑の保全や公園の整備	史跡や歴史的建造物の保全	安心して暮らすためのサービス	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	子どもを安心して産み育てるためのサービス	健康で元気に生活するためのサービス	市民活動や情報提供を行うための施設や情報提供	スポーツを行うための施設や情報提供	文化・芸術活動や情報提供	取集ごみの減量化対策	地球温暖化の対策	その他	不明
全体	1906	52.8	33.1	13.4	12.3	8.3	14.2	3.1	50.4	25.6	30.5	4.4	7.8	6.3	8.8	13.0	2.6	2.8	
F2 年齢																			
20歳代	145	53.8	33.8	13.8	18.6	17.2	15.2	4.1	23.4	37.9	22.1	5.5	15.9	7.6	9.0	10.3	4.1	1.4	
30歳代	243	51.9	34.2	20.2	15.6	10.7	17.7	1.2	24.7	59.3	19.3	2.9	10.3	4.9	5.8	10.3	6.2	0.4	
40歳代	294	55.8	47.6	20.1	13.9	8.8	14.3	3.7	34.7	28.2	22.1	4.8	11.2	3.1	8.2	11.2	4.8	0.7	
50歳代	308	60.1	28.2	10.1	13.3	6.2	13.3	1.0	55.2	27.3	35.7	2.6	6.8	6.8	9.7	11.0	1.3	2.9	
60歳～74歳	592	51.2	26.4	9.5	10.6	7.3	13.0	3.9	65.9	15.2	39.5	5.4	5.6	8.4	8.1	16.6	1.4	2.4	
75歳以上	266	46.6	36.5	12.0	7.9	6.0	14.7	4.1	65.0	7.5	28.2	4.5	2.6	5.6	10.9	12.8	0.8	8.6	
不明	58	46.6	32.8	13.8	5.2	6.9	12.1	5.2	53.4	19.0	32.8	5.2	12.1	5.2	17.2	15.5	1.7	3.4	
F2高年齢層×F4ひとり暮らし																			
60歳～74歳-ひとり暮らし	55	50.9	20.0	16.4	9.1	3.6	3.6	1.8	74.5	5.5	49.1	5.5	7.3	9.1	3.6	18.2	1.8	1.8	
75歳以上-ひとり暮らし	46	54.3	28.3	10.9	10.9	2.2	19.6	0.0	78.3	0.0	28.3	4.3	2.2	2.2	4.3	6.5	0.0	10.9	

■ 家族形態別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策（総合）

・親と子（二世代）のみ「防災・災害対策」、それ以外では「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」が最も多く、特にひとり暮らし、その他では高い数値となっている。

表 家族形態別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策

	合計 (件)	問9 日常生活を送るなかで、行政に力を入れてほしい施策 (%)																	
		防災・災害対策	防犯対策	交通安全対策	路線道路の整備	幹線道路や身近な道の整備	駐輪場や放置自転車の対策	緑地の保全や公園の整備	史跡や歴史的建造物の保全	サビビテ暮らすためのサービス	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	子どもを安心して産み育てるためのサービス	健康で元気に生活するためのサービス	市民活動や情報提供の充実	スポーツを行うための施設や情報提供	文化・芸術活動や情報提供	取組の減量化対策	地球温暖化の対策	その他
全体	1906	52.8	33.1	13.4	12.3	8.3	14.2	3.1	50.4	25.6	30.5	4.4	7.8	6.3	8.8	13.0	2.6	2.8	
F4 家族形態																			
ひとり暮らし	164	55.5	28.0	16.5	12.2	6.7	13.4	1.2	62.2	9.8	35.4	3.7	6.7	4.9	7.9	12.8	2.4	3.7	
夫婦のみ	498	52.6	31.3	11.0	11.0	6.4	13.5	4.0	56.8	21.9	33.7	5.6	7.2	8.2	8.0	12.7	1.4	3.6	
親と子（二世代）	1033	53.1	34.7	14.5	13.3	9.4	14.9	3.0	44.8	29.6	27.8	4.3	7.9	6.0	8.6	13.8	3.6	1.9	
祖父母と親と子（三世代）	111	48.6	36.0	8.1	13.5	9.9	12.6	2.7	52.3	31.5	35.1	1.8	8.1	5.4	10.8	6.3	0.9	4.5	
その他	21	61.9	42.9	4.8	4.8	9.5	14.3	0.0	66.7	23.8	19.0	0.0	9.5	4.8	9.5	14.3	0.0	4.8	
不明	79	48.1	27.8	16.5	7.6	7.6	13.9	5.1	50.6	20.3	32.9	5.1	11.4	3.8	15.2	13.9	1.3	3.8	

■ 居住地区別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策（総合）

・富岡第一と六浦西では「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」、大川では「子どもを安心して産み育てるためのサービス」、それ以外の地区では「防災・災害対策」が最も多くなっている。また、富岡第三、富岡西・能見台では「防犯対策」、金沢では「交通安全対策」の数値が、他地区に比べて高くなっている。

表 居住地区別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策（総合）

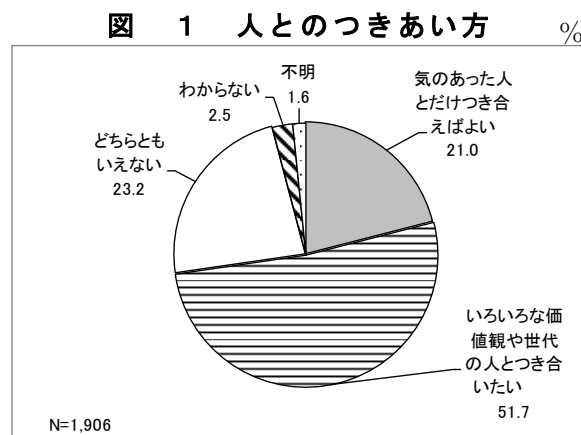
	合計 (件)	問9 日常生活を送るなかで、行政に力を入れてほしい施策 (%)																	
		防災・災害対策	防犯対策	交通安全対策	路線道路の整備	幹線道路や身近な道の整備	駐輪場や放置自転車の対策	緑地の保全や公園の整備	史跡や歴史的建造物の保全	サビビテ暮らすためのサービス	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	子どもを安心して産み育てるためのサービス	健康で元気に生活するためのサービス	市民活動や情報提供の充実	スポーツを行うための施設や情報提供	文化・芸術活動や情報提供	取組の減量化対策	地球温暖化の対策	その他
全体	1906	52.8	33.1	13.4	12.3	8.3	14.2	3.1	50.4	25.6	30.5	4.4	7.8	6.3	8.8	13.0	2.6	2.8	
F7-1 居住地区																			
富岡第一地区	76	39.5	38.2	15.8	18.4	13.2	13.2	1.3	50.0	30.3	25.0	3.9	13.2	3.9	6.6	13.2	5.3	2.6	
富岡第二地区	63	58.7	31.7	17.5	14.3	6.3	6.3	1.6	52.4	22.2	28.6	1.6	7.9	4.8	9.5	15.9	0.0	3.2	
富岡第三地区	91	58.2	47.3	14.3	12.1	2.2	9.9	2.2	56.0	15.4	36.3	3.3	4.4	3.3	9.9	13.2	3.3	2.2	
富岡西・能見台地区	80	57.5	47.5	10.0	7.5	7.5	8.8	0.0	55.0	27.5	27.5	1.3	11.3	7.5	11.3	8.8	0.0	3.8	
能見台地区	137	52.6	29.2	8.0	8.8	4.4	19.7	3.6	51.1	29.9	31.4	2.9	9.5	8.8	9.5	13.9	4.4	2.2	
金沢シーサイドタウン地区	215	57.7	26.0	9.8	4.2	13.0	11.2	2.3	52.6	28.4	36.3	8.4	7.9	6.0	7.4	14.9	2.3	2.3	
金沢東部地区	119	57.1	42.0	10.1	12.6	6.7	12.6	1.7	52.9	21.8	32.8	4.2	5.0	5.9	8.4	12.6	3.4	1.7	
金沢中部地区	96	55.2	25.0	14.6	13.5	11.5	11.5	7.3	51.0	25.0	32.3	4.2	6.3	4.2	7.3	13.5	2.1	1.0	
金沢南部地区	122	54.1	31.1	12.3	12.3	10.7	15.6	5.7	45.1	22.1	28.7	5.7	6.6	9.0	12.3	16.4	0.8	2.5	
金沢地区	92	57.6	31.5	26.1	14.1	8.7	13.0	4.3	47.8	27.2	23.9	3.3	2.2	7.6	12.0	8.7	2.2	2.2	
六浦東地区	51	49.0	31.4	15.7	13.7	11.8	13.7	5.9	45.1	25.5	31.4	3.9	9.8	5.9	9.8	9.8	0.0	3.9	
六浦地区	123	54.5	34.1	19.5	17.9	9.8	17.1	4.9	44.7	25.2	23.6	4.1	8.9	5.7	8.9	8.1	4.1	1.6	
六浦西地区	256	47.3	34.8	14.5	15.2	4.7	16.0	2.0	50.8	22.3	29.3	4.7	9.4	6.6	8.2	12.1	4.3	5.1	
釜利谷地区	305	51.8	33.8	12.1	12.8	7.9	16.1	3.3	50.2	27.2	31.5	3.3	6.9	6.6	8.9	13.1	2.0	2.6	
大川地区	33	48.5	12.1	9.1	15.2	0.0	21.2	0.0	42.4	54.5	36.4	0.0	12.1	3.0	3.0	21.2	3.0	3.0	
その他	6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	100.0	16.7	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
不明	41	43.9	22.0	9.8	12.2	19.5	17.1	2.4	46.3	17.1	26.8	9.8	9.8	7.3	4.9	22.0	0.0	4.9	

問 10 あなたは、最近の社会や人とのつきあい方など、1～10 のことごとらについて、どのようにお考えですか。

- ・比較的意見がまとまっている考え方（50%以上の人と同じ回答をしている項目）は、「人とのつきあい方」「知人が困っているとき」「自分の居場所」「自分自身の評価」の4項目である。
- ・意見が大きく分かれている考え方（いずれの選択肢も50%に達していない項目）は、「経済的に困っている」「住みやすいと思う地域」「信頼感」「社会貢献」の4項目である。
- ・「どちらともいえない」の割合が大きい考え方（「どちらともいえない」がもっとも多い割合を示している項目）は、「現代の社会」「役所への信頼」の2項目である。

1 人とのつきあい方

- ・「いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい」が51.7%で過半数を占め、最も多くなっている。次いで「どちらともいえない」が23.2%、「気のあった人とだけつき合えばよい」が21.0%でほぼ並ぶ。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「1. 人とのつきあい方」

- ・いずれの世代でも「いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい」が最も多く、若年層ほど数値も高い。
- ・いずれの居住形態も「いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい」が最も多いが、賃貸一戸建てでは「気のあった人とだけつき合えばよい」の数値が他に比べて高い。

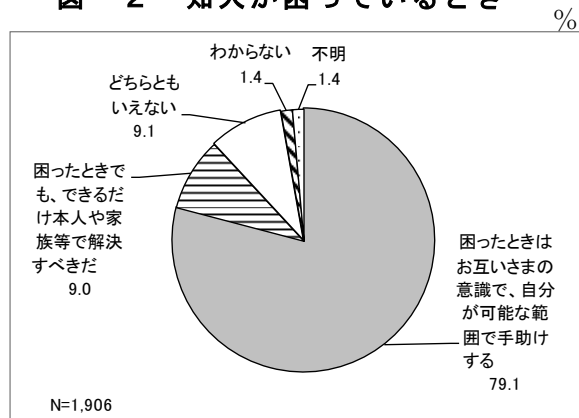
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「1. 人とのつきあい方」

		合計 (件)	問10-1 人とのつきあい方 (%)				
			気のあった人とだけつき合えばよい	いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい	どちらともいえない	わからない	不明
	全体	1906	21.0	51.7	23.2	2.5	1.6
F2 年齢	20歳代	145	20.0	64.8	12.4	2.8	0.0
	30歳代	243	22.6	53.1	21.8	1.6	0.8
	40歳代	294	17.7	56.1	23.1	2.4	0.7
	50歳代	308	18.5	47.7	28.9	2.3	2.6
	60歳～74歳	592	21.3	51.2	23.3	2.5	1.7
	75歳以上	266	25.9	45.1	22.6	3.0	3.4
	不明	58	20.7	46.6	27.6	3.4	1.7
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	25.5	36.4	30.9	7.3	0.0
	75歳以上-ひとり暮らし	46	23.9	41.3	28.3	0.0	6.5
F3 居住形態	持家一戸建て	914	21.3	50.8	23.3	2.7	1.9
	持家共同住宅（分譲マンション等）	563	20.1	55.2	21.8	1.4	1.4
	賃貸一戸建て	35	34.3	45.7	17.1	0.0	2.9
	賃貸共同住宅（賃貸マンション等）	284	20.4	48.6	26.4	3.2	1.4
	社宅・寮等	39	15.4	61.5	17.9	2.6	2.6
	その他	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
	不明	65	21.5	44.6	26.2	6.2	1.5

2 知人が困っているとき

- ・「困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする」が79.1%で、全体の8割となっており、圧倒的多数を占める。

図 2 知人が困っているとき



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「2 知人が困っているとき」

- ・年齢別ではいずれの世代でも「困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする」が最も多く、30歳代を中心に若年層で数値が高い。
- ・居住形態別では、いずれも「困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする」が最も多い。

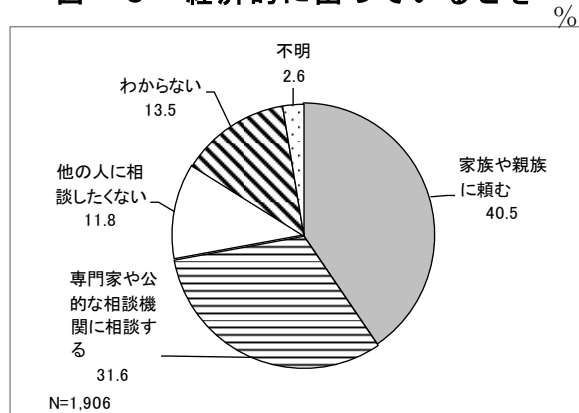
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方
「2 知人が困っているとき」

		合計 (件)	問10-2 知人が困っているとき (%)				
			困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする	困ったときでも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ	どちらともいえない	わからない	不明
全体		1906	79.1	9.0	9.1	1.4	1.4
F2 年齢	20歳代	145	85.5	6.9	5.5	2.1	0.0
	30歳代	243	86.4	4.9	7.4	0.8	0.4
	40歳代	294	84.0	6.8	7.8	1.0	0.3
	50歳代	308	77.6	7.8	10.7	1.9	1.9
	60歳～74歳	592	77.5	11.0	8.8	1.4	1.4
	75歳以上	266	69.9	13.5	11.3	1.5	3.8
不明		58	72.4	8.6	15.5	1.7	1.7
F2 高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	72.7	14.5	9.1	3.6	0.0
	75歳以上-ひとり暮らし	46	71.7	8.7	15.2	0.0	4.3
F3 居住形態	持家一戸建て	914	77.4	10.3	9.4	1.3	1.6
	持家共同住宅 (分譲マンション等)	563	82.4	7.3	7.6	1.1	1.6
	賃貸一戸建て	35	80.0	11.4	5.7	2.9	0.0
	賃貸共同住宅 (賃貸マンション等)	284	79.9	8.1	9.5	1.8	0.7
	社宅・寮等	39	82.1	7.7	5.1	5.1	0.0
	その他	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0
	不明	65	70.8	9.2	16.9	1.5	1.5

3 経済的に困っているとき

- ・「家族や親族に頼む」が 40.5%で全体の4割、次いで「専門家や公的な相談機関に相談する」が 31.6%で全体の3割となっている。

図 3 経済的に困っているとき



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「3 経済的に困っているとき」

- ・20歳代から40歳代までと75歳以上では「家族や親族に頼む」が最も多く、年齢が若いほど数値が高い。50歳代、60歳～74歳では「専門家や公的な相談機関に相談する」が最も多い。
- ・ひとり暮らし高齢者についてみると、60歳～74歳では「専門家や公的な相談機関に相談する」、75歳以上では「家族や親族に頼む」が最も多くなっている。
- ・居住形態別では、賃貸一戸建てのみ「専門家や公的な相談機関に相談する」が最も多いほか、「他の人に相談したくない」の数値も他に比べて高くなっている。それ以外では「家族や親族に頼む」が最も多い。

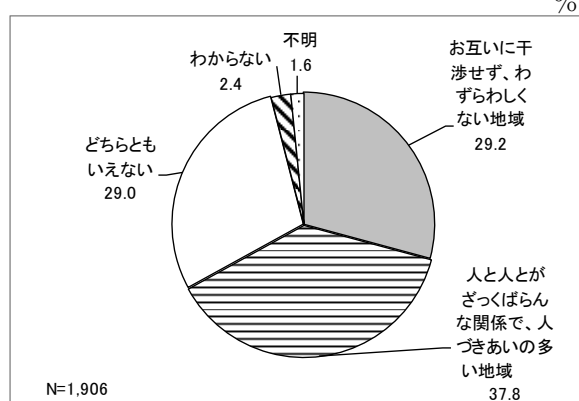
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「3 経済的に困っているとき」

		問10-3 経済的に困っているとき (%)					
		合計 (件)	家族や親族に 頼む	専門家や公的 な相談機関に 相談する	他の人に相談 したくない	わからない	不明
全体		1906	40.5	31.6	11.8	13.5	2.6
F2 年齢	20歳代	145	62.1	16.6	9.0	12.4	0.0
	30歳代	243	59.3	22.2	9.5	8.6	0.4
	40歳代	294	49.7	26.9	7.5	15.3	0.7
	50歳代	308	33.8	37.0	11.4	15.6	2.3
	60歳～74歳	592	29.4	38.7	15.7	13.3	2.9
	75歳以上	266	35.0	30.1	12.8	14.7	7.5
	不明	58	34.5	37.9	8.6	13.8	5.2
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	20.0	47.3	12.7	16.4	3.6
	75歳以上-ひとり暮らし	46	30.4	28.3	10.9	17.4	13.0
F3 居住形態	持家一戸建て	914	41.0	31.1	11.9	12.8	3.2
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	39.4	32.9	12.3	13.1	2.3
	賃貸一戸建て	35	28.6	34.3	22.9	14.3	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	41.9	31.3	8.8	15.8	2.1
	社宅・寮等	39	48.7	23.1	20.5	7.7	0.0
	その他	6	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	不明	65	35.4	33.8	9.2	18.5	3.1

4 住みやすいと思う地域

- ・「人と人とがざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」が 37.8%で最も多いものの、「お互いに干渉せず、わずらわしくない地域」が 29.2%、「どちらともいえない」が 29.0%で、これら3つがほぼ拮抗している。

図 4 住みやすいと思う地域 %



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「4 住みやすいと思う地域」

- ・75歳以上では「お互いに干渉せず、わずらわしくない地域」、20歳代、40歳代、60歳～74歳では「人と人とがざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」、30歳代、50歳代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・ひとり暮らし高齢者では、「お互いに干渉せず、わずらわしくない地域」が最も多くなっている。
- ・居住形態別では、賃貸一戸建てのみ「どちらともいえない」、それ以外では「人と人とがざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」が最も多い。

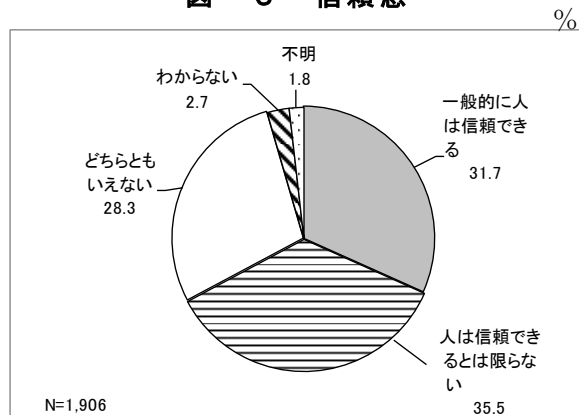
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方
「4 住みやすいと思う地域」

		合計 (件)	問10-4 住みやすいと思う地域 (%)				
			お互いに干渉せず、わずらわしくない地域	人と人とがざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域	どちらともいえない	わからない	不明
	全体	1906	29.2	37.8	29.0	2.4	1.6
F2 年齢	20歳代	145	21.4	44.1	27.6	6.9	0.0
	30歳代	243	26.3	35.8	36.6	0.8	0.4
	40歳代	294	21.1	41.5	34.7	2.4	0.3
	50歳代	308	23.1	33.8	39.0	2.3	1.9
	60歳～74歳	592	34.0	38.2	23.6	2.4	1.9
	75歳以上	266	42.1	34.2	18.4	1.5	3.8
	不明	58	27.6	44.8	20.7	1.7	5.2
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	49.1	20.0	25.5	3.6	1.8
	75歳以上-ひとり暮らし	46	41.3	26.1	26.1	2.2	4.3
F3 居住形態	持家一戸建て	914	31.1	37.5	26.6	2.7	2.1
	持家共同住宅 (分譲マンション等)	563	27.0	39.6	31.3	1.1	1.1
	賃貸一戸建て	35	31.4	25.7	34.3	8.6	0.0
	賃貸共同住宅 (賃貸マンション等)	284	28.2	34.2	33.5	2.8	1.4
	社宅・寮等	39	28.2	46.2	25.6	0.0	0.0
	その他	6	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
	不明	65	29.2	41.5	21.5	3.1	4.6

5 信頼感

- 最も多いのは「人は信頼できるとは限らない」の35.5%、次いで「一般的に人は信頼できる」が31.7%、「どちらともいえない」28.3%で、これら3つがほぼ拮抗している。

図 5 信頼感



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「5 信頼感」

- 50歳代、60歳～74歳では「一般的に人は信頼できる」、20歳代から40歳代までと75歳以上では「人は信頼できるとは限らない」が最も多く、特に若い世代ほど数値が高くなっている。
- ひとり暮らし高齢者について見ると、60歳～74歳では「一般的に人は信頼できる」、75歳以上では「人は信頼できるとは限らない」が最も多くなっている。
- 居住形態別では、持家共同住宅（分譲マンション等）は小差で「一般的に人は信頼できる」が最も多くなっているが、概ね「人は信頼できるとは限らない」が最も多い。持家では、一戸建て・共同住宅ともに「一般的に人は信頼できる」「人は信頼できるとは限らない」がほぼ拮抗している。一方、賃貸一戸建てでは「人は信頼できるとは限らない」が5割を超えている。

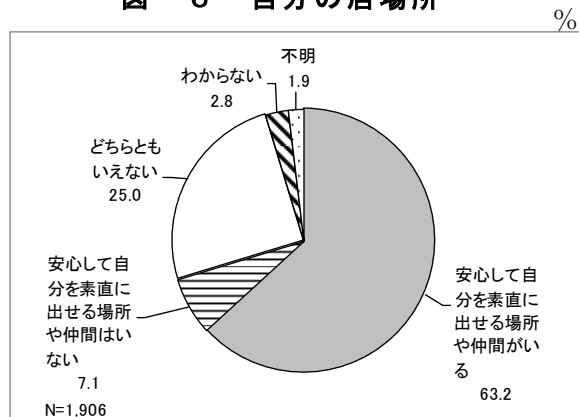
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「5 信頼感」

		合計 (件)	問10-5 信頼感 (%)				
			一般的に人は 信頼できる	人は信頼でき るとは限らな い	どちらともい えない	わからない	不明
全体		1906	31.7	35.5	28.3	2.7	1.8
F2 年齢	20歳代	145	32.4	44.1	20.7	2.8	0.0
	30歳代	243	28.0	43.6	26.7	1.2	0.4
	40歳代	294	31.6	37.1	27.6	3.4	0.3
	50歳代	308	33.1	32.5	29.2	2.9	2.3
	60歳～74歳	592	32.6	31.8	31.6	2.4	1.7
	75歳以上	266	32.7	34.6	24.1	3.8	4.9
	不明	58	25.9	31.0	37.9	1.7	3.4
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	40.0	34.5	23.6	1.8	0.0
	75歳以上-ひとり暮らし	46	30.4	32.6	28.3	2.2	6.5
F3 居住形態	持家一戸建て	914	31.8	34.8	28.2	3.1	2.1
	持家共同住宅（分譲マンション等）	563	35.0	32.5	29.0	1.8	1.8
	賃貸一戸建て	35	37.1	54.3	5.7	2.9	0.0
	賃貸共同住宅（賃貸マンション等）	284	27.1	41.2	28.5	2.1	1.1
	社宅・寮等	39	30.8	43.6	20.5	5.1	0.0
	その他	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
	不明	65	23.1	32.3	36.9	4.6	3.1

6 自分の居場所

- ・「安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる」が 63.2%で6割以上を占め、最も多くなっている。ついで「どちらともいえない」が 25.0%で全体の4分の1となっている。

図 6 自分の居場所



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「6 自分の居場所」

- ・いずれの世代でも「安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる」が最も多く、特に若い世代ほど数値が高くなっている。
- ・いずれの居住形態でも「安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる」が最も多く、特に賃貸一戸建て、社宅・寮等では7割を超える。

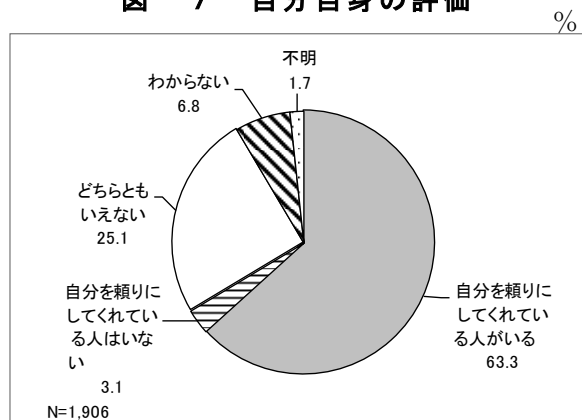
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「6 自分の居場所」

		合計 (件)	問10-6 自分の居場所 (%)				
			安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる	安心して自分を素直に出せる場所や仲間はいない	どちらともいえない	わからない	不明
全体		1906	63.2	7.1	25.0	2.8	1.9
F2 年齢	20歳代	145	78.6	3.4	15.9	1.4	0.7
	30歳代	243	76.5	5.3	15.6	2.1	0.4
	40歳代	294	72.1	6.1	20.1	1.4	0.3
	50歳代	308	59.7	7.5	28.9	1.9	1.9
	60歳～74歳	592	57.9	7.8	29.4	2.9	2.0
	75歳以上	266	51.9	8.3	28.6	6.4	4.9
	不明	58	48.3	15.5	31.0	3.4	1.7
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	50.9	20.0	25.5	1.8	1.8
	75歳以上-ひとり暮らし	46	50.0	10.9	21.7	8.7	8.7
F3 居住形態	持家一戸建て	914	61.9	5.8	26.5	3.5	2.3
	持家共同住宅 (分譲マンション等)	563	67.5	6.2	23.3	1.4	1.6
	賃貸一戸建て	35	74.3	8.6	14.3	2.9	0.0
	賃貸共同住宅 (賃貸マンション等)	284	59.9	9.9	26.4	2.8	1.1
	社宅・寮等	39	71.8	12.8	12.8	2.6	0.0
	その他	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0
	不明	65	49.2	15.4	29.2	3.1	3.1

7 自分自身の評価

- ・「自分を頼りにしてくれている人がいる」が 63.3%で6割以上、次いで「どちらともいえない」が 25.1%で全体の4分の1程度となっている。

図 7 自分自身の評価



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「7 自分自身の評価」

- ・いずれの世代でも「自分を頼りにしてくれている人がいる」が最も多く、75歳以上でやや数値が低いものの、年齢による大きな差は見られなかった。
- ・ひとり暮らし高齢者についてみると、60歳～74歳では「自分を頼りにしてくれている人がいる」が最も多いが、75歳以上では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・いずれの居住形態でも「自分を頼りにしてくれている人がいる」が最も多く、特に社宅・寮等では7割を超える。

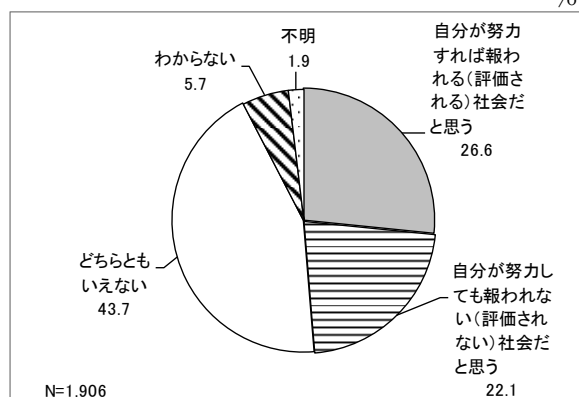
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「7 自分自身の評価」

		合計 (件)	問10-7 自分自身の評価 (%)				
			自分を頼りに してくれている 人がいる	自分を頼りに してくれてい る人はいない	どちらともい えない	わからない	不明
全体		1906	63.3	3.1	25.1	6.8	1.7
F2 年齢	20歳代	145	65.5	2.8	22.1	9.7	0.0
	30歳代	243	66.7	4.9	23.9	4.1	0.4
	40歳代	294	68.4	3.7	22.8	4.8	0.3
	50歳代	308	64.6	2.3	26.6	4.5	1.9
	60歳～74歳	592	63.5	3.4	25.0	6.4	1.7
	75歳以上	266	53.0	1.9	27.8	12.4	4.9
	不明	58	55.2	0.0	29.3	12.1	3.4
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	47.3	10.9	32.7	7.3	1.8
	75歳以上-ひとり暮らし	46	34.8	0.0	39.1	15.2	10.9
F3 居住形態	持家一戸建て	914	65.0	2.4	23.6	7.1	1.9
	持家共同住宅 (分譲マンション等)	563	65.4	2.1	25.0	5.7	1.8
	賃貸一戸建て	35	48.6	8.6	34.3	8.6	0.0
	賃貸共同住宅 (賃貸マンション等)	284	56.3	6.3	30.3	6.0	1.1
	社宅・寮等	39	74.4	5.1	12.8	7.7	0.0
	その他	6	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0
	不明	65	55.4	1.5	26.2	12.3	4.6

8 現代の社会

- ・「どちらともいえない」が 43.7%で最も多い。次いで「自分が努力すれば報われる（評価される）社会だと思う」が 26.6%、「自分が努力しても報われない（評価されない）社会だと思う」が 22.1%で続く。

図 8 現代の社会 %



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「8 現代の社会」

- ・20歳代のみ「自分が努力すれば報われる（評価される）社会だと思う」と「どちらともいえない」が同率で、それ以外では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・社宅・寮等のみ「自分が努力すれば報われる（評価される）社会だと思う」、それ以外では「どちらともいえない」が最も多くなっている。また賃貸一戸建て、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）「自分が努力しても報われない（評価されない）社会だと思う」の数値が他に比べて高くなっている。

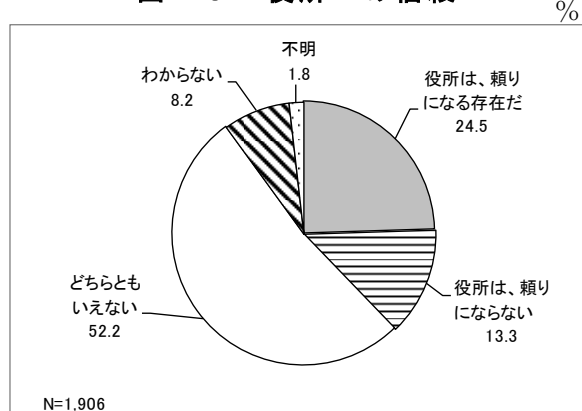
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「8 現代の社会」

		合計 (件)	問10-8 現代の社会 (%)				
			自分が努力すれば報われる(評価される)社会だと思う	自分が努力しても報われない(評価されない)社会だと思う	どちらともいえない	わからない	不明
	全体	1906	26.6	22.1	43.7	5.7	1.9
F2 年齢	20歳代	145	33.1	25.5	33.1	8.3	0.0
	30歳代	243	23.9	31.7	40.3	3.7	0.4
	40歳代	294	26.2	24.5	44.6	4.4	0.3
	50歳代	308	19.8	26.0	48.7	3.2	2.3
	60歳～74歳	592	28.2	18.4	46.8	5.1	1.5
	75歳以上	266	31.6	13.9	38.0	10.2	6.4
	不明	58	20.7	15.5	48.3	13.8	1.7
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	34.5	20.0	36.4	7.3	1.8
	75歳以上-ひとり暮らし	46	19.6	21.7	39.1	13.0	6.5
F3 居住形態	持家一戸建て	914	28.9	18.8	44.2	5.7	2.4
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	26.8	21.5	45.8	4.1	1.8
	賃貸一戸建て	35	14.3	34.3	37.1	14.3	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	20.4	33.1	39.8	5.6	1.1
	社宅・寮等	39	38.5	28.2	28.2	5.1	0.0
	その他	6	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0
	不明	65	20.0	15.4	47.7	15.4	1.5

9 役所への信頼

- 最も多いのは「どちらともいえない」の52.2%で、過半数を占める。次いで「役所は、頼りになる存在だ」が24.5%で、ほぼ全体の4分の1である。

図 9 役所への信頼



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「9 役所への信頼」

- 75歳以上のみ「役所は、頼りになる存在だ」、それ以外では「どちらともいえない」が最も多くなっている。「役所は、頼りにならない」の数値が最も高いのは40歳代である。
- ひとり暮らし高齢者においても、60歳～74歳では「どちらともいえない」が最も多いが、75歳以上では「役所は、頼りになる存在だ」が最も多くなっている。
- 居住形態別では、いずれも「どちらともいえない」が最も多く、居住形態による顕著な差異は見られなかった。

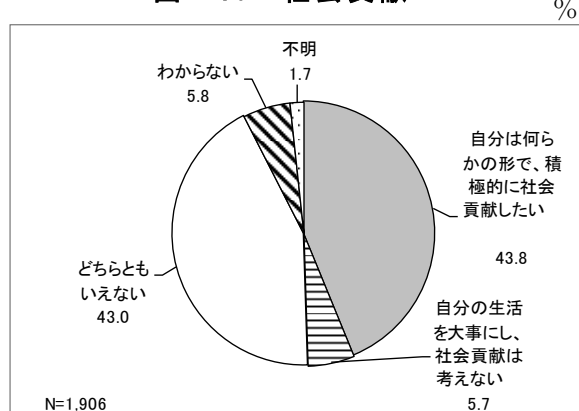
表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「9 役所への信頼」

		合計 (件)	問10-9 役所への信頼 (%)				
			役所は、頼りになる存在だ	役所は、頼りにならない	どちらともいえない	わからない	不明
全体		1906	24.5	13.3	52.2	8.2	1.8
F2 年齢	20歳代	145	15.9	17.9	51.7	14.5	0.0
	30歳代	243	15.2	19.3	56.0	9.1	0.4
	40歳代	294	13.6	20.4	57.5	8.2	0.3
	50歳代	308	18.5	15.9	57.1	6.5	1.9
	60歳～74歳	592	30.4	8.8	51.7	7.3	1.9
	75歳以上	266	42.9	6.0	38.3	7.9	4.9
	不明	58	27.6	6.9	53.4	10.3	1.7
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	32.7	7.3	54.5	3.6	1.8
	75歳以上-ひとり暮らし	46	39.1	8.7	32.6	10.9	8.7
F3 居住形態	持家一戸建て	914	26.5	10.9	52.5	8.1	2.0
	持家共同住宅 (分譲マンション等)	563	21.7	16.0	52.2	8.3	1.8
	賃貸一戸建て	35	31.4	11.4	51.4	5.7	0.0
	賃貸共同住宅 (賃貸マンション等)	284	23.6	15.8	52.5	6.7	1.4
	社宅・寮等	39	17.9	23.1	46.2	12.8	0.0
	その他	6	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0
	不明	65	26.2	7.7	50.8	13.8	1.5

10 社会貢献

- ・「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が 43.8%、「どちらともいえない」が 43.0% でほぼ並ぶ。

図 10 社会貢献



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「10 社会貢献」

- ・ 20 歳代から 40 歳代までは「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」、50 歳代より上の世代では「どちらともいえない」が最も多く、50 歳代を境に傾向が分かれた。
- ・ 持家共同住宅（分譲マンション等）、賃貸一戸建て、社宅・寮等では「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」、持家一戸建て、賃貸共同住宅（賃貸マンション等）では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「10 社会貢献」

		合計 (件)	問10-10 社会貢献 (%)				
			自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい	自分の生活を大事にし、社会貢献は考えない	どちらともいえない	わからない	不明
全体		1906	43.8	5.7	43.0	5.8	1.7
F2 年齢	20歳代	145	49.7	7.6	32.4	10.3	0.0
	30歳代	243	49.0	8.6	39.5	2.5	0.4
	40歳代	294	48.6	2.0	44.2	4.8	0.3
	50歳代	308	40.9	5.8	45.8	5.5	1.9
	60歳～74歳	592	42.9	5.6	45.6	4.4	1.5
	75歳以上	266	38.0	4.9	41.7	9.8	5.6
	不明	58	34.5	10.3	41.4	12.1	1.7
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	36.4	7.3	47.3	9.1	0.0
	75歳以上-ひとり暮らし	46	23.9	10.9	47.8	10.9	6.5
F3 居住形態	持家一戸建て	914	42.8	4.3	44.6	6.2	2.1
	持家共同住宅（分譲マンション等）	563	48.5	6.2	40.3	3.2	1.8
	賃貸一戸建て	35	40.0	14.3	37.1	8.6	0.0
	賃貸共同住宅（賃貸マンション等）	284	40.8	7.0	44.0	7.0	1.1
	社宅・寮等	39	46.2	7.7	35.9	10.3	0.0
	その他	6	16.7	0.0	50.0	33.3	0.0
	不明	65	33.8	9.2	44.6	10.8	1.5

参考 「暮らしやすさ調査」「平成 23 年度横浜市民意識調査」との比較

「暮らしやすさ調査」と今回調査を、調査項目の合致する 9 項目について比較する。
また、「平成 23 年度横浜市民意識調査」についても、合致する 4 項目を比較する。

- ・「人とのつきあい方」「知人が困っているとき」「自分の居場所」「自分自身の評価」「現代の社会」の 5 項目については、概ね同様の傾向となっている。
- ・「住みやすいと思う地域」については、今回調査と暮らしやすさ調査では「人と人とがざくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」が最も多いが、横浜市調査では「どちらともいえない」が最も多いほか、「お互いに干渉せず、わずらわしくない地域」の数値が今回調査より 8 ポイント低くなっている。
- ・「信頼感」については、暮らしやすさ調査・今回調査では「人は信頼できるとは限らない」が最も多いが、横浜市調査では「一般的に人は信頼できる」が最も多くなっている。
- ・「役所への信頼」では、今回調査・暮らしやすさ調査とも「どちらともいえない」が最も多くなっているが、「役所は頼りになる存在だ」については、今回調査は 24.5%、暮らしやすさ調査では 17.6%と、今回調査が 6.9 ポイント高く、「役所は、頼りにならない」については今回調査が 5.5 ポイント低くなっている。
- ・「社会貢献」では、今回調査は「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が最も多く 43.8%であるのに対し、暮らしやすさ調査と横浜市調査では「どちらともいえない」がそれぞれ 47.5%、43.7%で最も多くなっている。

表 「暮らしやすさ調査」「平成 23 年度横浜市民意識調査」との比較

		(%)		
		今回調査	暮らしやすさ調査	H23横浜市調査
人とのつきあい方	気のあった人とだけつき合えばよい	21.0	23.8	
	いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい	51.7	47.3	
	どちらともいえない	23.2	24.4	
	わからない	2.5	3.6	
	不明	1.6	1.0	
知人が困っているとき	困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする	79.1	79.9	82.1
	困ったときでも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ	9.0	7.2	4.5
	どちらともいえない	9.1	9.7	9.4
	わからない	1.4	2.4	3.0
	不明	1.4	0.8	1.1
経済的に困っているとき	家族や親族に頼む	40.5		
	専門家や公的な相談機関に相談する	31.6		
	他の人に相談したくない	11.8		
	わからない	13.5		
	不明	2.6		
住みやすいと思う地域	お互いに干渉せず、わずらわしくない地域	29.2	25.0	21.2
	人と人とがざくばらんな関係で、人づきあいの多い地域	37.8	39.1	36.3
	どちらともいえない	29.0	31.5	37.5
	わからない	2.4	3.4	4.2
	不明	1.6	1.0	0.8
信頼感	一般的に人は信頼できる	31.7	32.6	32.7
	人は信頼できるとは限らない	35.5	35.7	29.5
	どちらともいえない	28.3	28.2	32.2
	わからない	2.7	2.8	4.7
	不明	1.8	0.7	0.9
自分の居場所	安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる	63.2	67.1	
	安心して自分を素直に出せる場所や仲間はいない	7.1	6.3	
	どちらともいえない	25.0	23.1	
	わからない	2.8	2.5	
	不明	1.9	1.0	
自分自身の評価	自分を頼りにしてくれている人がいる	63.3	65.0	
	自分を頼りにしてくれている人はいない	3.1	4.1	
	どちらともいえない	25.1	23.8	
	わからない	6.8	6.4	
	不明	1.7	0.6	
現代の社会	自分が努力すれば報われる（評価される）社会だと思う	26.6	26.6	
	自分が努力しても報われない（評価されない）社会だと思う	22.1	22.1	
	どちらともいえない	43.7	44.3	
	わからない	5.7	6.1	
	不明	1.9	1.0	
役所への信頼	役所は、頼りになる存在だ	24.5	17.6	
	役所は、頼りにならない	13.3	18.8	
	どちらともいえない	52.2	54.3	
	わからない	8.2	8.7	
	不明	1.8	0.6	
社会貢献	自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい	43.8	38.1	43.0
	自分の生活を大事にし、社会貢献は考えない	5.7	6.7	4.9
	どちらともいえない	43.0	47.5	43.7
	わからない	5.8	7.1	6.9
	不明	1.7	0.6	1.5

※「暮らしやすさ調査」（問 13）、平成 23 年度横浜市民意識調査（6. 価値観）から作成

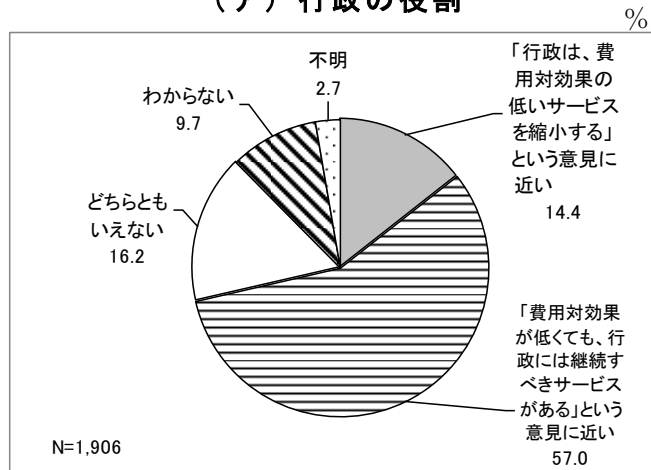
II 行政サービスについて

問 11 今後の行政サービスの在り方について、次のような意見がありますが、あなたはどちらの意見に近いですか。

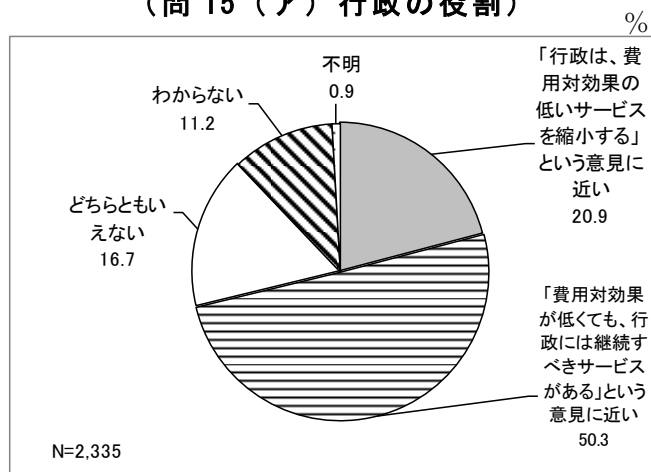
(ア) 行政の役割

- ・『費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある』という意見に近い」が 57.0% で過半数を占め最も多い。次いで「どちらともいえない」が 16.2%、「『行政は、費用対効果の低いサービスを縮小する』という意見に近い」は 14.4% である。
- ・平成 22 年度横浜市民意識調査では、『費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある』という意見に近い」が 50.3% で今回調査よりも 6.7 ポイント低く、「『行政は、費用対効果の低いサービスを縮小する』という意見に近い」は 20.9% で今回調査を 6.5 ポイント上回っている。

図 今後の行政サービスの在り方
(ア) 行政の役割



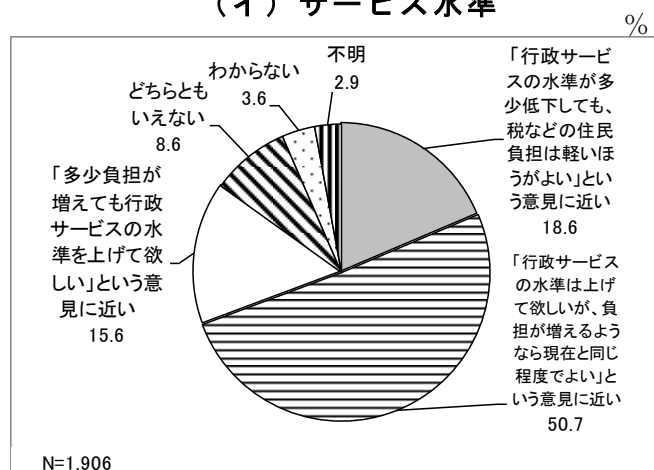
参考 平成 22 年度横浜市民意識調査
(問 15 (ア) 行政の役割)



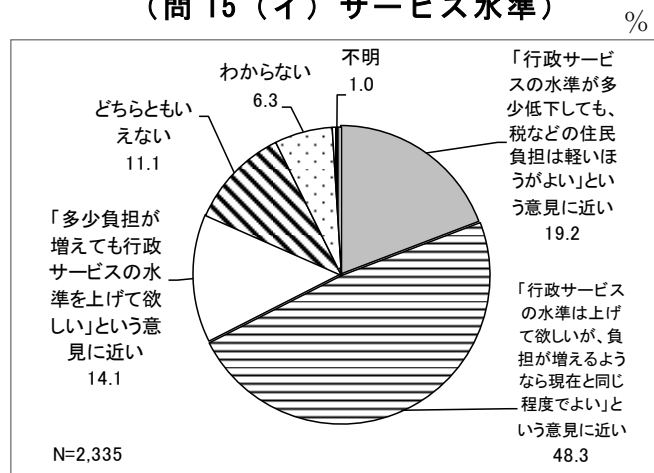
(イ) サービス水準

- ・『『行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい』という意見に近い』が 50.7%で過半数を占める。次いで『『行政サービスの水準が多少低下しても、税などの住民負担は軽いほうがよい』という意見に近い』が 18.6%、『『多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい』という意見に近い』が 15.6%である。
- ・平成 22 年度横浜市民意識調査では、『『行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい』という意見に近い』が 48.3%（今回調査より－2.4 ポイント）、『『行政サービスの水準が多少低下しても、税などの住民負担は軽いほうがよい』という意見に近い』が 19.2%（+0.6 ポイント）、『『多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい』という意見に近い』が 14.1%（－1.5 ポイント）で、若干の上下はあるものの概ね同様の傾向となっている。

図 今後の行政サービスの在り方
(イ) サービス水準



参考 平成 22 年度横浜市民意識調査
(問 15 (イ) サービス水準)



■ 年齢別 今後の行政サービスの在り方（ア）行政の役割

- ・いずれの世代でも『費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある』という意見に近い』が最も多くなっている。

表 年齢別 今後の行政サービスの在り方
（ア）行政の役割

		合計 (件)	問11-ア 行政の役割 (%)				
			「行政は、費用対効果の低いサービスを縮小する」という意見に近い	「費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある」という意見に近い	どちらともいえない	わからない	不明
全体		1906	14.4	57.0	16.2	9.7	2.7
F2 年齢	20歳代	145	18.6	43.4	21.4	15.9	0.7
	30歳代	243	16.9	57.2	16.0	9.1	0.8
	40歳代	294	13.6	61.2	16.7	7.5	1.0
	50歳代	308	13.6	62.7	13.6	7.5	2.6
	60歳～74歳	592	15.0	57.1	16.0	9.3	2.5
	75歳以上	266	10.2	54.1	16.5	12.8	6.4
	不明	58	13.8	51.7	13.8	8.6	12.1
F2高年齢層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	16.4	45.5	14.5	20.0	3.6
	75歳以上-ひとり暮らし	46	6.5	54.3	13.0	15.2	10.9

■ 年齢別 今後の行政サービスの在り方（イ）サービス水準

- ・いずれの世代でも『行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい』という意見に近い』が最も多くなっている。

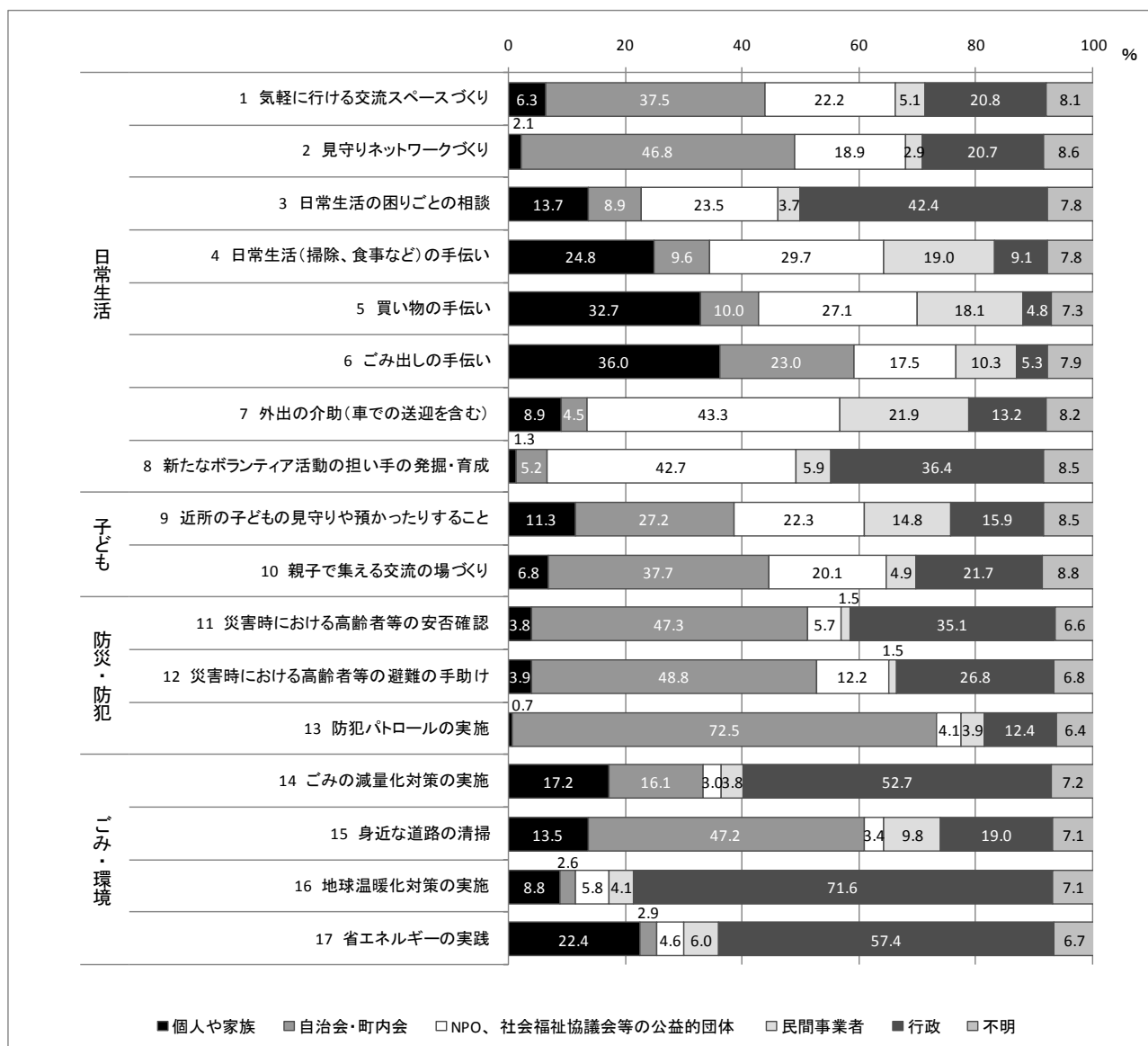
表 年齢別 今後の行政サービスの在り方
（イ）サービス水準

		合計 (件)	問11-イ サービス水準 (%)					
			「行政サービスの水準が多少低下しても、税などの住民負担は軽いほうがよい」という意見に近い	「行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい」という意見に近い	「多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい」という意見に近い	どちらともいえない	わからない	不明
全体		1906	18.6	50.7	15.6	8.6	3.6	2.9
F2 年齢	20歳代	145	20.7	51.7	12.4	6.9	7.6	0.7
	30歳代	243	19.8	55.1	13.6	9.1	2.1	0.4
	40歳代	294	21.1	55.4	10.9	8.5	3.1	1.0
	50歳代	308	16.2	50.3	15.9	10.1	4.2	3.2
	60歳～74歳	592	18.6	48.1	19.1	8.1	2.7	3.4
	75歳以上	266	17.7	47.7	16.5	7.1	5.3	5.6
	不明	58	12.1	48.3	13.8	13.8	1.7	10.3
F2高年齢層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	18.2	45.5	18.2	5.5	9.1	3.6
	75歳以上-ひとり暮らし	46	17.4	45.7	19.6	6.5	6.5	4.3

問 12 次のような活動に対して、個人や家族、自治会・町内会、公益的団体、民間事業者、行政のうち、どこが主体となって取り組むことが良いと思いますか。

- ・「日常生活」に関する活動については、「気軽に行ける交流スペースづくり」「見守りネットワークづくり」では「自治会・町内会」、「日常生活の困りごとの相談」では「行政」、「日常生活（掃除、食事など）の手伝い」「外出の介助（車での送迎を含む）」「新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成」では「NPO、社会福祉協議会等の公益的団体」、「買い物の手伝い」「ごみ出しの手伝い」では「個人や家族」が最も多く、回答は分散した。
- ・「子ども」に関する2活動と、「防災・防犯」に関する3活動については、いずれも「自治会・町内会」が最も多くなっており、特に「防犯パトロールの実施」では7割を超える高い数値である。
- ・「ごみ・環境」に関する4活動については、「身近な道路の清掃」で「自治会・町内会」が最も多かった。それ以外は「行政」が最も多く、特に「ごみの減量化対策の実施」「省エネルギーの実践」では5割以上、「地球温暖化対策の実施」では7割以上の高い数値となっている。

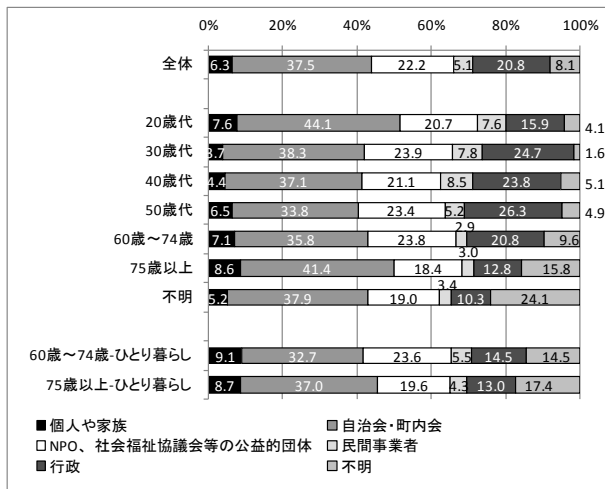
図 活動の主体



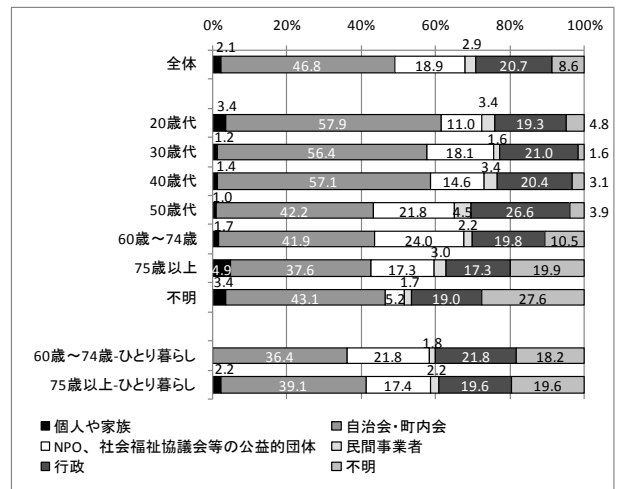
■ 年齢別 活動の主体

図 年齢別 活動の主体

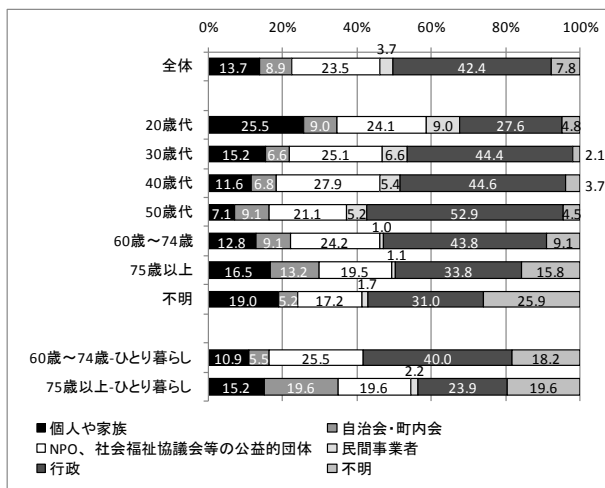
1 気軽に行ける交流スペースづくり



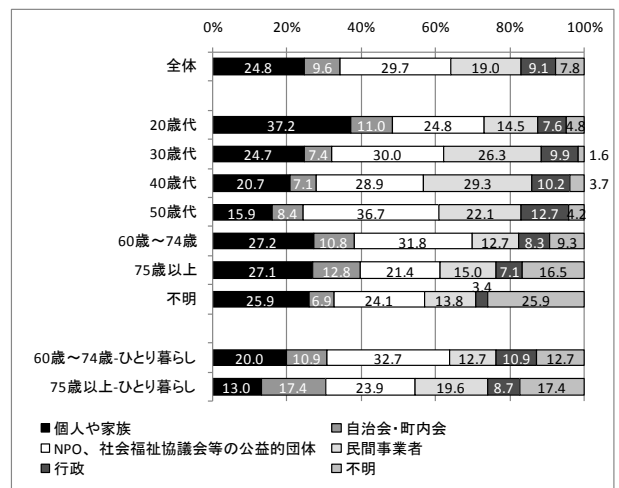
2 見守りネットワークづくり



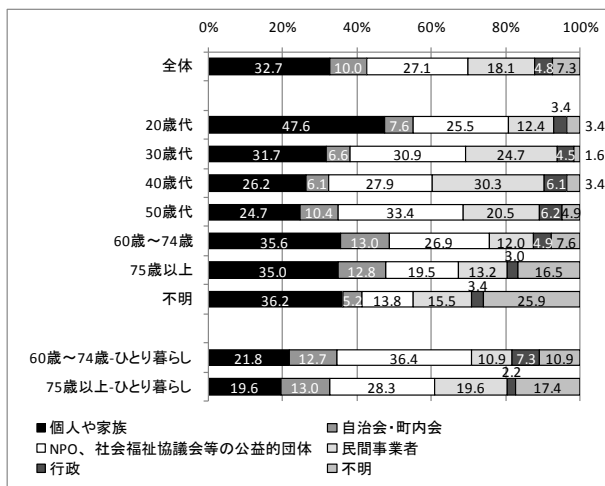
3 日常生活の困りごとの相談



4 日常生活（掃除、食事など）の手伝い



5 買い物の手伝い



6 ごみ出しの手伝い

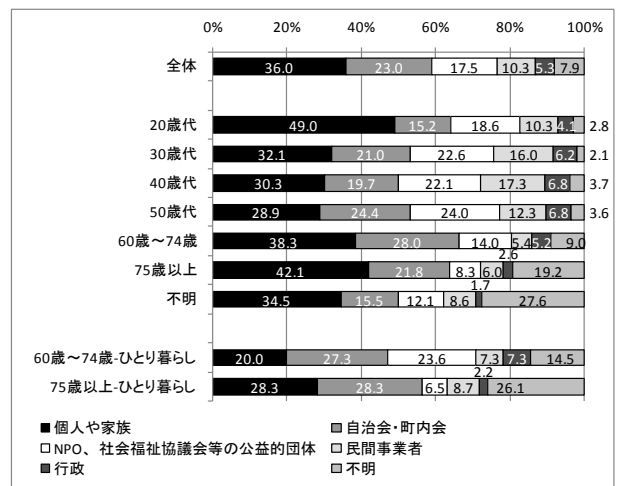
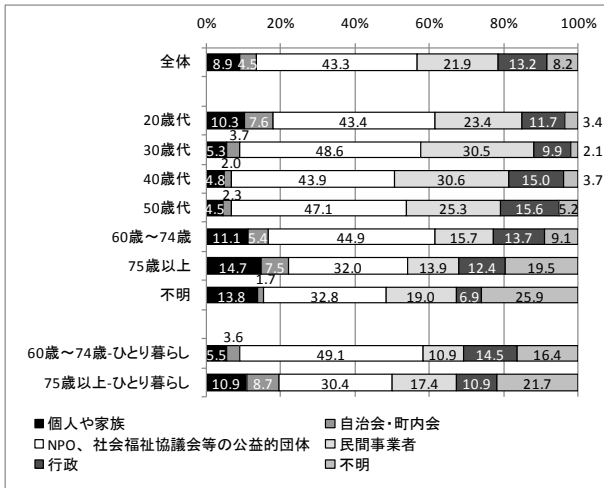
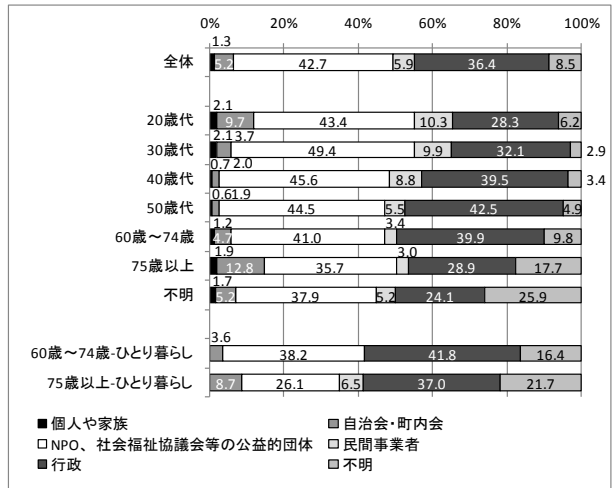


図 年齢別 活動の主体

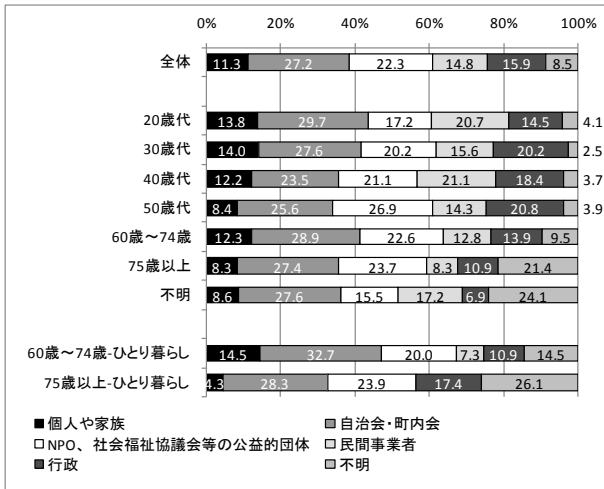
7 外出の介助（車での送迎を含む）



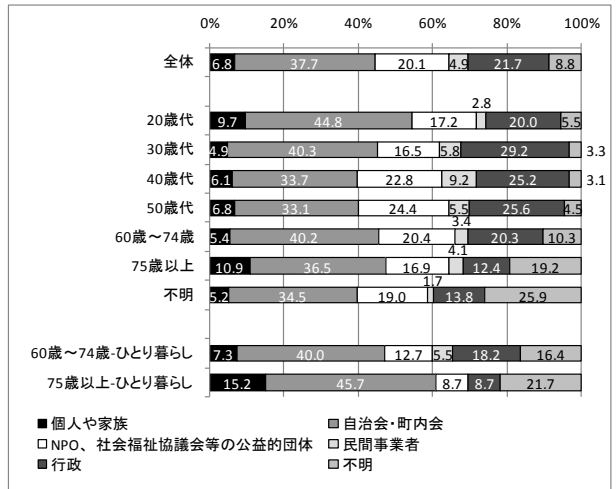
8 新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成



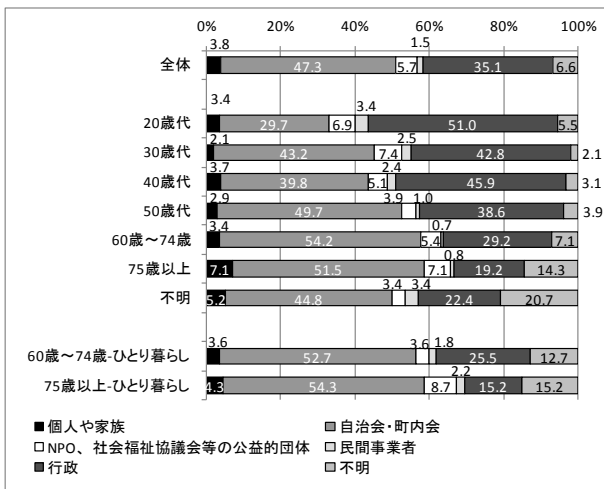
9 近所の子どもの見守りや預かったりすること



10 親子で集える交流の場づくり



11 災害時における高齢者等の安否確認



12 災害時における高齢者等の避難の手助け

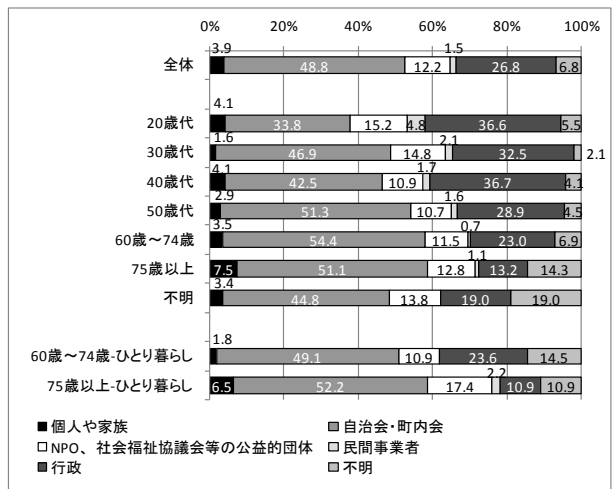
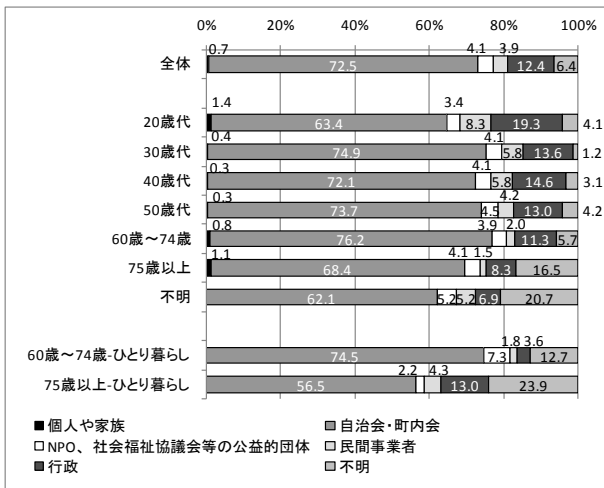
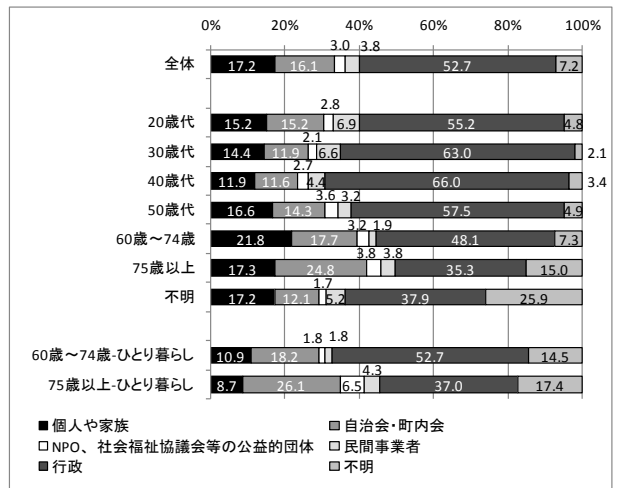


図 年齢別 活動の主体

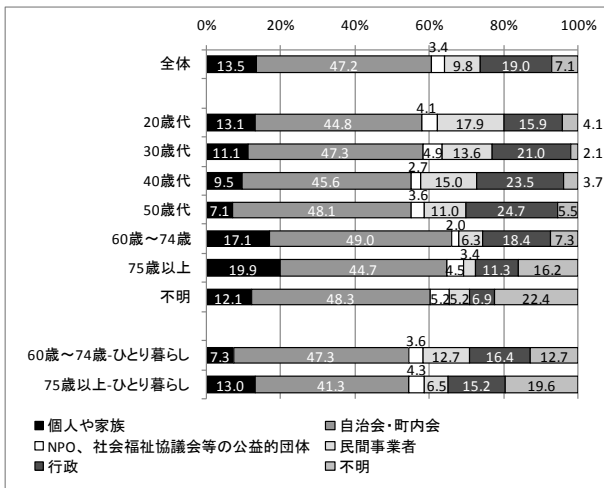
13 防犯パトロールの実施



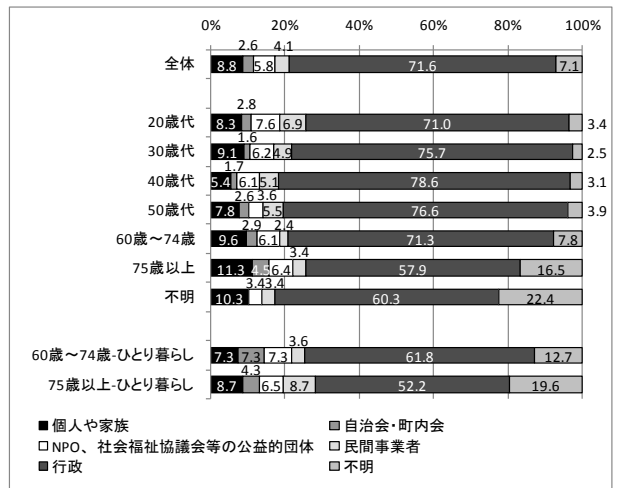
14 ごみの減量化対策の実施



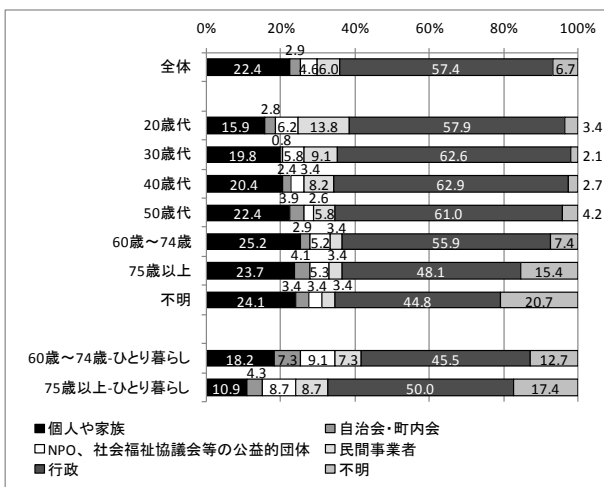
15 身近な道路の清掃



16 地球温暖化対策の実施



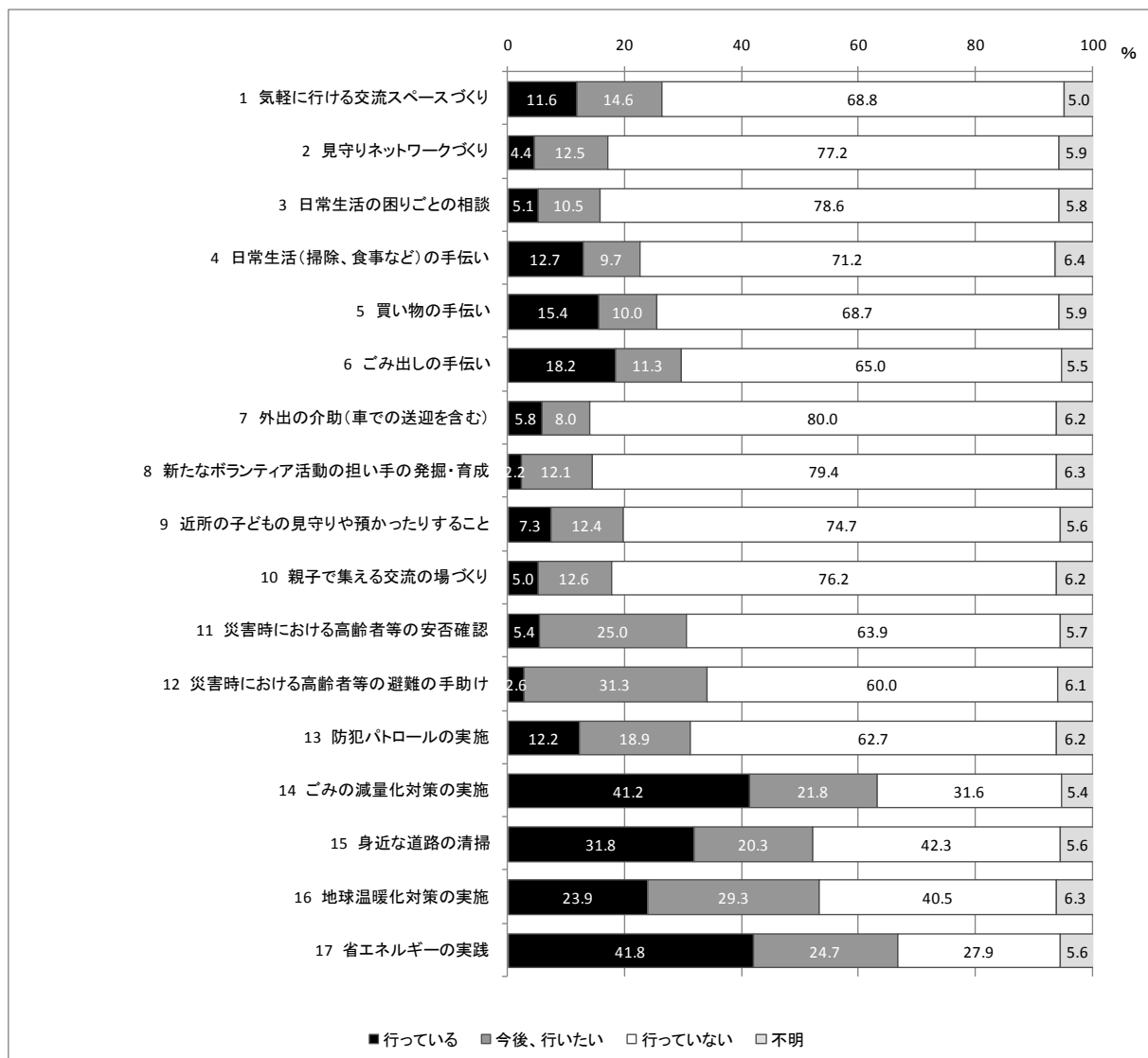
17 省エネルギーの実践



問 13 次のような活動に対して、あなたの活動経験などについて伺います。

- ・「行っている」が多かったのは「ごみの減量化対策の実施」「省エネルギーの実践」の2項目で、「行っている」が4割を超えている。それ以外の項目については「行っていない」が多い。「今後行いたい」とする割合が2割以上だったのは、「災害時における高齢者等の安否確認」「災害時における高齢者等の避難の手助け」「ごみの減量化対策の実施」「身近な道路の清掃」「地球温暖化対策の実施」「省エネルギーの実践」である。

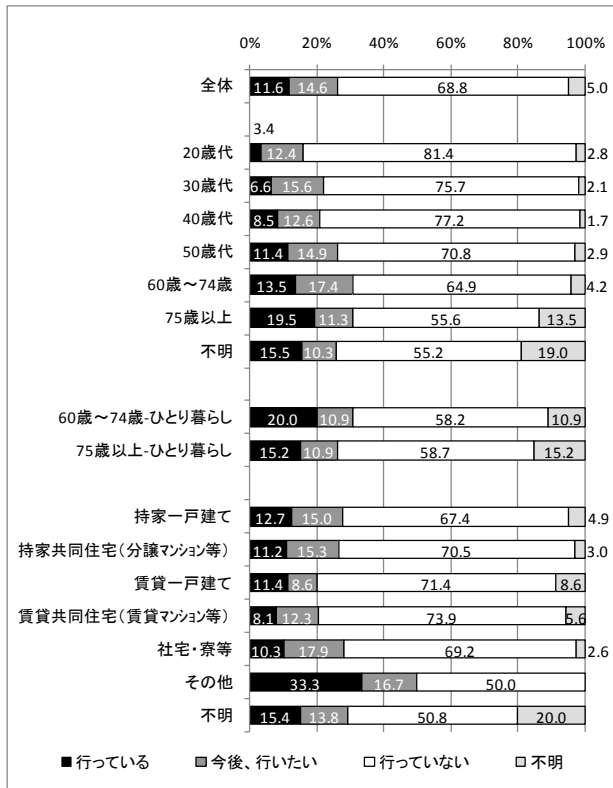
図 活動経験



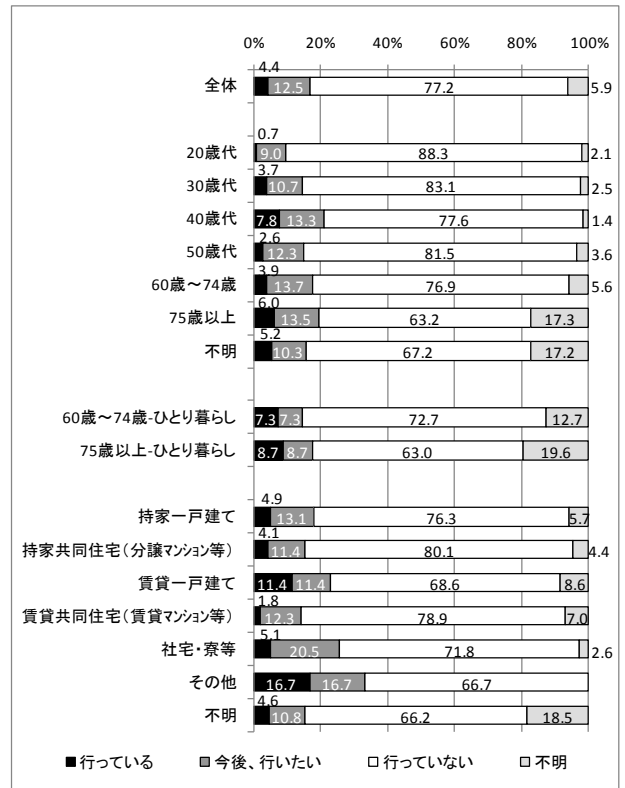
■ 年齢・居住形態別 活動経験

図 年齢・居住形態別 活動経験

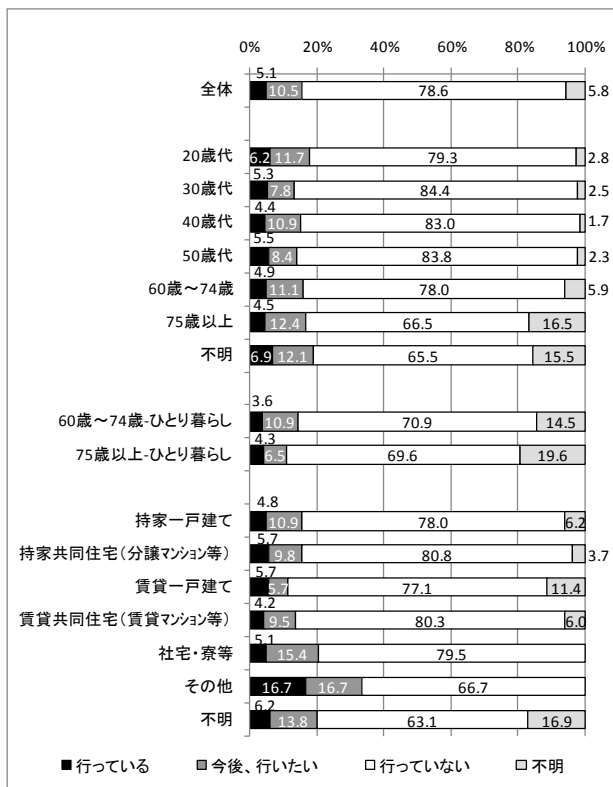
1 気軽に行ける交流スペースづくり



2 見守りネットワークづくり



3 日常生活の困りごとの相談



4 日常生活(掃除、食事など)の手伝い

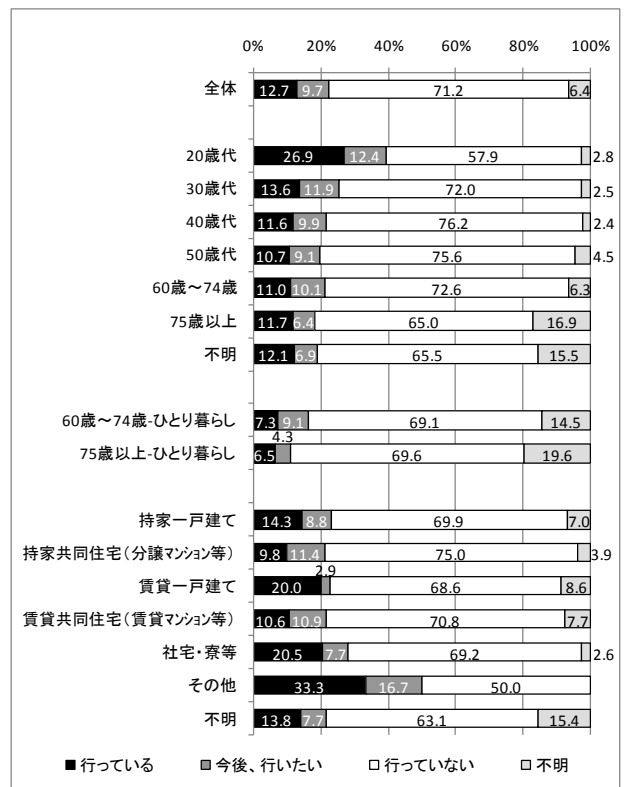
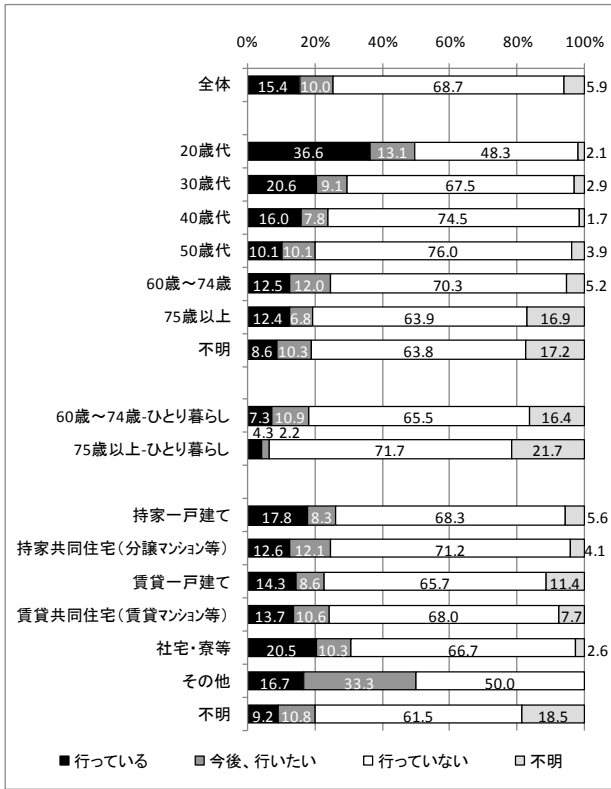
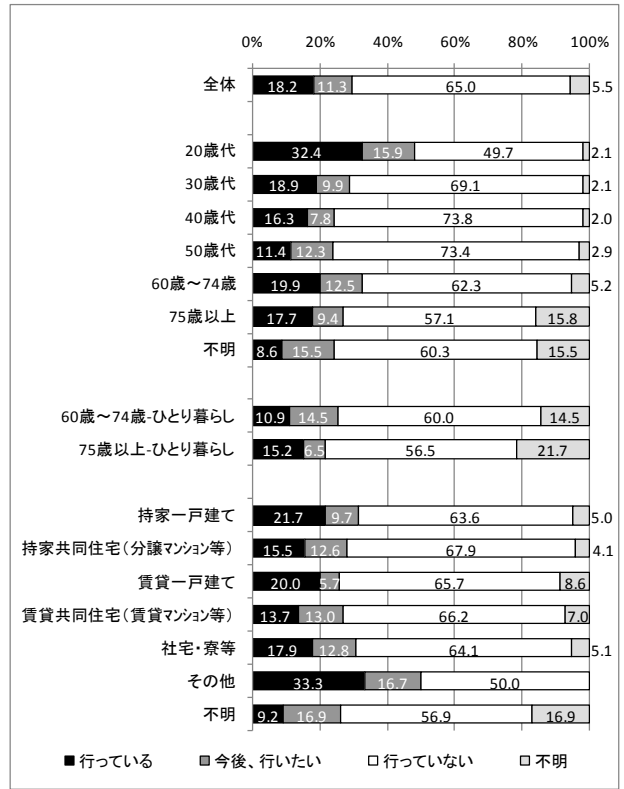


図 年齢・居住形態別 活動経験

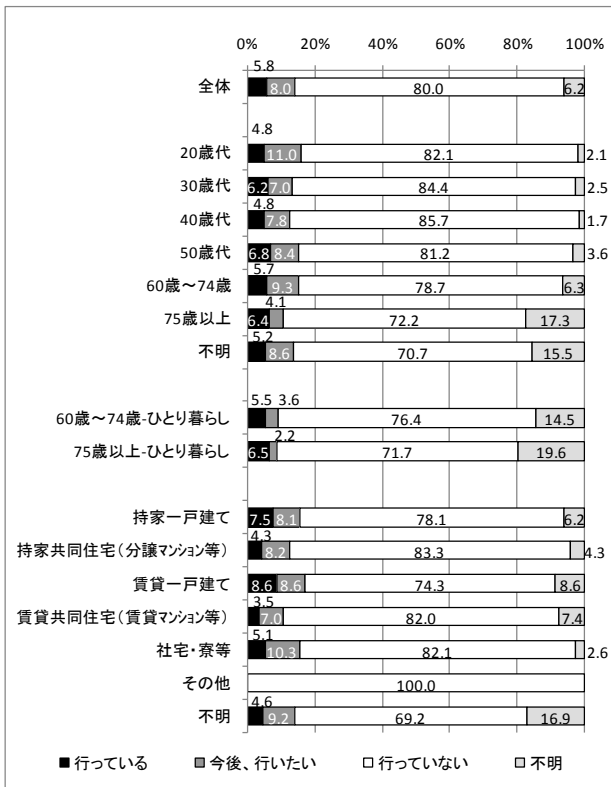
5 買い物の手伝い



6 ごみ出しの手伝い



7 外出の介助(車での送迎を含む)



8 新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成

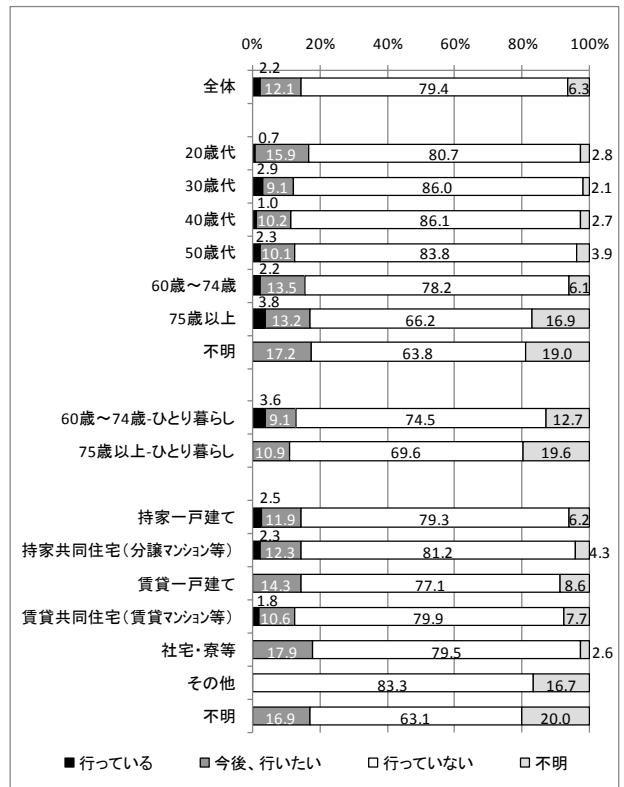
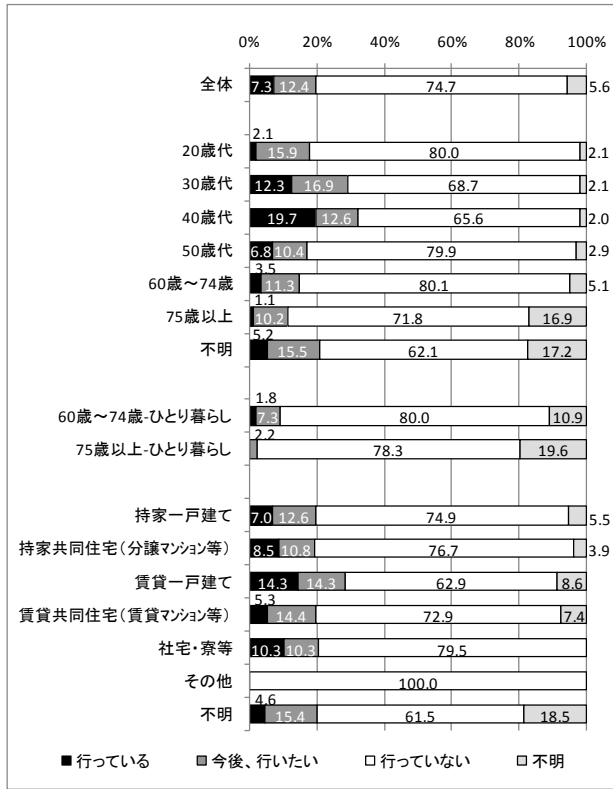
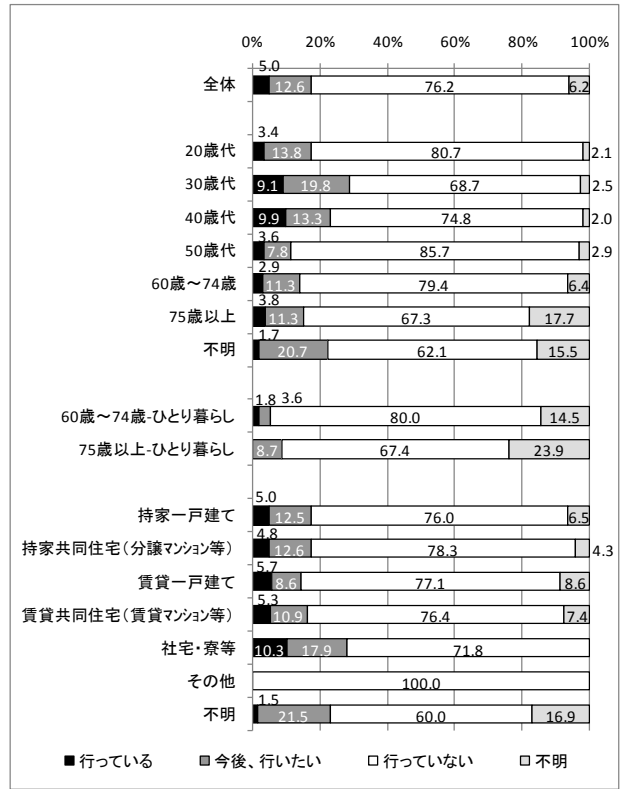


図 年齢・居住形態別 活動経験

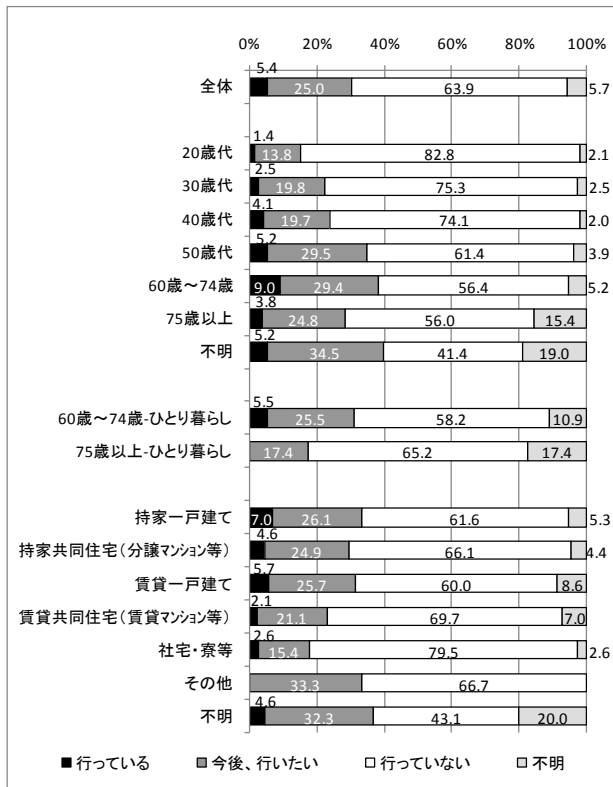
9 近所の子どもの見守りや預かったりすること



10 親子で集える交流の場づくり



11 災害時における高齢者等の安否確認



12 災害時における高齢者等の避難の手助け

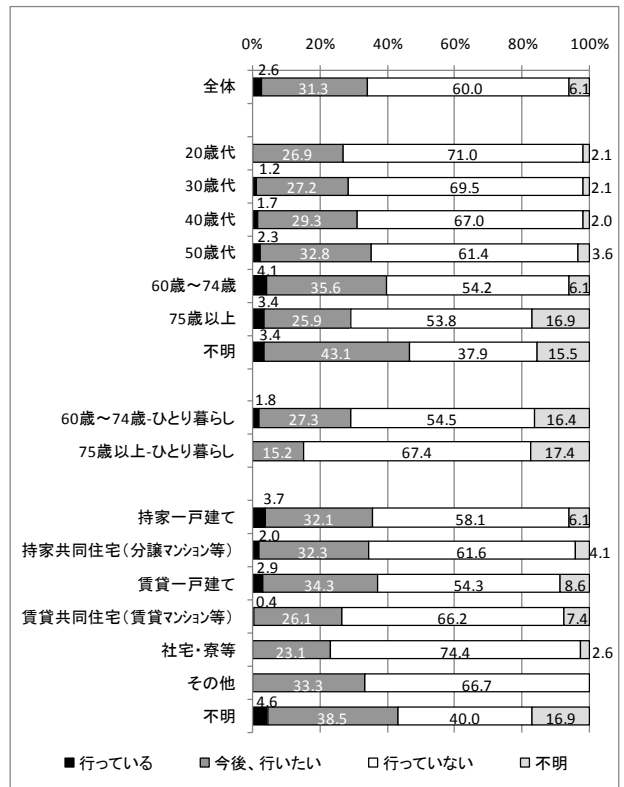
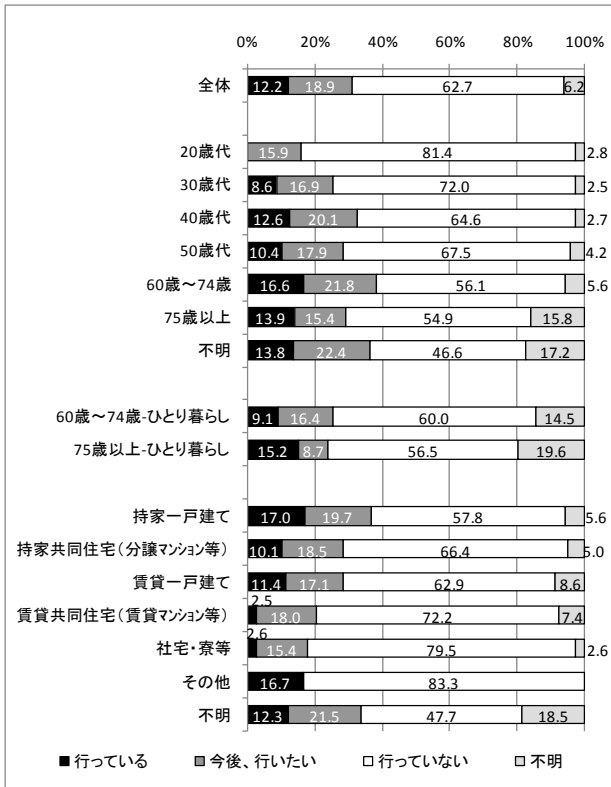
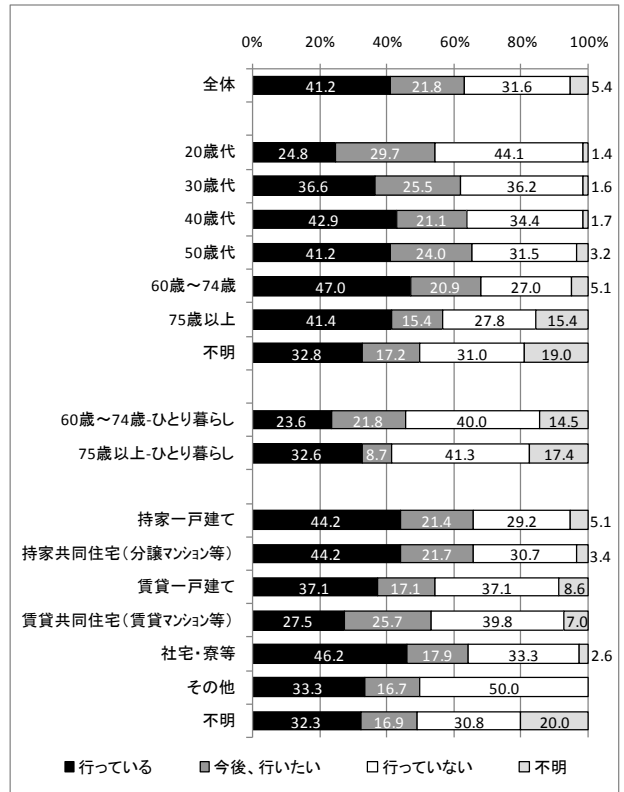


図 年齢・居住形態別 活動経験

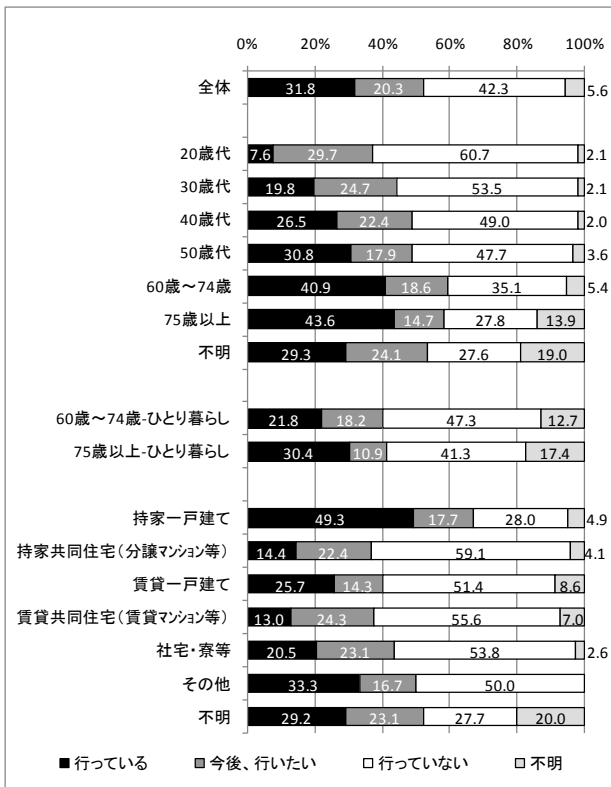
13 防犯パトロールの実施



14 ごみの減量化対策の実施



15 身近な道路の清掃



16 地球温暖化対策の実施

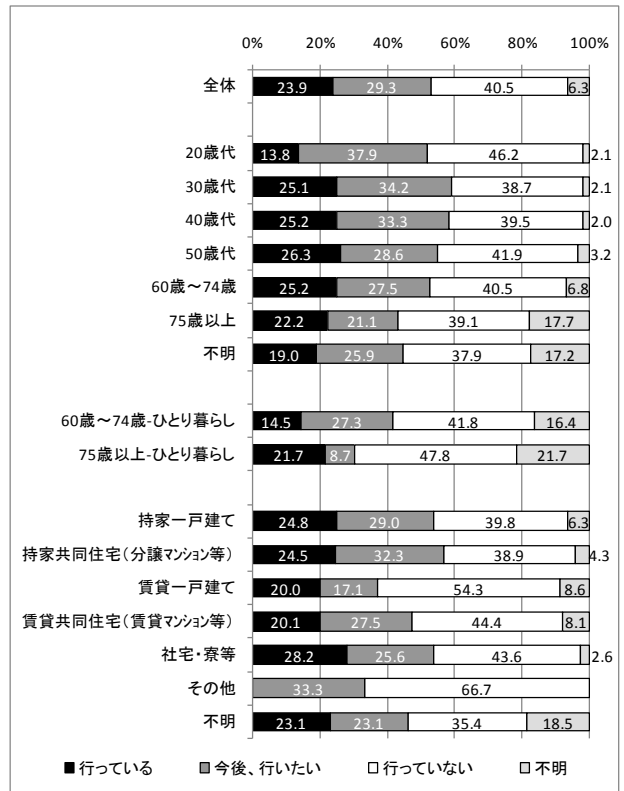
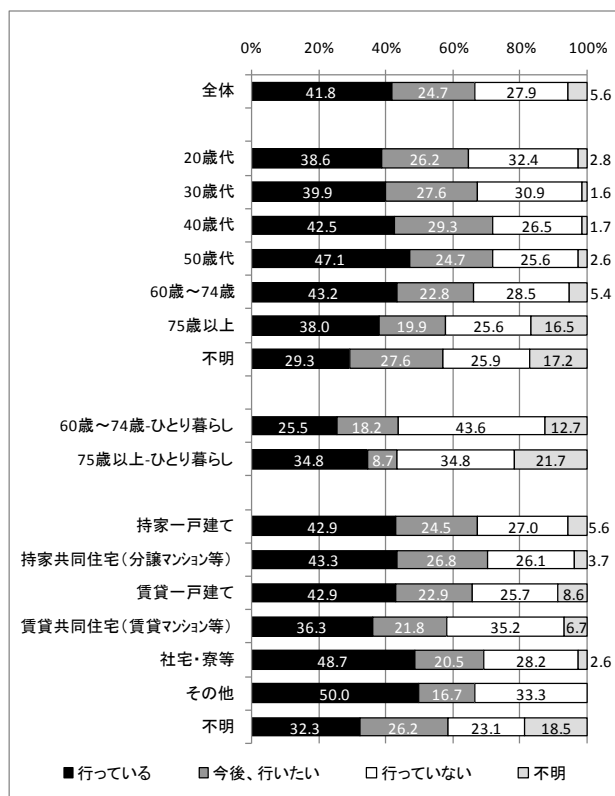


図 年齢・居住形態別 活動経験
17 省エネルギーの実践



問 14 金沢区が提供している行政サービスに対して意見を述べようとした場合、どのような方法を選ばれますか。(複数回答)

- ・「区役所へ電話をする」が 49.7%で最も多く、次いで「区役所の窓口へ直接行く」が 40.5%、「自治会・町内会を通じて伝える」が 34.5%である。
- ・平成 19 年度調査では、一部選択肢は異なるが、「区の担当窓口へ電話」が最も多く 35.8%、次いで「自治会・町内会を通じて」が 25.7%となっており、今回調査で 2 位となった「区役所の窓口へ直接行く」は 4 位であった。

図 行政サービスに対して意見を述べる場合の方法

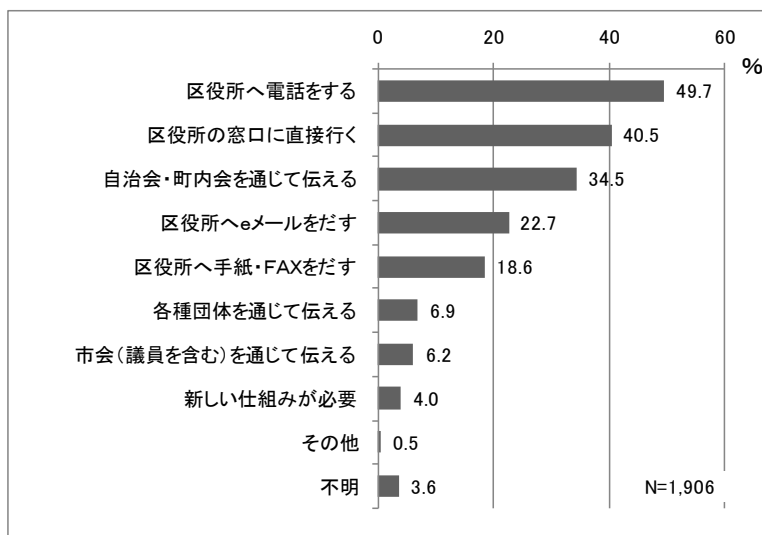


表 平成 19 年度調査との比較

今回調査 (複数回答)		H19調査 (2つまで回答)	
区役所へ電話をする	49.7	区の担当窓口へ電話	35.8
区役所の窓口へ直接行く	40.5	自治会・町内会を通じて	25.7
自治会・町内会を通じて伝える	34.5	行政が解決するのを待つ	22.6
区役所へメールをだす	22.7	区の担当窓口に行く	19.2
区役所へ手紙・FAXをだす	18.6	区のHPからメールで送信	8.3
各種団体を通じて伝える	6.9	区へ文書で送付	7.4
市会(議員を含む)を通じて伝える	6.2	議員を通じて伝える	4.8
新しい仕組みが必要	4.0	市長陳情を出す	2.0
その他	0.5	新聞・雑誌などに投書	1.4
不明	3.6	特に意見・要望などはない	24.4
		その他	4.4
		無回答	3.9

■ 年齢別 行政サービスに対して意見を述べる場合の方法

- ・いずれも「区役所へ電話をする」が最も多いが、20～40歳代までの若い世代では「区役所へeメールをだす」の数値が他世代に比べて高く、年齢が若いほど顕著になっている。75歳以上では「自治会・町内会を通じて伝える」の数値が他世代に比べて高い。
- ・ひとり暮らし高齢者について見てみると、60歳～74歳では「区役所の窓口へ直接行く」が最も多く、75歳以上では「区役所へ電話をする」「自治会・町内会を通じて伝える」が同率となっている。

表 年齢別 行政サービスに対して意見を述べる場合の方法

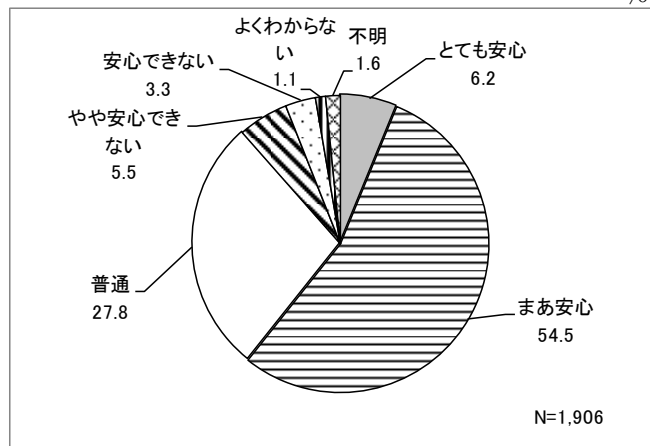
		問14 金沢区が提供している行政サービスに意見を述べる方法 (%)										
		合計 (件)	自治会・ 町内会を 通じて伝 える	各種団体 を通じて 伝える	市会(議 員を含 む)を通 じて伝 える	区役所の 窓口へ直 接行く	区役所へ 手紙・F AXをだ す	区役所へ 電話をす る	区役所へ eメール をだす	新しい仕 組みが必 要	その他	不明
全体		1906	34.5	6.9	6.2	40.5	18.6	49.7	22.7	4.0	0.5	3.6
F2 年齢	20歳代	145	19.3	4.1	2.8	36.6	17.2	48.3	44.8	2.8	0.0	3.4
	30歳代	243	15.2	8.6	4.9	35.4	16.5	47.7	42.8	4.9	0.0	2.9
	40歳代	294	27.2	6.1	5.8	32.0	19.0	46.9	37.4	2.4	0.3	3.7
	50歳代	308	37.0	5.5	4.2	34.7	19.5	50.6	21.1	3.6	1.3	1.9
	60歳～74歳	592	40.4	8.4	8.1	46.5	20.3	51.0	12.0	4.2	0.5	3.4
	75歳以上 不明	266 58	50.4 43.1	6.8 3.4	7.9 6.9	48.9 44.8	17.3 13.8	53.0 43.1	5.3 5.2	6.0 1.7	0.8 0.0	4.1 13.8
F2高年齢×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	25.5	3.6	10.9	54.5	14.5	50.9	5.5	3.6	0.0	5.5
	75歳以上-ひとり暮らし	46	54.3	4.3	4.3	41.3	17.4	54.3	4.3	8.7	0.0	8.7

III 防災・防犯について

問 15 あなたの住まいの地域は安心して暮らせるところだと思いますか。

- ・「まあ安心」が 54.5% で過半数を占める。次いで「普通」が 27.8% で、ほぼ 3 割弱である。以下「とても安心」(6.2%)、「やや安心できない」(5.5%)、「安心できない」(3.3%)、「よくわからない」(1.1%) の順である。
- ・「とても安心」「まあ安心」を合わせると 60.7% と、約 6 割の人が安心して暮らせるとしているが、「安心できない」「やや安心できない」を合わせると 8.8% となり、安心して暮らせないと考えている人も 1 割弱存在する。

図 安心して暮らせるところか



■ 居住地区別 安心して暮らせるところか

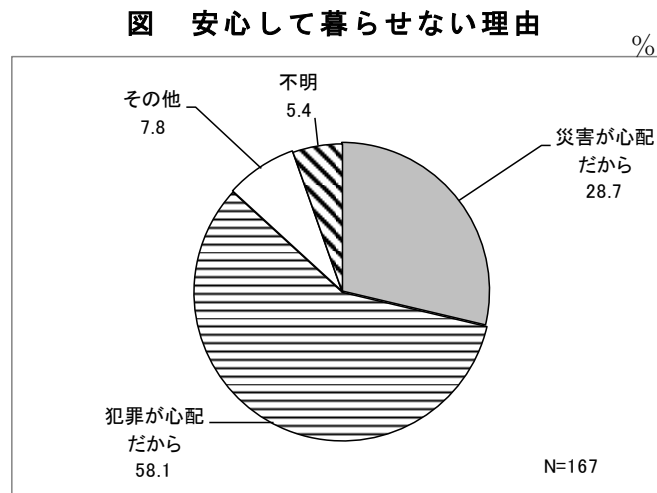
- ・六浦東のみ「普通」、それ以外の地域はいずれも「まあ安心」が最も多い。

表 居住地区別 安心して暮らせるところか

	合計 (件)	問15 お住まいの地域は安心して暮らせるところですか (%)						
		とても安心	まあ安心	普通	やや安心できない	安心できない	よくわからない	不明
全体	1906	6.2	54.5	27.8	5.5	3.3	1.1	1.6
F7-1 居住地区								
富岡第一地区	76	7.9	46.1	34.2	5.3	5.3	1.3	0.0
富岡第二地区	63	7.9	44.4	38.1	3.2	1.6	0.0	4.8
富岡第三地区	91	3.3	48.4	34.1	6.6	4.4	1.1	2.2
富岡西・能見台地区	80	5.0	58.8	25.0	6.3	5.0	0.0	0.0
能見台地区	137	12.4	69.3	10.9	3.6	0.7	0.7	2.2
金沢シーサイドタウン地区	215	5.6	53.0	26.5	5.6	6.0	1.4	1.9
金沢東部地区	119	4.2	61.3	24.4	5.0	5.0	0.0	0.0
金沢中部地区	96	12.5	51.0	26.0	5.2	1.0	3.1	1.0
金沢南部地区	122	4.9	51.6	34.4	3.3	3.3	0.0	2.5
金沢地区	92	2.2	56.5	25.0	13.0	1.1	2.2	0.0
六浦東地区	51	2.0	37.3	52.9	2.0	0.0	5.9	0.0
六浦地区	123	4.9	57.7	23.6	4.9	6.5	0.0	2.4
六浦西地区	256	4.3	58.6	27.7	4.3	2.3	0.8	2.0
釜利谷地区	305	8.2	49.8	29.8	6.6	2.6	1.0	2.0
大川地区	33	9.1	69.7	18.2	3.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
不明	41	0.0	51.2	26.8	9.8	4.9	2.4	4.9

問 16 (問 15 で「4 やや安心できない」もしくは「5 安心できない」とお答えの方に) 安心できない理由は何ですか。

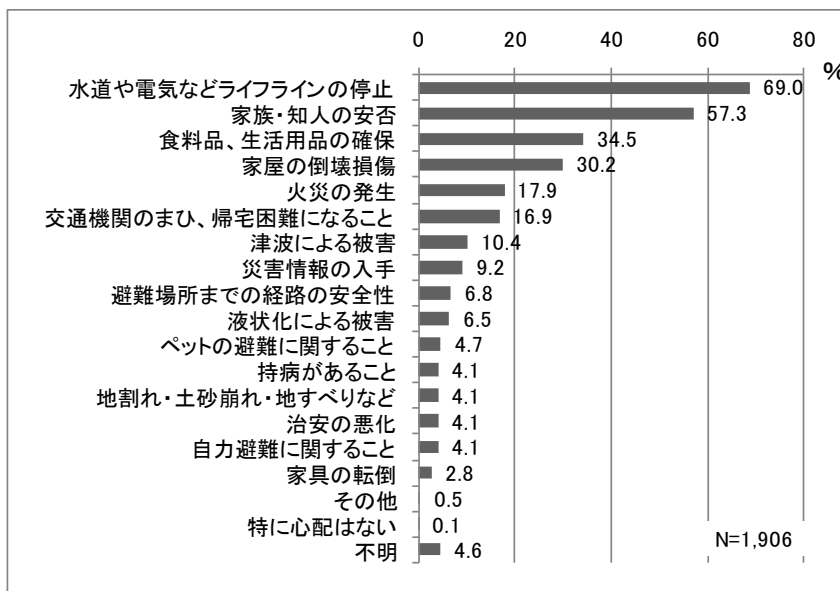
- ・「犯罪が心配だから」が 58.1%で最も多く、「災害が心配だから」の 28.7%を約 30 ポイント上回っており、災害よりも犯罪の方が不安の理由として大きいことがわかる。



問 17 大地震が起きたときに特に心配なことをお知らせください。

- ・第1位～第3位の回答の全体の結果では、「水道や電気などライフラインの停止」が69.0%で最も多く、次いで「家族・知人の安否」(57.3%)、「食料品、生活用品の確保」(34.5%)が大地震が起きたときに特に心配なことの上位3項目である。

図 大地震が起きたときに特に心配なこと(総合)



- ・順位別の結果は、次表のとおりである。

表 大地震が起きたときに特に心配なこと(順位別)

第1位		第2位		第3位	
No.	カテゴリー名	No.	カテゴリー名	No.	カテゴリー名
1	家族・知人の安否	1	水道や電気などライフラインの停止	1	食料品、生活用品の確保
2	水道や電気などライフラインの停止	2	食料品、生活用品の確保	2	水道や電気などライフラインの停止
3	家屋の倒壊損傷	3	家族・知人の安否	3	交通機関のまひ、帰宅困難になること
4	津波による被害	4	家屋の倒壊損傷	4	家屋の倒壊損傷
5	火災の発生	5	火災の発生	5	火災の発生
6	食料品、生活用品の確保	6	交通機関のまひ、帰宅困難になること	6	災害情報の入手
7	交通機関のまひ、帰宅困難になること	7	津波による被害	7	家族・知人の安否
8	液状化による被害	8	液状化による被害	8	避難場所までの経路の安全性
9	持病があること	9	避難場所までの経路の安全性	9	津波による被害
10	災害情報の入手	10	災害情報の入手	10	ペットの避難に関すること
11	地割れ・土砂崩れ・地すべりなど	11	地割れ・土砂崩れ・地すべりなど	11	治安の悪化
12	自力避難に関すること	12	持病があること	12	自力避難に関すること
13	避難場所までの経路の安全性	13	ペットの避難に関すること	13	液状化による被害
14	家具の転倒	14	治安の悪化	14	家具の転倒
15	ペットの避難に関すること	15	自力避難に関すること	15	持病があること
16	治安の悪化	16	家具の転倒	16	地割れ・土砂崩れ・地すべりなど
17	その他	17	その他	17	その他
18	特に心配はない	18	特に心配はない	18	特に心配はない
	不明		不明		不明
	全体N=1906		全体N=1905		全体N=1905

■ 年齢別 大地震が起きたときに特に心配なこと（総合）

- ・20歳代、30歳代では「家族・知人の安否」、40歳代より上の世代では「水道や電気などライフラインの停止」が最も多くなっている。また、75歳以上で「火災の発生」の数値が他世代に比べて高い。

表 年齢別 大地震が起きたときに特に心配なこと（総合）

	合計 (件)	問17 大震災が起きたときに特に心配なこと (%)																					
		水道や電気などライフラインの停止	家族・知人の安否	家屋の倒壊損傷	食料品、生活用品の確保	火災の発生	困難になること	交通機関のまひ、帰宅	家具の転倒	安全性	避難場所までの経路の	持病があること	災害情報の入手	すべりなど	地割れ・土砂崩れ・地	治安の悪化	こと	ベットの避難に関する	液状化による被害	津波による被害	自力避難に関すること	その他	特に心配はない
全体	1906	69.0	57.3	30.2	34.5	17.9	16.9	2.8	6.8	4.1	9.2	4.1	4.1	4.7	6.5	10.4	4.1	0.5	0.1	4.6			
F2 年齢																							
20歳代	145	57.2	74.5	22.1	44.1	11.0	25.5	0.7	3.4	0.7	7.6	2.8	6.2	7.6	10.3	19.3	4.1	0.0	0.0	0.7			
30歳代	243	58.0	75.3	25.9	42.0	10.7	18.5	1.6	4.9	2.1	9.9	4.1	6.6	4.9	5.8	14.8	3.7	1.2	0.0	2.9			
40歳代	294	69.4	66.3	28.2	39.1	13.9	22.8	2.0	4.8	1.4	6.8	4.8	4.1	8.2	5.1	11.6	2.0	0.7	0.0	2.4			
50歳代	308	76.0	62.3	26.9	36.0	16.6	22.4	2.3	5.8	1.9	8.1	2.9	2.9	5.8	7.8	9.1	2.9	0.6	0.0	2.3			
60歳～74歳	592	70.9	48.0	34.1	28.0	20.4	13.0	3.5	9.6	5.7	11.7	5.1	3.7	3.7	7.4	9.5	5.1	0.3	0.2	5.7			
75歳以上	266	73.3	37.2	33.8	30.1	29.3	7.9	4.5	7.5	10.5	7.9	3.8	4.1	1.1	3.0	4.1	7.1	0.0	0.0	8.6			
不明	58	65.5	55.2	37.9	32.8	13.8	10.3	5.2	5.2	1.7	8.6	3.4	0.0	0.0	6.9	10.3	0.0	0.0	0.0	13.8			
F2高年齢×F4 ひとり暮らし	55	69.1	32.7	30.9	29.1	25.5	5.5	3.6	12.7	10.9	12.7	1.8	1.8	3.6	5.5	10.9	5.5	0.0	1.8	10.9			
ひとり暮らし	46	71.7	28.3	34.8	34.8	28.3	4.3	4.3	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	15.2	0.0	0.0	8.7			

■ 家族形態別 大地震が起きたときに特に心配なこと（総合）

- ・いずれの家族形態でも「水道や電気などライフラインの停止」が最も多く、その他では「家族・知人の安否」も同率である。

表 家族形態別 大地震が起きたときに特に心配なこと（総合）

	合計 (件)	問17 大震災が起きたときに特に心配なこと (%)																						
		水道や電気などライフラインの停止	家族・知人の安否	家屋の倒壊損傷	食料品、生活用品の確保	火災の発生	困難になること	交通機関のまひ、帰宅	家具の転倒	安全性	避難場所までの経路の	持病があること	災害情報の入手	すべりなど	地割れ・土砂崩れ・地	治安の悪化	こと	ベットの避難に関する	液状化による被害	津波による被害	自力避難に関すること	その他	特に心配はない	不明
全体	1906	69.0	57.3	30.2	34.5	17.9	16.9	2.8	6.8	4.1	9.2	4.1	4.1	4.7	6.5	10.4	4.1	0.5	0.1	4.6				
F4 家族形態																								
ひとり暮らし	164	75.0	40.9	26.2	38.4	22.6	14.6	4.3	11.0	6.1	6.7	1.8	4.9	1.8	3.7	11.0	6.7	0.0	0.6	6.7				
夫婦のみ	498	74.5	50.2	35.3	29.3	19.3	12.4	3.8	7.0	4.8	10.6	6.2	5.4	6.0	7.8	5.2	0.6	0.0	3.8					
親と子（二世帯）	1033	65.5	62.4	27.9	35.5	16.5	20.4	2.4	6.2	3.6	9.3	3.3	3.6	4.7	7.7	11.5	3.4	0.4	0.0	4.4				
祖父母と親と子（三世帯）	111	71.2	65.8	28.8	41.4	20.7	16.2	0.0	4.5	3.6	3.6	5.4	6.3	4.5	2.7	10.8	3.6	1.8	0.0	1.8				
その他	21	76.2	76.2	47.6	38.1	19.0	0.0	0.0	9.5	4.8	9.5	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
不明	79	62.0	53.2	32.9	34.2	13.9	8.9	3.8	6.3	3.8	11.4	3.8	0.0	2.5	6.3	13.9	3.8	0.0	0.0	12.7				

■ 居住地区別 大地震が起きたときに特に心配なこと（総合）

- ・いずれの地区も「水道や電気などライフラインの停止」が最も多くなっている。
- ・富岡第三では「家屋の倒壊損傷」、能見台では「食料品、生活用品の確保」、金沢シーサイドタウンでは「液状化による被害」、金沢では「津波による被害」、大川では「家族・知人の安否」「交通機関のまひ、帰宅困難になること」の数値が、それぞれ他地域に比べて高い数値となっている。特に沿岸部では「液状化による被害」「津波による被害」の数値が高い傾向にある。

表 居住地区別 大地震が起きたときに特に心配なこと（総合）

	合計 (件)	問17 大震災が起きたときに特に心配なこと																		(%)	
		水道や電気などライフラインの停止	家族・知人の安否	家屋の倒壊損傷	食料品、生活用品の確保	火災の発生	交通機関のまひ、帰宅困難になること	家具の転倒	避難場所までの経路の安全性	持病があること	災害情報の入手	すべりなど	地割れ・土砂崩れ・地	治安の悪化	こと	ベットの避難に関する	液状化による被害	津波による被害	自力避難に関すること	その他	特に心配はない
全体	1906	69.0	57.3	30.2	34.5	17.9	16.9	2.8	6.8	4.1	9.2	4.1	4.1	4.7	6.5	10.4	4.1	0.5	0.1	4.6	
F7-1 居住地区																					
富岡第一地区	76	69.7	52.6	32.9	34.2	23.7	14.5	2.6	2.6	0.0	11.8	9.2	6.6	6.6	1.3	3.9	0.0	0.0	0.0	6.6	
富岡第二地区	63	73.0	52.4	33.3	34.9	11.1	7.9	1.6	6.3	6.3	11.1	4.8	6.3	4.8	3.2	11.1	1.6	0.0	0.0	7.9	
富岡第三地区	91	70.3	64.8	48.4	33.0	12.1	13.2	2.2	3.3	4.4	5.5	6.6	5.5	7.7	0.0	2.2	6.6	0.0	0.0	4.4	
富岡西・能見台地区	80	83.8	67.5	33.8	40.0	17.5	16.3	1.3	2.5	3.8	10.0	0.0	6.3	5.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	2.5	
能見台地区	137	73.0	59.1	25.5	46.7	18.2	19.7	2.2	4.4	5.1	8.8	5.8	4.4	5.8	0.0	1.5	1.5	0.7	0.0	5.1	
金沢シーサイドタウン地区	215	66.5	55.3	22.8	29.8	9.8	14.4	2.8	4.7	5.1	7.4	0.9	2.3	3.3	32.6	24.7	5.1	0.5	0.0	3.3	
金沢東部地区	119	74.8	61.3	37.0	40.3	17.6	16.8	4.2	5.0	4.2	11.8	4.2	1.7	4.2	1.7	5.0	3.4	0.0	0.0	1.7	
金沢中部地区	96	70.8	49.0	29.2	41.7	19.8	21.9	1.0	8.3	1.0	9.4	3.1	8.3	7.3	3.1	12.5	2.1	0.0	0.0	3.1	
金沢南部地区	122	55.7	51.6	27.0	27.0	19.7	13.1	0.8	13.1	2.5	12.3	3.3	5.7	5.7	9.8	19.7	3.3	0.8	0.0	9.0	
金沢地区	92	58.7	53.3	26.1	25.0	20.7	16.3	4.3	14.1	4.3	4.3	1.1	3.3	5.4	9.8	31.5	6.5	0.0	0.0	4.3	
六浦東地区	51	56.9	51.0	29.4	31.4	15.7	17.6	7.8	15.7	3.9	13.7	9.8	3.9	3.9	0.0	11.8	3.9	2.0	0.0	5.9	
六浦地区	123	66.7	52.0	22.0	30.1	15.4	22.8	0.8	9.8	4.9	7.3	2.4	3.3	0.8	13.8	22.0	5.7	0.8	0.0	6.5	
六浦西地区	256	71.9	60.9	32.4	35.2	21.9	16.4	3.9	5.1	4.7	8.6	4.3	2.7	2.3	1.6	2.3	6.6	0.4	0.0	5.1	
釜利谷地区	305	69.5	61.0	33.1	34.4	22.6	18.7	3.6	5.9	3.9	9.8	5.2	4.3	5.6	1.0	5.2	3.6	0.7	0.0	2.6	
大川地区	33	75.8	72.7	18.2	36.4	15.2	30.3	0.0	6.1	0.0	3.0	6.1	3.0	12.1	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	3.0	
その他	6	66.7	16.7	0.0	33.3	66.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	
不明	41	65.9	43.9	31.7	31.7	2.4	9.8	4.9	12.2	9.8	17.1	7.3	2.4	2.4	0.0	7.3	9.8	2.4	2.4	9.8	

問 18 あなたは、大地震などの災害に備えて、どのような準備をしていますか。（複数回答）

- ・最も多いのは「懐中電灯」の 87.7%で、9割近くの人が挙げている。次いで「食料や飲料水」（69.6%）、「携帯ラジオ」（67.4%）が6割を超えており、この3点に回答が集中している。なお、5.0%の人が「大地震に対して備えはしていない」としている。
- ・平成21年度調査と比較すると、一部選択肢は異なるが、「懐中電灯」が最も多く73.9%、以下「食糧や飲料水」（57.4%）、「ラジオ」（56.3%）、「救急用品」（33.4%）、「現金」（18.2%）となっており、ここまでの順位は変わらない。ただし「大地震に対して備えはしていない」の数値が14.6%から今回5.0%へと9.6ポイント大きく減少したほか、「懐中電灯」「食糧や飲料水」「ラジオ」「現金」についてはいずれも今回調査では10ポイント以上数値が増加している。

図 大地震などの災害に備えて準備していること

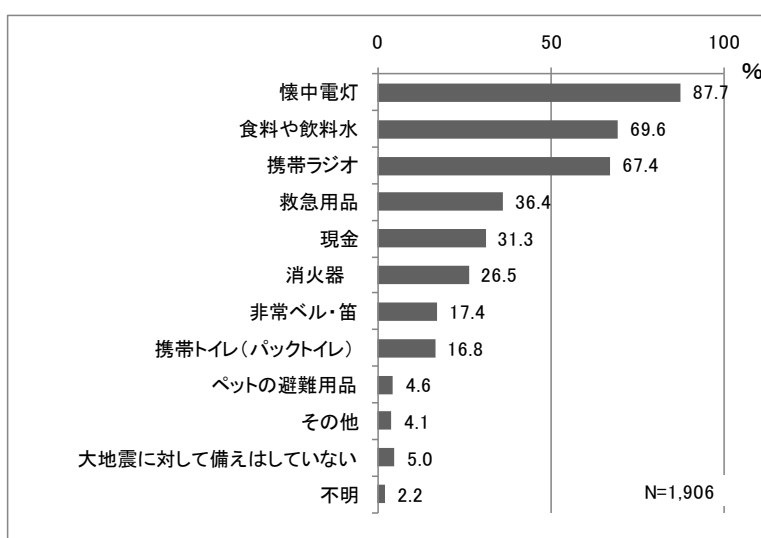


表 平成21年度調査との比較

今回調査		H21調査 (%)	
懐中電灯	87.7	懐中電灯	73.9
食料や飲料水	69.6	食糧や飲料水	57.4
携帯ラジオ	67.4	ラジオ	56.3
救急用品	36.4	救急用品	33.4
現金	31.3	現金	18.2
消火器	26.5	非常用トイレ	13.3
非常ベル・笛	17.4	非常ベル・笛	13.2
携帯トイレ (パケットイレ)	16.8	その他	3.2
ペットの避難用品	4.6	大地震に対して備えはしていない	14.6
その他	4.1	無回答	1.6
大地震に対して備えはしていない	5.0		
不明	2.2		

■ 年齢別 大地震などの災害に備えて準備していること

- ・いずれの年齢でも「懐中電灯」が最も多く、特に50歳代では9割以上の人が挙げている。また75歳以上で「現金」の数値が他世代に比べて高い。
- ・ひとり暮らし高齢者について見てみると、「懐中電灯」が最も多くなっており、75歳以上では数値も高い。また、60歳～74歳では「大地震に対して備えはしていない」、75歳以上では「現金」の数値が高くなっている。

表 年齢別 大地震などの災害に備えて準備していること

	合計 (件)	問18 大地震などの災害に備えて準備していること (%)											
		食料や飲料水	携帯トイレ (バックトイ)	懐中電灯	携帯ラジオ	非常ベル・笛	現金	救急用品	ペットの避難用品	消火器	その他	大地震に対して備えはしていない	不明
全体	1906	69.6	16.8	87.7	67.4	17.4	31.3	36.4	4.6	26.5	4.1	5.0	2.2
F2 年齢													
20歳代	145	65.5	13.8	82.1	46.2	15.9	24.1	31.0	6.9	13.1	7.6	5.5	0.7
30歳代	243	70.0	16.0	87.2	57.2	15.2	25.9	42.4	4.9	15.2	8.2	6.2	2.1
40歳代	294	74.5	21.1	86.4	66.0	16.7	20.7	38.8	6.5	23.5	6.1	6.1	1.4
50歳代	308	67.5	18.5	91.2	71.1	16.6	27.6	30.2	5.2	27.3	2.6	3.2	1.3
60歳～74歳	592	72.0	16.6	89.4	76.2	19.8	34.6	38.3	4.6	31.4	2.7	4.9	2.4
75歳以上	266	65.4	13.2	88.3	68.4	18.4	48.5	36.5	1.1	34.2	1.9	4.9	1.9
不明	58	60.3	17.2	72.4	56.9	8.6	32.8	24.1	0.0	34.5	0.0	3.4	15.5
F2高年層×F4 ひとり暮らし													
60歳～74歳-ひとり暮らし	55	61.8	14.5	74.5	58.2	18.2	34.5	29.1	1.8	18.2	1.8	16.4	3.6
75歳以上-ひとり暮らし	46	69.6	8.7	93.5	63.0	17.4	58.7	28.3	0.0	28.3	2.2	2.2	2.2

■ 家族形態別 大地震などの災害に備えて準備していること

- ・いずれの家族形態でも「懐中電灯」が最も多く、特に夫婦のみでは9割以上の人が挙げている。

表 家族形態別 大地震などの災害に備えて準備していること

	合計 (件)	問18 大地震などの災害に備えて準備していること (%)											
		食料や飲料水	携帯トイレ (バックトイ)	懐中電灯	携帯ラジオ	非常ベル・笛	現金	救急用品	ペットの避難用品	消火器	その他	大地震に対して備えはしていない	不明
全体	1906	69.6	16.8	87.7	67.4	17.4	31.3	36.4	4.6	26.5	4.1	5.0	2.2
F4 家族形態													
ひとり暮らし	164	60.4	11.6	78.7	53.7	15.2	38.4	28.7	1.2	18.9	1.8	10.4	2.4
夫婦のみ	498	73.9	17.5	92.0	76.5	20.1	38.8	42.2	4.6	32.5	3.6	3.8	1.4
親と子(二世帯)	1033	69.7	17.7	88.0	66.7	17.1	27.1	35.5	4.8	24.5	4.7	4.9	1.8
祖父母と親と子(三世帯)	111	73.9	15.3	88.3	62.2	15.3	27.0	40.5	8.1	30.6	4.5	3.6	1.8
その他	21	52.4	9.5	85.7	57.1	23.8	38.1	19.0	9.5	23.8	4.8	9.5	0.0
不明	79	59.5	16.5	75.9	58.2	8.9	29.1	25.3	1.3	26.6	2.5	2.5	12.7

問 19 あなたは、大地震に対してご自宅でのどのような対策をしていますか。(複数回答)

- ・「家具の転倒防止」が最も多く 49.7%と、約 5 割の人が行っているが、「地震に強い家に建て替え、住み替え」(8.5%)、「ガラスの飛散防止」(7.9%)、「耐震診断や耐震補強の実施」(3.9%) を行っている人は 1 割に満たない。なお、「特になにもしていない」割合が 39.2%と、4 割近くに達する。
- ・平成 21 年度調査と比較すると、「家具の転倒防止」が最も多く 43.6%、以下「地震に強い家に建て替え、住み替え」(12.6%)、「ガラスの飛散防止」(7.8%)、「耐震診断や耐震補強の実施」(5.5%) と続き、順位に変化はないが、今回調査では「家具の転倒防止」が 6.1 ポイント増加している。

図 大地震に対して自宅で行っている対策

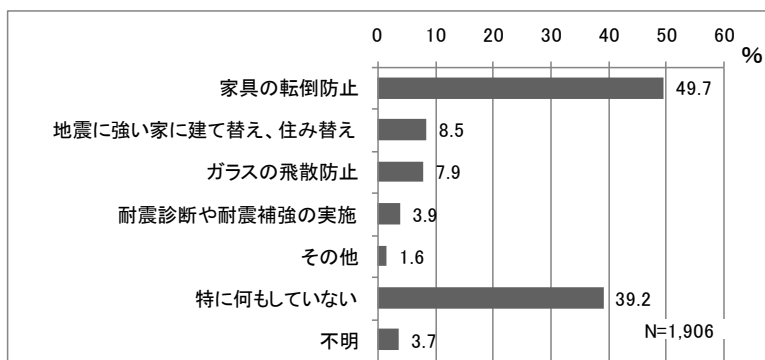


表 平成 21 年度調査との比較

今回調査		H21調査	
家具の転倒防止	49.7	家具の転倒防止	43.6
地震に強い家に建て替え、住み替え	8.5	地震に強い家に建て替え、住み替え	12.6
ガラスの飛散防止	7.9	ガラスの飛散防止	7.8
耐震診断や耐震補強の実施	3.9	耐震診断や耐震補強の実施	5.5
その他	1.6	その他	1.4
特に何もしていない	39.2	特に何もしていない	42.8
不明	3.7	無回答	2.4

■ 年齢別 大地震に対して自宅で行っている対策

- ・20歳代では「特に何もしていない」が最も多く、半数近くの人が挙げている。30歳代以上の世代では「家具の転倒防止」が最も多い。
- ・ひとり暮らし高齢者では「特に何もしていない」が最も多くなっている。

表 年齢別 大地震に対して自宅で行っている対策

		合計 (件)	問19 大地震に対して自宅で行っている対策 (%)						
			家具の転倒防止	ガラスの飛散防止	地震に強い家に建て替え、住み替え	耐震診断や耐震補強の実施	その他	特に何もしていない	不明
全体		1906	49.7	7.9	8.5	3.9	1.6	39.2	3.7
F2 年齢	20歳代	145	40.0	5.5	7.6	1.4	1.4	49.7	3.4
	30歳代	243	49.0	4.9	7.0	2.1	2.5	42.8	2.1
	40歳代	294	51.0	6.5	8.2	3.4	0.7	39.8	2.7
	50歳代	308	55.5	11.4	10.1	3.9	1.3	34.1	2.3
	60歳～74歳	592	51.2	8.8	9.3	4.4	1.7	37.5	3.2
	75歳以上	266	44.7	8.3	7.1	6.8	1.9	40.2	6.8
	不明	58	46.6	3.4	8.6	3.4	1.7	34.5	13.8
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	32.7	12.7	5.5	3.6	1.8	58.2	1.8
	75歳以上-ひとり暮らし	46	39.1	8.7	4.3	0.0	4.3	50.0	4.3

■ 居住形態別 大地震に対して自宅で行っている対策

- ・「持家一戸建て」「持家共同住宅（分譲マンション等）」では「家具の転倒防止」、「賃貸共同住宅（賃貸マンション等）」では「特に何もしていない」が最も多い。「賃貸一戸建て」「社宅・寮等」では「家具の転倒防止」と「特に何もしていない」が同率である。

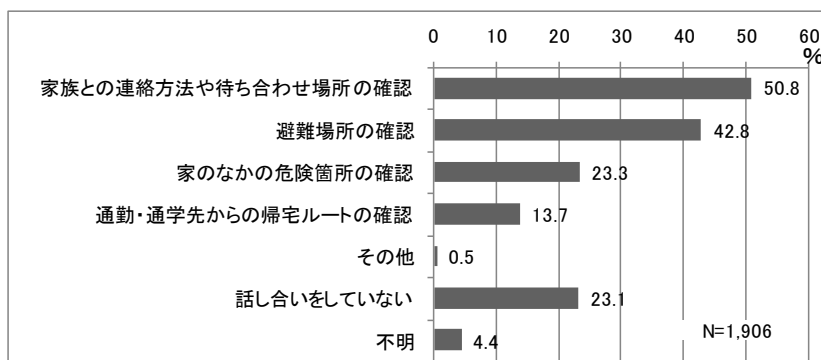
表 居住形態別 大地震に対して自宅で行っている対策

		合計 (件)	問19 大地震に対して自宅で行っている対策 (%)						
			家具の転倒防止	ガラスの飛散防止	地震に強い家に建て替え、住み替え	耐震診断や耐震補強の実施	その他	特に何もしていない	不明
全体		1906	49.7	7.9	8.5	3.9	1.6	39.2	3.7
F3 居住形態	持家一戸建て	914	48.7	9.1	14.0	4.8	2.0	36.7	3.9
	持家共同住宅（分譲マンション等）	563	58.8	8.9	3.9	4.1	0.9	34.3	2.5
	賃貸一戸建て	35	48.6	0.0	0.0	2.9	0.0	48.6	0.0
	賃貸共同住宅（賃貸マンション等）	284	37.3	4.6	1.4	1.8	1.8	55.6	2.8
	社宅・寮等	39	46.2	2.6	5.1	0.0	2.6	46.2	5.1
	その他	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0
	不明	65	44.6	3.1	7.7	3.1	1.5	35.4	15.4

問 20 家族で防災について、どのような話し合いをされていますか。(複数回答)

- ・「家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認」が最も多く 50.8%で、ほぼ半数の人が挙げている。次いで「避難場所の確認」(42.8%)、「家のなかの危険箇所の確認」(23.3%)である。一方、23.1%の人が「話し合いをしていない」としている。

図 防災について話し合っている内容



■ 年齢別 防災について話し合っている内容

- ・どの世代も「家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認」が最も多く、次いで「避難場所の確認」の順である。また、「家のなかの危険箇所の確認」の数値は年齢が上がるほど高くなっている。
- ・ひとり暮らし高齢者について見てみると、60歳～74歳では「話し合いをしていない」、75歳以上では「家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認」が最も多くなっている。

表 年齢別 防災について話し合っている内容

		合計 (件)	問20 防災について家庭でされている話し合い (%)						
			家族との 連絡方法 や待ち合 わせ場所 の確認	通勤・通 学先から の帰宅 ルート の確認	避難場所 の確認	家のなか の危険箇 所の確認	その他	話し合 いをして いない	不明
全体		1906	50.8	13.7	42.8	23.3	0.5	23.1	4.4
F2 年齢	20歳代	145	47.6	17.2	39.3	15.9	0.0	27.6	1.4
	30歳代	243	54.7	18.1	44.4	18.5	0.8	23.0	3.3
	40歳代	294	49.3	21.8	44.2	20.4	1.4	19.4	3.1
	50歳代	308	56.2	14.3	40.6	19.2	0.3	23.1	3.2
	60歳～74歳	592	52.7	10.1	45.1	27.4	0.2	22.1	4.1
	75歳以上	266	44.0	6.4	42.9	31.6	0.0	26.7	7.1
	不明	58	32.8	12.1	24.1	20.7	1.7	24.1	20.7
F2高年齢層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	16.4	1.8	21.8	10.9	0.0	58.2	9.1
	75歳以上-ひとり暮らし	46	34.8	4.3	30.4	26.1	0.0	32.6	15.2

問 21 あなたが、日常、不安に感じている犯罪は何ですか。(複数回答)

- ・「空き巣」が 68.5%と 7 割弱の人が挙げており、突出している。以下「ひったくり」(32.5%)、「不審者による子どもへの接触・連れ回し」(26.4%) の順である。なお、「特に不安に感じる犯罪はない」は 9.4%で、1 割弱の人が挙げています。
- ・過去の調査と比較すると、平成 21 年度調査、平成 19 年度調査とも「空き巣」が最多となっていることは変わらない。なお「振り込め詐欺」については、平成 19 年度は 6 位、平成 21 年度は 5 位、今回調査は 4 位と、徐々に順位が上がっている。

図 日常、不安に感じている犯罪

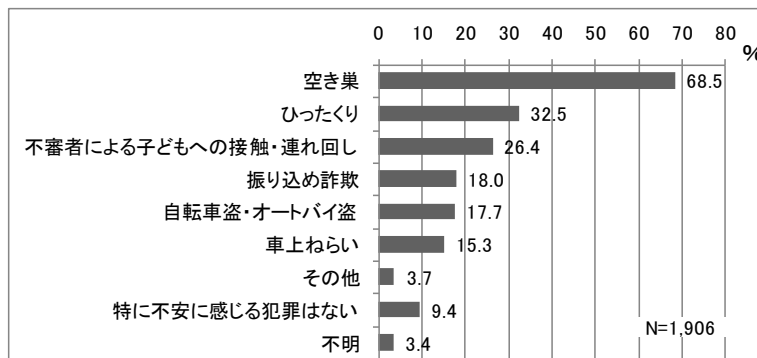


表 過去調査との比較

今回調査		H21調査		H19調査	
空き巣	68.5	空き巣	76.6	空き巣	80.8
ひったくり	32.5	ひったくり	47.7	不審者の子どもへの接触	39.8
不審者による子どもへの接触・連れ回し	26.4	不審者による子どもへの接触・連れ回し	42.6	ひったくり	38.5
振り込め詐欺	18.0	自転車盗・オートバイ盗	26.4	車上狙い	27.4
自転車盗・オートバイ盗	17.7	振り込めサギ	24.8	自転車盗・オートバイ盗	22.7
車上ねらい	15.3	車上狙い	23.1	振り込めサギ	20.9
その他	3.7	その他	3.9	その他	5.7
特に不安に感じる犯罪はない	9.4	無回答	3.5	無回答	2.2
不明	3.4				

■ 男女別 日常、不安に感じている犯罪

- ・男女とも「空き巣」が最も多い。また、女性は男性より「ひったくり」が12.9ポイント高くなっている。

表 男女別 日常、不安に感じている犯罪

		合計 (件)	問21 日常、不安に感じている犯罪 (%)								
			空き巣	ひったくり	自転車盗・オートバイ盗	車上ねらい	振り込め詐欺	不審者による子どもへの接触・連れ回し	その他	特に不安に感じる犯罪はない	不明
全体		1906	68.5	32.5	17.7	15.3	18.0	26.4	3.7	9.4	3.4
F1 性別	男性	809	70.7	25.6	22.0	19.7	18.9	21.4	3.3	8.8	2.3
	女性	1039	67.7	38.5	14.7	12.6	17.0	30.3	4.1	9.6	3.6
	不明	58	51.7	20.7	12.1	3.4	24.1	25.9	0.0	13.8	13.8

■ 年齢別 日常、不安に感じている犯罪

- ・いずれも「空き巣」が最も多い。また20歳代では「自転車盗・オートバイ盗」、30歳代、40歳代では「不審者による子どもへの接触・連れ回し」、75歳以上では「ひったくり」と「振り込め詐欺」が、それぞれ他の世代より高くなっている。
- ・ひとり暮らし高齢者でも「空き巣」が最も多い。また60歳～74歳では「特に不安に感じる犯罪はない」、75歳以上では「振り込め詐欺」の数値が高くなっている。

表 年齢別 日常、不安に感じている犯罪

		合計 (件)	問21 日常、不安に感じている犯罪 (%)								
			空き巣	ひったくり	自転車盗・オートバイ盗	車上ねらい	振り込め詐欺	不審者による子どもへの接触・連れ回し	その他	特に不安に感じる犯罪はない	不明
全体		1906	68.5	32.5	17.7	15.3	18.0	26.4	3.7	9.4	3.4
F2 年齢	20歳代	145	60.0	33.8	28.3	17.9	9.0	26.9	6.9	13.1	2.1
	30歳代	243	67.1	25.9	23.5	21.8	11.1	53.1	6.6	5.3	2.1
	40歳代	294	67.7	31.0	26.2	22.1	12.2	48.6	5.1	4.8	2.7
	50歳代	308	68.8	28.9	16.9	17.9	14.6	23.4	4.2	8.4	3.2
	60歳～74歳	592	70.1	33.1	13.9	12.8	22.5	14.0	2.0	14.4	3.4
	75歳以上	266	74.8	44.7	8.6	5.6	28.9	8.3	1.5	5.3	3.8
	不明	58	51.7	20.7	10.3	3.4	22.4	25.9	0.0	13.8	13.8
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	60.0	34.5	12.7	10.9	23.6	9.1	1.8	25.5	5.5
	75歳以上-ひとり暮らし	46	69.6	39.1	6.5	2.2	30.4	2.2	2.2	4.3	4.3

■ 家族形態別 日常、不安に感じている犯罪

- ・いずれも「空き巣」が最も多い。

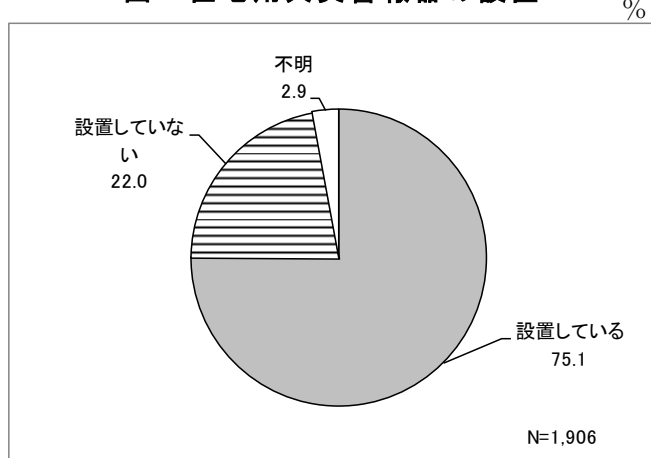
表 家族形態別 日常、不安に感じている犯罪

		合計 (件)	問21 日常、不安に感じている犯罪 (%)								
			空き巣	ひったくり	自転車盗・オートバイ盗	車上ねらい	振り込め詐欺	不審者による子どもへの接触・連れ回し	その他	特に不安に感じる犯罪はない	不明
全体		1906	68.5	32.5	17.7	15.3	18.0	26.4	3.7	9.4	3.4
F4 家族形態	ひとり暮らし	164	65.9	31.7	14.6	12.8	21.3	7.3	3.0	14.0	4.3
	夫婦のみ	498	75.1	37.8	12.0	16.3	20.7	13.3	3.6	9.2	2.6
	親と子(二世帯)	1033	67.1	31.4	21.3	16.2	16.1	35.3	3.6	8.4	2.8
	祖父母と親と子(三世帯)	111	68.5	25.2	19.8	17.1	16.2	33.3	7.2	9.9	3.6
	その他	21	52.4	42.9	19.0	4.8	9.5	23.8	9.5	19.0	4.8
	不明	79	54.4	22.8	10.1	3.8	25.3	22.8	0.0	10.1	12.7

問 22 あなたのお住まいにはすでに住宅用火災警報器を設置していますか。

- ・「設置している」が 75.1% で全体の 4 分の 3 を占める。「設置していない」は 22.0% である。

図 住宅用火災警報器の設置



■ 居住形態別 住宅用火災警報器の設置

- ・いずれも「設置している」の方が多いが、「持家一戸建て」「賃貸一戸建て」で「設置していない」の数値が高く、集合住宅より一戸建ての方が設置率が低い傾向にある。

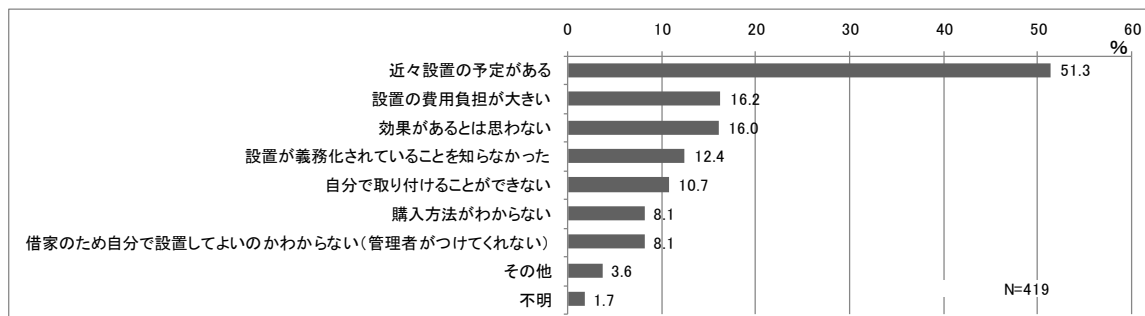
表 居住形態別 住宅用火災警報器の設置

	合計 (件)	問22 住宅用火災警報器の設置 (%)		
		設置している	設置していない	不明
全体	1906	75.1	22.0	2.9
F3 居住形態				
持家一戸建て	914	65.0	32.1	3.0
持家共同住宅 (分譲マンション等)	563	86.7	11.7	1.6
賃貸一戸建て	35	65.7	34.3	0.0
賃貸共同住宅 (賃貸マンション等)	284	85.6	10.9	3.5
社宅・寮等	39	92.3	5.1	2.6
その他	6	66.7	33.3	0.0
不明	65	67.7	20.0	12.3

問 23 住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(複数回答)

- ・「近々設置の予定がある」が最も多く 51.3%で、過半数の人が挙げているが、これを除くと、「設置の費用負担が大きい」(16.2%)、「効果があるとは思わない」(16.0%)、「設置が義務化されていることを知らなかった」(12.4%)、「自分で取り付けることができない」(10.7%)などの順となっている。

図 住宅用火災警報器を設置していない理由



■ 年齢別 住宅用火災警報器を設置していない理由

- ・いずれも「近々設置の予定がある」が最も多いが、75歳以上では「設置が義務化されていることを知らなかった」「自分で取り付けることができない」の数値が高い。

表 年齢別 住宅用火災警報器を設置していない理由

		問23 (問22で設置していないと答えた方) 設置していない理由 (%)									
		合計	近々設置の予定がある	設置が義務化されていることを知らなかった	設置の費用負担が大きい	購入方法がわからない	自分で取り付けることができない	借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者がつけてくれない)	効果があるとは思わない	その他	不明
		(件)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	全体	419	51.3	12.4	16.2	8.1	10.7	8.1	16.0	3.6	1.7
F2 年齢	20歳代	29	55.2	13.8	20.7	10.3	6.9	10.3	10.3	6.9	0.0
	30歳代	39	41.0	12.8	17.9	7.7	2.6	15.4	20.5	5.1	0.0
	40歳代	78	47.4	11.5	19.2	5.1	7.7	10.3	10.3	5.1	2.6
	50歳代	77	51.9	7.8	19.5	3.9	10.4	11.7	14.3	3.9	1.3
	60歳～74歳	133	54.1	11.3	14.3	7.5	12.8	4.5	20.3	2.3	2.3
	75歳以上	53	49.1	22.6	9.4	17.0	20.8	1.9	11.3	1.9	1.9
	不明	10	80.0	10.0	10.0	20.0	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	12	25.0	25.0	33.3	25.0	41.7	16.7	25.0	0.0	8.3
	75歳以上-ひとり暮らし	3	33.3	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 居住形態別 住宅用火災警報器を設置していない理由

- ・持家では「近々設置の予定がある」が最も多く、サンプル数は少ないが賃貸では「借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者がつけてくれない)」が最も多くなっている。

表 居住形態別 住宅用火災警報器を設置していない理由

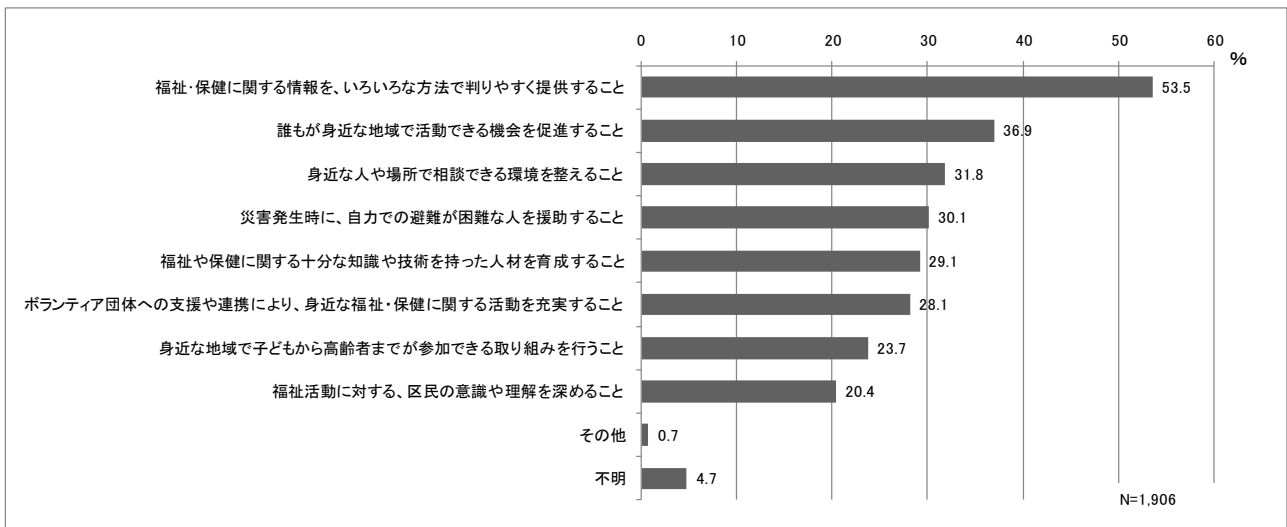
		問23 (問22で設置していないと答えた方) 設置していない理由 (%)									
		合計	近々設置の予定がある	設置が義務化されていることを知らなかった	設置の費用負担が大きい	購入方法がわからない	自分で取り付けることができない	借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者がつけてくれない)	効果があるとは思わない	その他	不明
		(件)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	全体	419	51.3	12.4	16.2	8.1	10.7	8.1	16.0	3.6	1.7
F3 居住形態	持家一戸建て	293	57.3	12.6	17.4	7.5	12.3	0.3	16.7	3.8	1.0
	持家共同住宅(分譲マンション等)	66	51.5	12.1	18.2	7.6	10.6	0.0	16.7	6.1	3.0
	賃貸一戸建て	12	16.7	16.7	16.7	0.0	8.3	58.3	0.0	0.0	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	31	6.5	9.7	6.5	16.1	3.2	74.2	6.5	0.0	0.0
	社宅・寮等	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	その他	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	不明	13	61.5	15.4	7.7	15.4	0.0	15.4	30.8	0.0	7.7

IV 福祉・保健について

問 24 今後、地域の支えあいを推進していくために、区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

- ・「福祉・保健に関する情報を、いろいろな方法で判りやすく提供すること」が 53.5% と 5 割を超える人が挙げており最も多い。以下「誰もが身近な地域で活動できる機会を促進すること」(36.9%)、「身近な人や場所で相談できる環境を整えること」(31.8%)、「災害発生時に、自力での避難が困難な人を援助すること」(30.1%) を 3 割以上の人が挙げています。

図 区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくことの重要性



■ 年齢別 区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくことの重要性

- ・いずれも「福祉・保健に関する情報を、いろいろな方法で判りやすく提供すること」が最も多い。20 歳代では「身近な人や場所で相談できる環境を整えること」の数値が他世代に比べて高い。

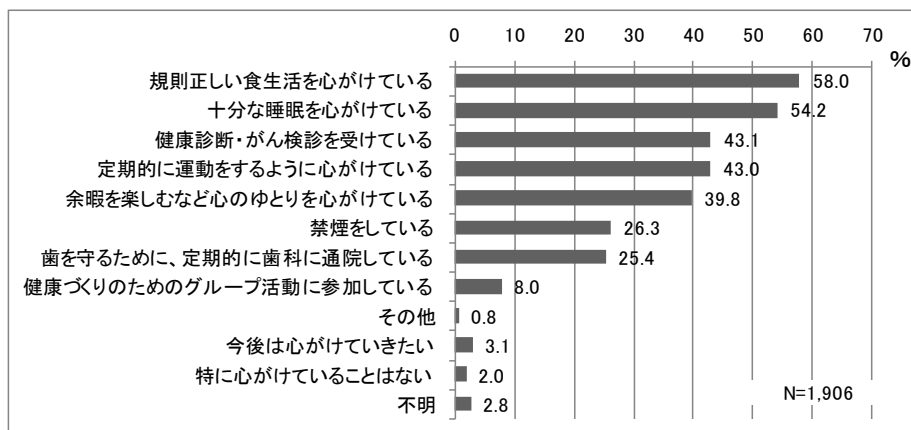
表 年齢別 区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくことの重要性

		問24 今後、地域の支えあいを推進するために、区民・事業者・行政などが共に取り組むのに重要だと思われるもの (%)										
		合計	誰もが身近な地域で活動できる機会を促進すること	身近な地域で子どもから高齢者までが参加できる取り組みを行うこと	福祉・保健に関する情報を、いろいろな方法で判りやすく提供すること	身近な人や場所で相談できる環境を整えること	ボランティア団体への支援や連携により、身近な福祉・保健に関する活動を充実すること	福祉や保健に関する十分な知識や技術を持った人材を育成すること	福祉活動に対する、区民の意識や理解を深めること	災害発生時に、自力での避難が困難な人を援助すること	その他	不明
		(件)										
全体		1906	36.9	23.7	53.5	31.8	28.1	29.1	20.4	30.1	0.7	4.7
F2 年齢	20歳代	145	27.6	20.0	51.0	47.6	31.7	33.1	24.1	27.6	0.0	4.8
	30歳代	243	32.1	31.3	52.3	28.4	33.7	30.0	21.0	27.6	1.2	1.2
	40歳代	294	35.7	22.1	50.0	33.0	34.0	33.0	22.4	26.5	1.4	1.7
	50歳代	308	37.3	17.2	66.2	31.2	31.8	25.6	23.1	29.5	0.3	2.3
	60歳～74歳	592	43.2	24.7	52.2	29.7	25.2	28.0	19.1	34.5	0.7	4.6
	75歳以上	266	33.5	24.8	50.8	30.5	19.5	29.3	15.4	30.1	0.4	11.7
	不明	58	34.5	29.3	41.4	32.8	13.8	24.1	20.7	24.1	0.0	15.5
F2 高年齢層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	30.9	7.3	54.5	21.8	20.0	32.7	20.0	36.4	0.0	9.1
	75歳以上-ひとり暮らし	46	28.3	17.4	58.7	28.3	6.5	43.5	21.7	32.6	0.0	8.7

問 25 日頃から健康のために心がけていることはありますか。(複数回答)

・「規則正しい食生活を心がけている」が 58.0%、「十分な睡眠を心がけている」54.2%で、この2つが5割を超えている。以下「健康診断・がん検診を受けている」(43.1%)、「定期的に運動をするように心がけている」(43.0%)、「余暇を楽しむなど心のゆとりを心がけている」(39.8%)が4割前後で続く。

図 日頃から健康のために心がけていること



■ 年齢別 日頃から健康のために心がけていること

・20歳代では「十分な睡眠を心がけている」と「余暇を楽しむなど心のゆとりを心がけている」が同率、30歳代では「十分な睡眠を心がけている」、40歳代より上の世代では「規則正しい食生活を心がけている」が最も多くなっている。75歳以上では「十分な睡眠を心がけている」の数値も高くなっている。また、「今後は心がけていきたい」「特に心がけていることはない」は若年層での数値が高い。

・ひとり暮らし高齢者について見ると、60歳～74歳では「十分な睡眠を心がけている」、75歳以上では「規則正しい食生活を心がけている」が最も多くなっている。また、75歳以上で「歯を守るために、定期的に歯科に通院している」の数値が高くなっている。

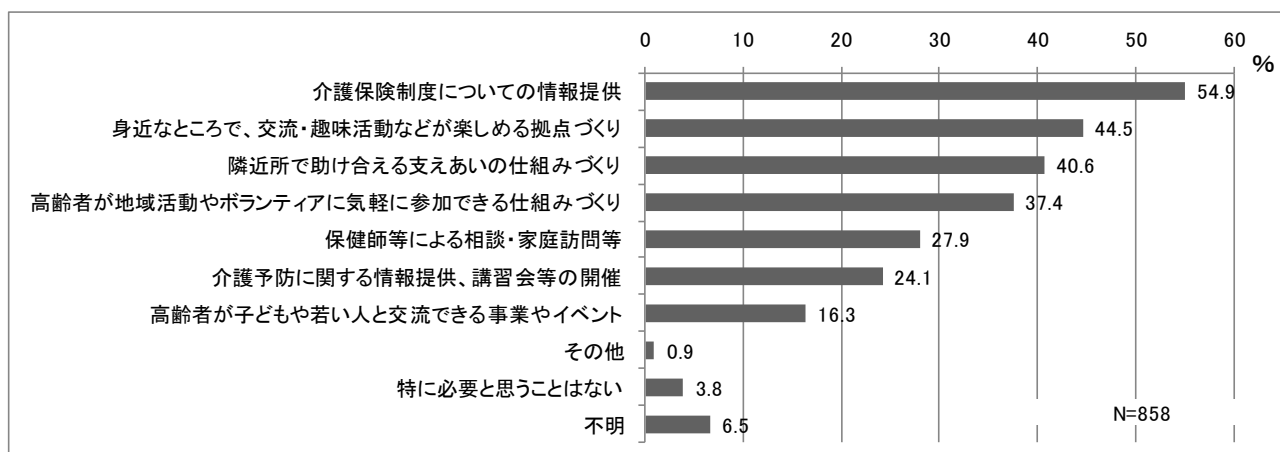
表 年齢別 日頃から健康のために心がけていること

		問25 日頃から健康のために心がけていること (%)												
		合計 (件)	定期的に運動をするように心がけている	規則正しい食生活を心がけている	十分な睡眠を心がけている	余暇を楽しむなど心のゆとりを心がけている	健康づくりのためのグループ活動に参加している	健康診断・がん検診を受けている	禁煙をしている	歯を守るために、定期的に歯科に通院している	その他	今後は心がけていきたい	特に心がけていることはない	不明
全体		1906	43.0	58.0	54.2	39.8	8.0	43.1	26.3	25.4	0.8	3.1	2.0	2.8
F2 年齢	20歳代	145	38.6	42.8	47.6	47.6	1.4	19.3	21.4	14.5	0.0	10.3	2.1	2.8
	30歳代	243	30.0	51.4	52.3	37.0	1.6	29.2	18.9	19.8	0.8	4.5	4.9	0.4
	40歳代	294	43.2	53.7	50.3	38.4	4.1	46.3	21.4	22.1	0.3	2.4	3.4	0.0
	50歳代	308	38.0	52.9	48.7	33.8	6.2	48.7	18.8	21.8	0.3	2.9	1.6	1.9
	60歳～74歳	592	51.7	64.9	57.8	42.9	11.5	50.2	32.6	32.4	1.2	1.9	0.8	2.2
	75歳以上	266	47.0	68.4	65.4	39.8	16.9	47.0	35.7	29.7	1.1	0.0	0.8	7.9
	不明	58	27.6	53.4	39.7	39.7	3.4	25.9	27.6	20.7	1.7	10.3	1.7	13.8
F2高年齢×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	47.3	54.5	58.2	36.4	10.9	41.8	29.1	32.7	0.0	3.6	0.0	9.1
	75歳以上-ひとり暮らし	46	47.8	80.4	58.7	45.7	17.4	39.1	30.4	43.5	2.2	0.0	0.0	4.3

問 26 60 歳以上の方におたずねします。近年、高齢化が進んでいます。高齢者の皆様が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要だと思うことに○をつけてください。(複数回答)

- ・「介護保険制度についての情報提供」が 54.9%、「身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり」が 44.5%、「隣近所で助け合える支えあいの仕組みづくり」が 40.6%で、これらが上位 3 項目である。

図 高齢者が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要なこと



■ 男女別 高齢者が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要なこと

- ・男性は「身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり」、女性は「介護保険制度についての情報提供」が最も多く、男女で傾向が分かれた。

表 男女別 高齢者が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要なこと

		問26 (60歳以上の方で) 高齢者が健康でいきいきと暮らし続けるために必要なこと (%)										
		合計 (件)	介護保険制度についての情報提供	隣近所で助け合える支えあいの仕組みづくり	保健師等による相談・家庭訪問等	身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり	介護予防に関する情報提供、講習会等の開催	高齢者が地域活動やボランティアに気軽に参加できる仕組みづくり	高齢者が子どもや若い人と交流できる事業やイベント	その他	特に必要と思うことはない	不明
全体		858	54.9	40.6	27.9	44.5	24.1	37.4	16.3	0.9	3.8	6.5
F1 性別	男性	406	46.3	42.1	28.6	46.8	21.2	42.4	15.3	1.0	4.2	6.2
	女性	452	62.6	39.2	27.2	42.5	26.8	33.0	17.3	0.9	3.5	6.9
	不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 年齢別 高齢者が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要なこと

- ・いずれも「介護保険制度についての情報提供」が最も多い。また、60歳～74歳では、「身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり」で18.7ポイント、「高齢者が地域活動やボランティアに気軽に参加できる仕組みづくり」については17.7ポイント、75歳以上の数値を上回っている。
- ・ひとり暮らし高齢者についても、同様に「介護保険制度についての情報提供」が最も多くなっている。また、75歳以上で「高齢者が地域活動やボランティアに気軽に参加できる仕組みづくり」の数値が特に低くなっている。

表 年齢別 高齢者が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要なこと

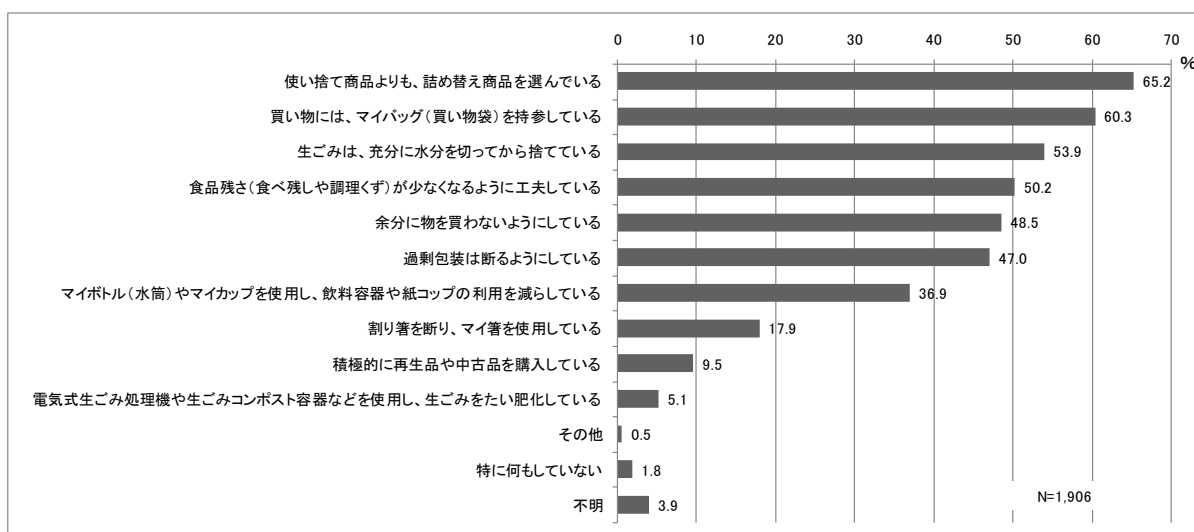
		合計 (件)	問26 (60歳以上の方で) 高齢者が健康でいきいきと暮らし続けるために必要なこと (%)									
			介護保険制度についての情報提供	隣近所で助け合える支えあいの仕組みづくり	保健師等による相談・家庭訪問等	身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり	介護予防に関する情報提供、講習会等の開催	高齢者が地域活動やボランティアに気軽に参加できる仕組みづくり	高齢者が子どもや若い人と交流できる事業やイベント	その他	特に必要と思うことはない	不明
全体		858	54.9	40.6	27.9	44.5	24.1	37.4	16.3	0.9	3.8	6.5
F2 年齢	60歳～74歳	592	55.6	42.4	26.2	50.3	24.5	42.9	16.4	1.2	3.2	4.4
	75歳以上	266	53.4	36.5	31.6	31.6	23.3	25.2	16.2	0.4	5.3	11.3
	不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
F2高年齢層×F4 ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	56.4	29.1	16.4	45.5	23.6	34.5	12.7	1.8	3.6	10.9
	75歳以上-ひとり暮らし	46	63.0	30.4	37.0	19.6	23.9	13.0	17.4	0.0	4.3	8.7

V ヨコハマ3R夢(スリム)プランについて

問 27 あなたのご家庭では環境モデル都市横浜の実現に向け、ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていることはありますか。(複数回答)

- ・「使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる」が 65.2%、「買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参している」が 60.3%で、これらは6割を超える人が挙げている。次いで「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」(53.9%)、「食品残さ(食べ残しや調理くず)が少なくなるように工夫している」(50.2%)は5割を超えている。

図 ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていること



■ 年齢別 ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていること

- ・20歳代から50歳代までは「使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる」、60歳～74歳は「買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参している」、75歳以上は「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」が最も多い。また、40歳代で「過剰包装は断るようになっている」、75歳以上で「食品残さ(食べ残しや調理くず)が少なくなるように工夫している」「余分に物を買わないようにしている」の数値が高い。
- ・ひとり暮らし高齢者では「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」が最も多くなっている。

表 年齢別 ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていること

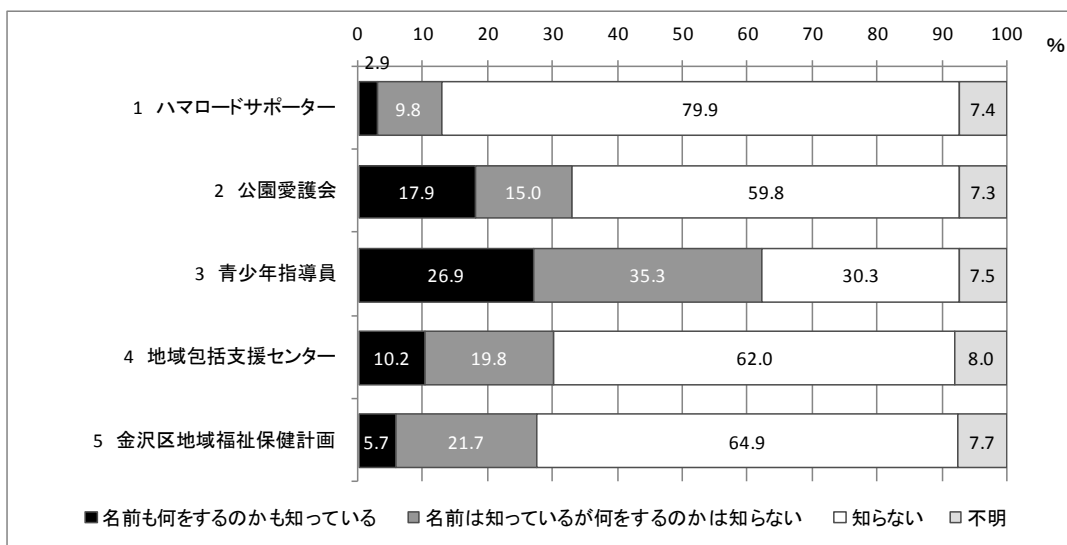
		問27 環境モデル都市横浜の実現に向け、ごみと資源の排出を減らすために家庭で気をつけていること (%)													
		合計	積極的に再生品や中古品を購入している	食品残さ(食べ残しや調理くず)が少なくなるように工夫している	生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている	電気式生ごみ処理機や生ごみコンポスト容器などを使用し、生ごみをたい肥化している	買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参している	割り箸を断り、マイ箸を使用している	マイボトル(水筒)やマイカップを使用し、飲料容器や紙コップの利用を減らしている	余分に物を買わないようにしている	使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる	過剰包装は断るようになっている	その他	特に何もしていない	不明
		(件)													
全体		1906	9.5	50.2	53.9	5.1	60.3	17.9	36.9	48.5	65.2	47.0	0.5	1.8	3.9
F2 年齢	20歳代	145	8.3	42.8	35.9	2.1	59.3	12.4	32.4	44.8	69.0	43.4	0.7	3.4	0.7
	30歳代	243	9.1	37.0	37.9	6.6	60.9	19.8	37.0	39.5	74.1	51.0	1.2	2.1	0.4
	40歳代	294	13.3	50.0	45.6	3.1	61.6	19.7	45.9	47.6	73.1	57.5	0.7	2.4	0.0
	50歳代	308	8.1	43.5	51.3	4.5	63.3	17.2	32.8	47.4	71.8	46.8	0.0	1.6	0.6
	60歳～74歳	592	9.8	59.0	66.2	6.8	67.4	17.7	37.8	52.9	64.7	48.6	0.5	1.7	1.7
	75歳以上	266	9.8	64.7	73.7	5.6	51.9	22.2	39.8	61.3	53.8	40.2	0.4	0.8	2.3
	不明	58	0.0	5.2	5.2	0.0	3.4	0.0	1.7	3.4	1.7	1.7	0.0	0.0	94.8
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	12.7	61.8	63.6	5.5	54.5	20.0	30.9	61.8	58.2	41.8	0.0	1.8	3.6
	75歳以上-ひとり暮らし	46	4.3	67.4	73.9	0.0	41.3	30.4	50.0	65.2	65.2	37.0	0.0	0.0	0.0

VI 地域活動について

問 28 行政が行っている次の活動や制度などについてご存知ですか。

- ・「青少年指導員」では、「名前は知っているが何をするのかは知らない」が 35.3%で最も多く、次いで「名前も何をするのかも知っている」が 26.9%で、これらを合わせると認知度が 62.2%に達している。しかし、その他の項目の認知度は低く、いずれも「知らない」が半数を超えている。特に「ハマロードサポーター」では「知らない」が 79.9%に達し、「名前も何をするのかも知っている」が 2.9%、「名前は知っているが何をするのかは知らない」が 9.8%で、認知度は 12.7%にとどまっている。

図 行政が行っている活動や制度の認知度



■ 年齢・居住地区別 行政が行っている活動や制度の認知度

1 ハマロードサポーター

- ・いずれの属性でも「知らない」が最も多く、20歳代、富岡第一では9割を超える。

表 年齢・居住地区別 行政が行っている活動や制度の認知度 1 ハマロードサポーター

		合計 (件)	1 ハマロードサポーター (%)			
			名前も何をするの のかも知っている	名前は知っているが何をするの かは知らない	知らない	不明
全体		1906	2.9	9.8	79.9	7.4
F2 年齢	20歳代	145	1.4	6.9	91.7	0.0
	30歳代	243	3.7	8.2	86.8	1.2
	40歳代	294	3.4	7.5	88.4	0.7
	50歳代	308	1.9	7.5	88.3	2.3
	60歳～74歳	592	3.4	12.2	78.2	6.3
	75歳以上	266	3.0	14.7	68.0	14.3
	不明	58	0.0	0.0	5.2	94.8
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	1.3	6.6	90.8	1.3
	富岡第二地区	63	1.6	7.9	81.0	9.5
	富岡第三地区	91	1.1	11.0	79.1	8.8
	富岡西・能見台地区	80	0.0	8.8	87.5	3.8
	能見台地区	137	0.0	6.6	88.3	5.1
	金沢シーサイドタウン地区	215	1.9	8.8	85.1	4.2
	金沢東部地区	119	5.9	14.3	75.6	4.2
	金沢中部地区	96	11.5	17.7	63.5	7.3
	金沢南部地区	122	8.2	12.3	71.3	8.2
	金沢地区	92	1.1	9.8	81.5	7.6
	六浦東地区	51	2.0	7.8	82.4	7.8
	六浦地区	123	0.0	7.3	87.8	4.9
	六浦西地区	256	0.8	8.2	82.0	9.0
	釜利谷地区	305	3.6	10.2	75.4	10.8
	大川地区	33	6.1	15.2	72.7	6.1
その他	6	0.0	0.0	66.7	33.3	
不明	41	7.3	7.3	63.4	22.0	

2 公園愛護会

- ・大川のみ「名前も何をするのかも知っている」が最も多い。それ以外は「知らない」が最も多いが、釜利谷で「名前も何をするのかも知っている」、富岡第二で「名前は知っているが何をするのかは知らない」の数値が比較的高くなっている。

表 年齢・居住地区別 行政が行っている活動や制度の認知度 2 公園愛護会

		合計 (件)	2 公園愛護会 (%)			
			名前も何をするの のかも知っている	名前は知っているが何をするの かは知らない	知らない	不明
全体		1906	17.9	15.0	59.8	7.3
F2 年齢	20歳代	145	6.2	6.2	86.9	0.7
	30歳代	243	11.5	11.9	75.7	0.8
	40歳代	294	15.3	17.7	66.3	0.7
	50歳代	308	20.1	13.3	64.0	2.6
	60歳～74歳	592	23.0	18.6	52.5	5.9
	75歳以上	266	22.9	16.9	46.2	13.9
	不明	58	0.0	0.0	5.2	94.8
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	13.2	11.8	73.7	1.3
	富岡第二地区	63	15.9	25.4	47.6	11.1
	富岡第三地区	91	22.0	14.3	54.9	8.8
	富岡西・能見台地区	80	11.3	10.0	73.8	5.0
	能見台地区	137	23.4	19.7	52.6	4.4
	金沢シーサイドタウン地区	215	7.4	11.2	74.4	7.0
	金沢東部地区	119	17.6	21.0	54.6	6.7
	金沢中部地区	96	16.7	16.7	57.3	9.4
	金沢南部地区	122	23.0	13.1	57.4	6.6
	金沢地区	92	5.4	19.6	68.5	6.5
	六浦東地区	51	11.8	11.8	70.6	5.9
	六浦地区	123	10.6	13.8	70.7	4.9
	六浦西地区	256	15.2	10.5	66.0	8.2
	釜利谷地区	305	29.8	17.7	43.9	8.5
	大川地区	33	60.6	15.2	21.2	3.0
その他	6	33.3	0.0	50.0	16.7	
不明	41	7.3	12.2	56.1	24.4	

3 青少年指導員

- ・年齢別では、20歳代から40歳代は「知らない」、50歳代以上は「名前は知っているが何をするのかは知らない」が最も多く、世代で傾向が分かれた。居住地区別では、「名前も何をするのかも知っている」が多いのは富岡第二、金沢中部、金沢南部、六浦東、「知らない」が多いのは富岡第一、富岡西・能見台、大川、それ以外の地区では「名前は知っているが何をするのかは知らない」が多くなっている。

表 年齢・居住地区別 行政が行っている活動や制度の認知度 3 青少年指導員

		合計 (件)	3 青少年指導員 (%)			
			名前も何を するのかも知 っている	名前は知っ ているが何 をするのか は知らない	知らない	不明
全体		1906	26.9	35.3	30.3	7.5
F2 年齢	20歳代	145	18.6	33.8	46.9	0.7
	30歳代	243	16.9	34.2	48.1	0.8
	40歳代	294	23.1	35.7	40.1	1.0
	50歳代	308	31.8	42.5	24.7	1.0
	60歳～74歳	592	35.8	36.0	22.3	5.9
	75歳以上	266	25.2	33.8	24.1	16.9
	不明	58	0.0	1.7	3.4	94.8
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	31.6	30.3	38.2	0.0
	富岡第二地区	63	34.9	31.7	22.2	11.1
	富岡第三地区	91	29.7	41.8	20.9	7.7
	富岡西・能見台地区	80	26.3	23.8	43.8	6.3
	能見台地区	137	24.1	43.8	28.5	3.6
	金沢シーサイドタウン地区	215	28.8	33.0	32.6	5.6
	金沢東部地区	119	24.4	41.2	26.1	8.4
	金沢中部地区	96	38.5	25.0	27.1	9.4
	金沢南部地区	122	36.9	33.6	22.1	7.4
	金沢地区	92	20.7	40.2	33.7	5.4
	六浦東地区	51	37.3	17.6	35.3	9.8
	六浦地区	123	22.0	36.6	35.8	5.7
	六浦西地区	256	23.8	37.5	30.5	8.2
	釜利谷地区	305	24.3	38.0	28.2	9.5
	大川地区	33	27.3	33.3	33.3	6.1
その他	6	0.0	16.7	50.0	33.3	
不明	41	9.8	29.3	39.0	22.0	

4 地域包括支援センター

- ・いずれの属性も「知らない」が最も多い。

表 年齢・居住地区別 行政が行っている活動や制度の認知度 4 地域包括支援センター

		合計 (件)	4 地域包括支援センター (%)			
			名前も何を するのかも知 っている	名前は知っ ているが何 をするのか は知らない	知らない	不明
全体		1906	10.2	19.8	62.0	8.0
F2 年齢	20歳代	145	5.5	20.0	73.8	0.7
	30歳代	243	7.0	18.5	73.3	1.2
	40歳代	294	7.5	15.0	76.9	0.7
	50歳代	308	13.3	20.5	63.6	2.6
	60歳～74歳	592	12.3	23.6	57.4	6.6
	75歳以上	266	12.8	21.1	49.6	16.5
	不明	58	0.0	0.0	5.2	94.8
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	10.5	18.4	68.4	2.6
	富岡第二地区	63	6.3	25.4	57.1	11.1
	富岡第三地区	91	14.3	28.6	49.5	7.7
	富岡西・能見台地区	80	11.3	20.0	62.5	6.3
	能見台地区	137	5.1	21.9	68.6	4.4
	金沢シーサイドタウン地区	215	10.2	19.5	64.7	5.6
	金沢東部地区	119	10.1	19.3	64.7	5.9
	金沢中部地区	96	8.3	27.1	55.2	9.4
	金沢南部地区	122	10.7	17.2	63.1	9.0
	金沢地区	92	10.9	15.2	67.4	6.5
	六浦東地区	51	5.9	29.4	54.9	9.8
	六浦地区	123	7.3	17.1	69.9	5.7
	六浦西地区	256	12.1	16.0	62.9	9.0
	釜利谷地区	305	13.8	20.3	55.7	10.2
	大川地区	33	6.1	15.2	72.7	6.1
その他	6	0.0	16.7	50.0	33.3	
不明	41	4.9	9.8	61.0	24.4	

5 金沢区地域福祉保健計画

- ・いずれの属性でも「知らない」が最も多くなっている。75歳以上のみ「名前も何を
するのかわかっている」が1割を超える。

表 年齢・居住地区別 行政が行っている活動や制度の認知度 5 金沢区地域福祉保健計画

		合計 (件)	5 金沢区地域福祉保健計画 (%)			
			名前も何を するのかわか っている	名前は知っ ているが何を するのかわか らない	知らない	不明
全体		1906	5.7	21.7	64.9	7.7
F2 年齢	20歳代	145	2.1	23.4	73.8	0.7
	30歳代	243	3.3	20.2	75.3	1.2
	40歳代	294	2.0	15.0	82.3	0.7
	50歳代	308	4.9	20.8	72.1	2.3
	60歳～74歳	592	7.4	26.4	60.0	6.3
	75歳以上	266	12.0	24.8	47.0	16.2
	不明	58	0.0	0.0	5.2	94.8
F7-1 居住地区	富岡第一地区	76	5.3	25.0	68.4	1.3
	富岡第二地区	63	3.2	20.6	63.5	12.7
	富岡第三地区	91	9.9	28.6	56.0	5.5
	富岡西・能見台地区	80	6.3	16.3	71.3	6.3
	能見台地区	137	2.9	18.2	72.3	6.6
	金沢シーサイドタウン地区	215	7.0	20.9	66.5	5.6
	金沢東部地区	119	5.9	21.0	66.4	6.7
	金沢中部地区	96	8.3	21.9	62.5	7.3
	金沢南部地区	122	9.8	29.5	53.3	7.4
	金沢地区	92	3.3	18.5	72.8	5.4
	六浦東地区	51	5.9	25.5	58.8	9.8
	六浦地区	123	4.1	24.4	66.7	4.9
	六浦西地区	256	4.7	22.3	64.5	8.6
	釜利谷地区	305	5.2	19.7	64.9	10.2
	大川地区	33	6.1	15.2	72.7	6.1
その他	6	0.0	0.0	66.7	33.3	
不明	41	2.4	19.5	51.2	26.8	

Ⅶ 区政への意見・提案

F8 金沢区政に対するご意見やご提案などございましたら、ご自由にお書きください。

- ・金沢区政についての意見として、356 件に記述があり、計 459 の意見が挙げられた。主な内容を分類すると、「区政・区役所サービスについて」が 115 件と最も多く、次いで、「道路・交通について」（64 件）、「安全・安心について」（51 件）、「環境問題について」（50 件）、「まちづくりについて」（42 件）が上位 5 分野となっている。

表 金沢区政に対する意見・提案

分類	件数
区政・区役所サービスについて	115
道路・交通について	64
安全・安心について	51
環境問題について	50
まちづくりについて	42
子育て支援・教育について	35
高齢者・障害者等福祉について	32
生活環境について	23
アンケート調査について	19
文化・スポーツについて	9
医療・健康について	8
観光・イベントについて	7
経済・雇用について	3
外国人について	1
合計	459

- ・分類の内訳は次頁のとおりである。10 件以上の意見や提案があった項目は、「区役所サービス改善」（32 件）、「区政情報の提供」「ごみ問題」（いずれも 19 件）、「税制度見直し、コスト削減」（18 件）、「自然環境、自然保護」「高齢化社会への取り組み」（いずれも 12 件）、「防災対策」「公園整備」「図書館整備」（いずれも 11 件）、「交通環境整備」「駅前整備・再開発」（いずれも 10 件）となっている。

表 金沢区政に対する意見・提案

大分類	小分類	件数	大分類	小分類	件数			
区政・区役所サービスについて	115	区役所サービス改善	まちづくりについて	42	公園整備	11		
		区政情報の提供			駅前整備・再開発	10		
		税制度見直し、コスト削減			まちづくりへの期待	8		
		区政への期待			開発規制	2		
		税金、保険料が高い			公園利用	2		
		区役所対応がよい			並木団地の再生	1		
		施設利用改善			電線の地中化	1		
		自治会・町内会			乙軸町は住みよい町	1		
		期待していない			景観・町並み	1		
		住民参加			不動池整備	1		
		地域のつながりが大切			待従川の整備	1		
		不公平感を感じる			20年前が懐かしい	1		
		正しい情報の発信			自然を生かした活動	1		
		施設整備			植木が歩道の妨げになっている	1		
		税申告環境整備			子育て支援・教育について	35	図書館整備	11
		区長選出方法に不満					保育園整備、待機児童解消	7
		期日前投票環境整備					子どもの遊び場	6
		個人情報流出防止					子育て支援	5
		納税方法					給食の安全性	1
		公正な業者選定					通学路の整備	1
ボランティア環境整備	中学校が少ない	1						
合同庁舎の建て替え	学童保育のサービス拡充	1						
交通環境整備	産婦人科の環境整備	1						
自転車マナーが悪い	校庭の芝生化	1						
道路・交通について	64	交通環境整備バス	高齢者・障害者等福祉について	32	高齢化社会への取り組み	12		
		交通環境整備道路			高齢者向け住宅の充実	5		
		交通環境整備歩道			バリアフリー	4		
		自転車道整備			障害者施設、制度の充実	4		
		交通利便性向上			障害者支援	2		
		交通環境整備駅			生活保護の見直し	2		
		駐輪場整備			交流の場提供	1		
		駐車場整備			高齢者介護	1		
		歩道橋は不必要			高齢者雇用	1		
		歩道にある商店荷物の取り締まり			生活環境について	23	ペット対策	3
自転車運転の免許制度・講習義務化	買い物環境整備	3						
交通マナーの改善	住民、学生のマナーが悪い	3						
安全・安心について	51	防災対策	11	野良猫対策			2	
		防犯対策		駅や公園のホームレス対策			2	
		災害時避難場所の見直し		落書き対策			2	
		放射線量計測、情報提供		近所づきあいのトラブル			2	
		液状化対策		騒音			2	
		防犯灯		プライバシーの保護			1	
		津波対策		生活苦			1	
		ハザードマップの作成		鳥の駆除	1			
		河川の氾濫対策		悪臭対策	1			
		小学校の耐震化		アンケート調査について	19	調査方法	8	
地盤強化	調査結果	6						
暴走族対策	無意味	3						
計画停電実施区域の平等化	その他	2						
環境問題について	50	ごみ問題	文化・スポーツについて	9	スポーツ施設整備	4		
		自然環境、自然保護			文化施設整備	3		
		環境美化推進			歴史的・文化的施設の保全	2		
		大気汚染	医療・健康について	8	医療環境整備	6		
		環境汚染対策			医療費が負担	2		
		太陽光発電政策	観光・イベントについて	7	マスコットキャラ	3		
		ごみ焼却工場の活用			花火大会中止は残念	2		
		リサイクルへの取り組み			イベント開催	1		
		家電リサイクルの費用見直し	経済・雇用について	3	レジャー施設の割引など住民への還元	1		
		生垣清掃方法の見直し			雇用対策	1		
	中小企業へのセイフティネット充実	1						
	集客施設で地域活性化を	1						
			外国人について	1	外国人と交流	1		
			合計		459			

【調査票】

平成23年度 金沢区民意調査

ご記入・ご協力をお願い

区民の皆様におかれましては、日頃から金沢区政に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

金沢区では、『「海と緑のハーモニータウン金沢」を区民との協働で「優しさと思いやり」あふれるまちにします。』を基本目標として、様々な施策を進めているところですが、区民の皆様により満足いただける区政を進めていくために、皆様の区政に対するお考えや、日常生活などについてのご意見・ご要望を伺い、今後とも、より住みやすい金沢区づくりに向けた基礎資料とするために「平成23年度金沢区民意調査」を実施することといたしました。

本調査の対象者につきましては、金沢区内にお住まいの方の中から無作為に3,000人を選ばせていただいたところ、あなた様をその1人としてお願いすることになりました。

つきましては、調査票を送付させていただきますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本調査は無記名にて実施させていただき、調査結果につきましても統計的に処理いたしますので、調査にご協力くださいました個人の氏名や回答が公表されることは一切ございません。ご自身のご意見に一番あてはまる回答を本調査票に直接ご記入ください。よろしくお願いいたします。

《ご記入に際してのお願い》

- 1 調査票には、封筒のあて先にお名前を書かせていただいたご本人がお答えください。また、諸般の理由により、ご本人が調査票へご記入ができない場合につきましては、代理の方が、あて先にお名前を書かせていただいたご本人のご意見を伺い、調査票に代書していただけますようお願いいたします。
- 2 お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
- 3 質問ごとに（○は1つ）（○は3つまで）（○はいくつでも）など答え方が指定されています。また、ご回答をしていただく方が限定される場合がありますので、お間違えないようお願いいたします。
- 4 回答に迷う場合は、ご自身のご意見にできるだけ近いものを選ぶようお願いいたします。

ご記入いただきましたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れて、7月22日(金)までにご投函ください。(切手は不要です。また、お名前のご記入は不要です。)

■この調査に関するご質問等は、下記までお願いいたします。

横浜市 金沢区役所 区政推進課
〒236-0021 横浜市金沢区泥亀2-9-1
月曜日～金曜日 8:45～17:15
電話：045-788-7726（直通）
FAX：045-786-4887
E-mail：kz-chousa@city.yokohama.jp

お住まいの地域や日常生活についておたずねします

問1 あなたは、今のお住まいの場所にいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 昭和36年(1961年)以前 | 2 昭和37年(1962年)～昭和46年(1971年) |
| 3 昭和47年(1972年)～昭和56年(1981年) | 4 昭和57年(1982年)～平成3年(1991年) |
| 5 平成4年(1992年)～平成13年(2001年) | 6 平成14年(2002年)～平成18年(2006年) |
| 7 平成19年(2007年)以降 | |

問2 あなたが、今のお住まいの場所を選ばれた理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|----------------------|---------|
| 1 家から最寄駅までの交通の便 | 2 最寄駅から通勤・通学先までの交通の便 | 3 自然環境 |
| 4 教育環境 | 5 住宅地そのものの環境 | 6 買い物の便 |
| 7 福祉・医療施設の便 | 8 生まれたときから住んでいる | 9 家庭の事情 |
| 10 その他() | | |

問3 あなたがお住まいの場所から最寄駅までの交通機関は何ですか。(○は1つ)
また、お住まいの場所から最寄駅までは何分くらいかかりますか。

- | | | | |
|--------|-------|----------|---|
| 1 徒歩 | 2 自転車 | 3 バイク | 分 |
| 4 自家用車 | 5 バス | 6 その他() | |

問4 あなたは、今のお住まいの場所の「住みごち」をどうお感じになりますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-------------|
| 1 住みよい | 2 まあ住みよい | 3 あまり住みよくない |
| 4 住みにくい | 5 わからない | |

問5 (問4で1～4のいずれかをお答えの方に) そのように回答された理由は何ですか。
(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|----------------------|---------|
| 1 家から最寄駅までの交通の便 | 2 最寄駅から通勤・通学先までの交通の便 | 3 自然環境 |
| 4 教育環境 | 5 住宅地そのものの環境 | 6 買い物の便 |
| 7 福祉・医療施設の便 | 8 その他() | |

問6 あなたは、これからも今のお住まいの場所に住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|------------|-----------|
| 1 住み続ける | 2 たぶん住み続ける | 3 たぶん移転する |
| 4 移転する | 5 わからない | |

問7 あなたがお住まいの地域の暮らしやすさについて伺います。次の1～23の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「5 そう思わない」までの中から1つを選び、○印をつけてください。(それぞれ○は1つ)

そう
思う
ど
ちら
か
と
い
う
と
ど
ちら
か
と
い
え
ない
ど
ちら
か
と
思
わ
ない
と
そ
う
思
わ
ない

【まちなみや環境に関して】

- 1 近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい 1…2…3…4…5
- 2 坂道や階段などが少なく、移動しやすい 1…2…3…4…5
- 3 家々の植栽や街路樹などに緑が多く、気持ちが良い 1…2…3…4…5
- 4 周辺が静かでよい 1…2…3…4…5
- 5 緑地や水辺があり、自然が豊かでよい 1…2…3…4…5

【施設や交通の便等に関して】

- 6 誰もがゆったりと過ごせる公園がある 1…2…3…4…5
- 7 家から最寄駅までの交通の便がよい 1…2…3…4…5
- 8 最寄駅から通学・通勤先までの交通の便がよい 1…2…3…4…5
- 9 病院や診療所などの医療機関が近くて利用しやすい 1…2…3…4…5
- 10 日常の買い物が便利でよい 1…2…3…4…5
- 11 保育所や幼稚園などが近くて利用しやすい 1…2…3…4…5
- 12 学校や図書館などが近くて学習環境が良い 1…2…3…4…5
- 13 高齢者や障害者のための施設が近くて利用しやすい 1…2…3…4…5

【地域の住民に関して】

- 14 近所には顔なじみの住民が多いほうだ 1…2…3…4…5
- 15 住民の転入や転出が多い町だ 1…2…3…4…5
- 16 ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーを守る人が多い 1…2…3…4…5
- 17 高齢者が多く、若者や子どもが少ない 1…2…3…4…5
- 18 困ったときは互いに支えあう雰囲気がある 1…2…3…4…5
- 19 地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある 1…2…3…4…5
- 20 防災や防犯の取組が活発である 1…2…3…4…5
- 21 最近、空き家が増えて、防犯上心配である 1…2…3…4…5

【住まいに関して】

- 22 家賃や建て替えなどの問題がなく、安心して住み続けられる 1…2…3…4…5
- 23 自宅はスロープやエレベーターなどバリアフリー対応している 1…2…3…4…5

問8 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。左の欄から上位3つを選んで右の該当する欄に記入してください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 自分の病気や老後のこと | 2 家族の健康や生活上の問題 |
| 3 失業・倒産や収入が減ること | 4 仕事や職場のこと |
| 5 景気や生活費のこと | 6 子どもの保育や教育のこと |
| 7 家族や親戚の介護のこと | 8 近隣からの悪臭・騒音 |
| 9 環境問題のこと | 10 事故・災害のこと |
| 11 犯罪や防犯のこと | 12 住宅のこと |
| 13 その他() | |
| 14 心配ごとや困っていることはない | |

第1位

第2位

第3位

問9 あなたが日常生活を送っているなかで、行政に特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。左の欄から上位3つを選んで右の該当する欄に記入してください。

- | |
|--------------------------|
| 1 防災・災害対策 |
| 2 防犯対策 |
| 3 交通安全対策 |
| 4 幹線道路や身近な道路の整備 |
| 5 駐輪場整備や放置自転車等対策 |
| 6 緑の保全や公園の整備 |
| 7 史跡や歴史的建造物の保全 |
| 8 高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス |
| 9 子どもを安心して産み育てるためのサービス |
| 10 健康で元気に生活するためのサービス |
| 11 市民活動を行うための施設や情報提供 |
| 12 スポーツを行うための施設や情報提供 |
| 13 文化・芸術活動を行うための施設や情報提供 |
| 14 ごみの減量化対策や収集 |
| 15 地球温暖化の対策 |
| 16 その他() |

第1位

第2位

第3位

問 10 あなたは、最近の社会や人とのつきあい方など、1～10 のことがらについて、どのよう
にお考えですか。(それぞれ○は1つ)

1 人とのつきあい方	<ul style="list-style-type: none"> 1 気のあった人とだけつき合えばよい 2 いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい 3 どちらともいえない 4 わからない
2 知人が困っているとき	<ul style="list-style-type: none"> 1 困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする 2 困ったときでも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ 3 どちらともいえない 4 わからない
3 経済的に困っているとき	<ul style="list-style-type: none"> 1 家族や親族に頼む 2 専門家や公的な相談機関に相談する 3 他の人に相談したくない 4 わからない
4 住みやすいと思う地域	<ul style="list-style-type: none"> 1 お互いに干渉せず、わずらわしくない地域 2 人と人がざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域 3 どちらともいえない 4 わからない
5 信頼感	<ul style="list-style-type: none"> 1 一般的に人は信頼できる 2 人は信頼できるとは限らない 3 どちらともいえない 4 わからない
6 自分の居場所	<ul style="list-style-type: none"> 1 安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる 2 安心して自分を素直に出せる場所や仲間はいない 3 どちらともいえない 4 わからない
7 自分自身の評価	<ul style="list-style-type: none"> 1 自分を頼りにしてくれている人がいる 2 自分を頼りにしてくれている人はいない 3 どちらともいえない 4 わからない
8 現代の社会	<ul style="list-style-type: none"> 1 自分が努力すれば報われる(評価される)社会だと思う 2 自分が努力しても報われない(評価されない)社会だと思う 3 どちらともいえない 4 わからない
9 役所への信頼	<ul style="list-style-type: none"> 1 役所は、頼りになる存在だ 2 役所は、頼りにならない 3 どちらともいえない 4 わからない
10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> 1 自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい 2 自分の生活を大事にし、社会貢献は考えない 3 どちらともいえない 4 わからない

行政サービスについておたずねします

問 11 今後の行政サービスの在り方について、次のような意見がありますが、あなたはどちらの意見に近いですか。(○はそれぞれ1つ)

(ア) 行政の役割

- A 行政は、費用対効果の低いサービスを縮小する。
 B 費用対効果が低くても、行政には継続すべきサービスがある。

1 Aに近い 2 Bに近い 3 どちらともいえない 4 わからない

(イ) サービス水準

- A 行政サービスの水準が多少低下しても、税などの住民負担は軽いほうがよい。
 B 行政サービスの水準は上げて欲しいが、負担が増えるようなら現在と同じ程度でよい。
 C 多少負担が増えても行政サービスの水準を上げて欲しい。

1 Aに近い 2 Bに近い 3 Cに近い 4 どちらともいえない 5 わからない

※平成22年度横浜市民意識調査と同じ表現で設問しています。

問 12 次のような活動に対して、個人や家族、自治会・町内会、公益的団体、民間事業者、行政のうち、どこが主体となって取り組むことが良いと思いますか。(○は1つ)

項 目		個人 家族	自治会 町内会	NPO、社会 福祉協議 会等の公 益的団体	民間 事業者	行政
日常 生活	1 気軽に行ける交流スペースづくり	1	2	3	4	5
	2 見守りネットワークづくり	1	2	3	4	5
	3 日常生活の困りごとの相談	1	2	3	4	5
	4 日常生活(掃除、食事など)の手伝い	1	2	3	4	5
	5 買い物の手伝い	1	2	3	4	5
	6 ごみ出しの手伝い	1	2	3	4	5
	7 外出の介助(車での送迎を含む)	1	2	3	4	5
	8 新たなボランティア活動の担い手の発掘・育	1	2	3	4	5
子 ども	9 近所の子どもの見守りや預かったりすること	1	2	3	4	5
	10 親子で集える交流の場づくり	1	2	3	4	5
防災・ 防犯	11 災害時における高齢者等の安否確認	1	2	3	4	5
	12 災害時における高齢者等の避難の手助け	1	2	3	4	5
	13 防犯パトロールの実施	1	2	3	4	5
ごみ 環境	14 ごみの減量化対策の実施	1	2	3	4	5
	15 身近な道路の清掃	1	2	3	4	5
	16 地球温暖化対策の実施	1	2	3	4	5
	17 省エネルギーの実践	1	2	3	4	5

問 13 次のような活動に対して、あなたの活動経験などについて伺います。(○は1つ)

項 目		行っている	今後、行いたい	行っていない
日常生活	1 気軽に行ける交流スペースづくり	1	2	3
	2 見守りネットワークづくり	1	2	3
	3 日常生活の困りごとの相談	1	2	3
	4 日常生活(掃除、食事など)の手伝い	1	2	3
	5 買い物の手伝い	1	2	3
	6 ごみ出しの手伝い	1	2	3
	7 外出の介助(車での送迎を含む)	1	2	3
	8 新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成	1	2	3
子ども	9 近所の子どもの見守りや預かたりすること	1	2	3
	10 親子で集える交流の場づくり	1	2	3
防災・防犯	11 災害時における高齢者等の安否確認	1	2	3
	12 災害時における高齢者等の避難の手助け	1	2	3
	13 防犯パトロールの実施	1	2	3
ごみ環境	14 ごみの減量化対策の実施	1	2	3
	15 身近な道路の清掃	1	2	3
	16 地球温暖化対策の実施	1	2	3
	17 省エネルギーの実践	1	2	3

問 14 金沢区が提供している行政サービスに対して意見を述べようとした場合、どのような方法を選ばれますか。(○はいくつでも)

1 自治会・町内会を通じて伝える	2 各種団体を通じて伝える
3 市会(議員を含む)を通じて伝える	4 区役所の窓口に行き直接伝える
5 区役所へ手紙・FAXをだす	6 区役所へ電話をする
7 区役所へeメールをだす	
8 新しい仕組みが必要()	
9 その他()	

防災・防犯についておたずねします

問 15 あなたのお住まいの地域は安心して暮らせるところだと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 とても安心 | 2 まあ安心 | 3 普通 |
| 4 やや安心できない | 5 安心できない | 6 よくわからない |

問 16 (問 15 で 4 もしくは 5 とお答えの方に) 安心できない理由は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 災害が心配だから | 2 犯罪が心配だから |
| 3 その他() | |

問 17 大地震が起きたときに特に心配なことをお知らせください。

左の欄から上位3つを選んで右の該当する欄に記入してください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 水道や電気などライフラインの停止 | 2 家族・知人の安否 |
| 3 家屋の倒壊損傷 | 4 食料品、生活用品の確保 |
| 5 火災の発生 | 6 交通機関のまひ、帰宅困難になること |
| 7 家具の転倒 | 8 避難場所までの経路の安全性 |
| 9 持病があること | 10 災害情報の入手 |
| 11 地割れ・土砂崩れ・地すべりなど | 12 治安の悪化 |
| 13 ペットの避難に関すること | 14 液状化による被害 |
| 15 津波による被害 | 16 自力避難に関すること |
| 17 その他() | |
| 18 特に心配はない | |

第1位

第2位

第3位

問 18 あなたは、大地震などの災害に備えて、どのような準備をしていますか。

(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------|
| 1 食料や飲料水 | 2 携帯トイレ(パケットイレ) | 3 懐中電灯 |
| 4 携帯ラジオ | 5 非常ベル・笛 | 6 現金 |
| 7 救急用品 | 8 ペットの避難用品 | 9 消火器 |
| 10 その他() | | |
| 11 大地震に対して備えはしていない | | |

問 19 あなたは、大地震に対してご自宅でどのような対策をしていますか。(〇はいくつでも)

- 1 家具の転倒防止
- 2 ガラスの飛散防止
- 3 地震に強い家に建て替え、住み替え
- 4 耐震診断や耐震補強の実施
- 5 その他()
- 6 特に何もしていない

問 20 家族で防災について、どのような話し合いをされていますか。(〇はいくつでも)

- 1 家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認
- 2 通勤・通学先からの帰宅ルートの確認
- 3 避難場所の確認
- 4 家のなかの危険箇所の確認
- 5 その他()
- 6 話し合いをしていない

問 21 あなたが、日常、不安に感じている犯罪は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 空き巣
- 2 ひったくり
- 3 自転車盗・オートバイ盗
- 4 車上ねらい
- 5 振り込め詐欺
- 6 不審者による子どもへの接触・連れ回し
- 7 その他()
- 8 特に不安に感じる犯罪はない

平成 23 年 6 月 1 日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務づけられました

問 22 あなたのお住まいにはすでに住宅用火災警報器を設置していますか(アパート、マンションなどにお住みの方で自動火災報知設備が設置されている場合や、警備保障会社に火災通報の契約をされている方は「1」を選択してください)。(○は1つ)

1 設置している

2 設置していない

問 23 (問 22 で 2 とお答えの方に) 設置していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 近々設置の予定がある

2 設置が義務化されていることを知らなかった

3 設置の費用負担が大きい

4 購入方法がわからない

5 自分で取り付けることができない

6 借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者がつけてくれない)

7 効果があるとは思わない

8 その他()

平成 27 年(2015 年)には、金沢区民の 4 人に 1 人に当たる 5 万 5 千人が 65 歳以上の高齢者になると予測されています。高齢者が身近な地域において活動的な生活を送ることが、これからの地域社会の活力になると考えられています。

問 24 今後、地域の支えあいを推進していくために、区民・事業者・行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 誰もが身近な地域で活動できる機会を促進すること
- 2 身近な地域で子どもから高齢者までが参加できる取り組みを行うこと
- 3 福祉・保健に関する情報を、いろいろな方法で判りやすく提供すること
- 4 身近な人や場所で相談できる環境を整えること
- 5 ボランティア団体への支援や連携により、身近な福祉・保健に関する活動を充実すること
- 6 福祉や保健に関する十分な知識や技術を持った人材を育成すること
- 7 福祉活動に対する、区民の意識や理解を深めること
- 8 災害発生時に、自力での避難が困難な人を援助すること
- 9 その他()

問 25 日頃から健康のために心がけていることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 定期的に運動をするように心がけている
- 2 規則正しい食生活を心がけている
- 3 十分な睡眠を心がけている
- 4 余暇を楽しむなど心のゆとりを心がけている
- 5 健康づくりのためのグループ活動に参加している
- 6 健康診断・がん検診を受けている
- 7 禁煙をしている
- 8 歯を守るために、定期的に歯科に通院している
- 9 その他()
- 10 今後は心がけていきたい
- 11 特に心がけていることはない

問 26 60 歳以上の方におたずねします。近年、高齢化が進んでいます。高齢者の皆様が健康でいきいきとした暮らしを続けるために必要だと思うことに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 介護保険制度についての情報提供
- 2 隣近所で助け合える支えあいの仕組みづくり
- 3 保健師等による相談・家庭訪問等
- 4 身近なところで、交流・趣味活動などが楽しめる拠点づくり
- 5 介護予防に関する情報提供、講習会等の開催
- 6 高齢者が地域活動やボランティアに気軽に参加できる仕組みづくり
- 7 高齢者が子どもや若い人と交流できる事業やイベント
- 8 その他()
- 9 特に必要と思うことはない

「G30」に続く「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」では、平成 21 年度を基準に、ごみと資源の総排出量を、平成 25 年度に3%以上、平成 37 年度に 10%以上削減するとともに、ごみ処理に伴う温室効果ガスの排出量を、平成 25 年度に 10%以上、平成 37 年度に 50%以上削減することを目指しています。

問 27 あなたのご家庭では環境モデル都市横浜の実現に向け、ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 積極的に再生品や中古品を購入している
- 2 食品残さ(食べ残しや調理くず)が少なくなるように工夫している
- 3 生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている
- 4 電気式生ごみ処理機や生ごみコンポスト容器などを使用し、生ごみをたい肥化している
- 5 買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参している
- 6 割り箸を断り、マイ箸を使用している
- 7 マイボトル(水筒)やマイカップを使用し、飲料容器や紙コップの利用を減らしている
- 8 余分に物を買わないようにしている
- 9 使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる
- 10 過剰包装は断るようになっている
- 11 その他()
- 12 特に何もしていない

横浜市では、市民の方の力を借りて、道路や公園の清掃や地域活動など様々な取組を行っています。

問 28 行政が行っている次の活動や制度などについてご存知ですか。(○は1つ)

名称	名前も何をするのかも知っている	名前は知っているが、何をするのかは知らない	知らない
1 ハマロードサポーター	1	2	3
2 公園愛護会	1	2	3
3 青少年指導員	1	2	3
4 地域包括支援センター	1	2	3
5 金沢区地域福祉保健計画	1	2	3

最後にあなたご自身のことについておたずねします

F1 あなたの性別（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 あなたの年齢（○は1つ）

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 | 4 50歳代 |
| 5 60歳～74歳 | 6 75歳以上 | | |

F3 あなたのお住まいの形態（○は1つ）

- | | |
|----------|--------------------|
| 1 持家一戸建て | 2 持家共同住宅(分譲マンション等) |
| 3 賃貸一戸建て | 4 賃貸共同住宅(賃貸マンション等) |
| 5 社宅・寮等 | 6 その他() |

F4 あなたの家族形態（同居している方のみ）（○は1つ）

- | | | | |
|----------|--------|------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ | 3 親と子(二世帯) | 4 祖父母と親と子(三世帯) |
| 5 その他() | | | |

F5 あなたの現在の職業（○は1つ）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 自営業(弁護士・医師等も含む) | 2 会社員(公務員・団体職員等も含む) |
| 3 パート・アルバイト | 4 学生 |
| 5 家事専従 | 6 内職 |
| 7 無職 | 8 その他() |

F6 (F5で1～3のいずれかをお答えの方に) あなたの通勤場所（○は1つ）

- | | |
|---------|----------|
| 1 自宅 | 2 同一町内 |
| 3 金沢区内 | 4 横浜市内 |
| 5 横須賀市内 | 6 県内他市 |
| 7 東京都内 | 8 その他() |

F7 あなたのお住まいの町（○は1つ）

【あ行】	1 朝比奈町	2 海の公園	3 大川
	4 乙舳町		
【か行】	5 片吹	6 金沢町	7 釜利谷町
	8 釜利谷西一丁目～三丁目	9 釜利谷西四丁目～六丁目	10 釜利谷東一丁目～四丁目
	11 釜利谷東五丁目～八丁目	12 釜利谷南一丁目～四丁目	
【さ行】	13 幸浦一丁目・二丁目	14 柴町	15 昭和町
	16 白帆	17 洲崎町	18 瀬戸
【た行】	19 大道一丁目・二丁目	20 高舟台一丁目・二丁目	21 泥亀一丁目
	22 泥亀二丁目	23 寺前一丁目・二丁目	24 富岡西一丁目・二丁目
	25 富岡西三丁目～五丁目	26 富岡西六丁目	27 富岡西七丁目
	28 富岡東一丁目	29 富岡東二丁目	30 富岡東三丁目～六丁目
	31 鳥浜町		
【な行】	32 長浜	33 長浜一丁目・二丁目	34 並木一丁目～三丁目
	35 西柴一丁目～四丁目	36 能見台一丁目～六丁目	37 能見台通
	38 能見台東	39 能見台森	40 野島町
【は行】	41 八景島	42 東朝比奈一丁目～三丁目	43 平潟町
	44 福浦一丁目～三丁目	45 堀口	
【ま行】	46 町屋町	47 みず木町	48 六浦町
	49 六浦一丁目～三丁目	50 六浦四丁目・五丁目	51 六浦東一丁目～三丁目
	52 六浦南一丁目～五丁目		
【や行】	53 谷津町	54 柳町	

F8 金沢区政に対するご意見やご提案などございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートはこれで終わりです。長い時間、ご協力いただきましてありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

7月22日(金)までにご投函いただきますようお願いいたします。

平成 23 年度金沢区民意識調査結果報告書

平成 23 年 12 月

発 行 : 横浜市金沢区役所区政推進課
〒236-0021
横浜市金沢区泥亀 2-9-1
電 話 : 045-788-7726
FAX : 045-786-4887

調査実施 : 株式会社 地域環境計画